



# 静岡市文化振興ビジョン 総合評価書



静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会

平成 27 年 3 月

はじめに

静岡市は、平成 17 年度に「個性あるしずおか文化の創造と承継～人が文化を創り、文化が人を育てる都市（まち）を目指して～」とした「静岡市文化振興ビジョン」（計画期間：平成 18 年度から平成 26 年度まで）を策定しました。これは静岡市の文化事業を振興していくための基本的な考え方や、施策の方向を示す指針となるものです。

ビジョンの計画期間の最終年度となる本年度に、「静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会設置要綱」を制定し、その目的に沿って懇話会を立ち上げ、各施策の進捗状況、市民の活動状況等に関する総合評価を実施しました。

評価は、最初に各事業課において自己評価を実施し、次に市民公募委員を含めた 5 人の委員による評価等懇話会を開催し総合的な評価を行いました。

本評価書は、評価等懇話会において出された評価・意見等についてまとめたものです。

平成 27 年 3 月

#### 【評価実施の経緯】

平成 18 年 3 月	静岡市文化振興ビジョン策定
平成 23 年 3 月	静岡市文化振興ビジョン中間評価書公表
平成 26 年 5 月	静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会設置要綱制定
//	静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会公募委員の選考に関する要綱制定
//	静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会委員募集要領制定 (市民公募委員)
平成 26 年 7 月	第 1 回静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会開催
平成 26 年 8 月	第 2 回静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会開催
平成 26 年 10 月	第 3 回静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会開催
平成 27 年 3 月	第 4 回静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会開催

## 目 次

1 静岡市文化振興ビジョン総合評価書	・・・・・・・・	1
2 資料		
(1) 評価シート	・・・・・・・・	6
(2) 事業評価		
第1期実施計画	・・・・・・・・	20
第2期実施計画	・・・・・・・・	37
(3) 進捗状況調査票		
第1期実施計画	・・・・・・・・	54
第2期実施計画	・・・・・・・・	72
(4) 新規事業一覧		
第1期実施計画	・・・・・・・・	90
第2期実施計画	・・・・・・・・	91
3 静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会 委員名簿	・・・・・・・・	92
(参考)		
静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会 設置要綱	・・・・・・・・	93

### 関係資料

静岡市文化振興ビジョン（本編）

静岡市文化振興ビジョン第1期実施計画（平成18年度から平成21年度）

静岡市文化振興ビジョン第2期実施計画（平成22年度から平成26年度）

## 1. 全体評価

事業は概ね良好に実施しているが、個々の事業内容等を検証し、長期的な視野に立って、より効果的な事業の展開を図ることが必要である。

また、情報発信力を強化し、全国や世界と文化交流するためのさらなる工夫も必要と考える。

## 2. 課題等

### (1) 評価方法について

- ◆中間評価（評価方法）において、単年度評価と長期的評価の方法についての意見が出された。単年度評価の積み重ねだけでは長期的評価が得られないと思われるが、今回の評価方法は、単年度評価の積み重ねだけのように思われる。
- ◆姉妹都市をはじめとする文化交流事業の必要性が言われているが、評価シートに書かれているような、巡回展などを行うことが協力関係を結ぶことであるのか。個別の事業評価が「このような事業を行なった」という書き方になっていて、やっていることをアピールする内容を書き込んでいるだけに思われる。
- ◆ビジョンに従って具体的な事業を行っていく中で、これは重要であるということがわかってくると評価をする上でいいのではないか。ここは今までどおりうまくやれている、これは足りないから今度は集中的にやろうとか、そういうことが明らかになると評価としての顔がよくわかる。
- ◆どの事業を重点的にやるのかということがわかればそれに対して評価することが重要で、マイナーな事業は評価が低くてもいいのではないか。
- ◆資料では、事業実施の有無について回答しているのはすべて市役所の課であるが、市民も企業も主体であると言いながら、評価に関してはすべて行政になっているという関係がわからない。
- ◆最大の問題だと思われるのは、それぞれの事業において「現状における課題を明確にし、その課題解決を志向する」という姿勢がなく、事業を実施したかどうかということで評価を求めている点である。課題とその解決として、「データベースを作る」ことをやったのかどうかではなく、「データベースを作る」際の現状の課題が何であり、それを解決するために何をしたかを明記することによって、「データベースを作る」という事業の進展が明確になる。

# 静岡市文化振興ビジョン総合評価書

- ◆事業を行うには、計画年度内での達成目標となる指標を設定し、長期的な評価や達成度を測ることが必要となるが、その評価方法が当事者の負担となるものでなく、次の事業につながるようなものでなければならない。
- ◆継続的な事業には数値化した指標による評価が可能であるが、文化には指標を数値化できるものとそうでないものがあるため、言語表現でもかまわないので、常に検証を行うことを意識し目標を定めて行うことが大切になる。
- ◆自己満足に終わらないためにも、外部の意見を取り入れることが必要で、ネット上の口コミなどのように、良い悪い両方の意見を同時に集約できる仕組みがあるといい。

## (2) 推進体制について

- ◆「文化振興ビジョン」の中に、「実現に向けて」という項目があり、主体として、市民、文化団体、NPO、企業、大学、高等教育機関などがあげられており、大学との連携による講座、その他が事業の中に組み込まれているが、各事業の問い合わせ先が、市役所内の担当課であることによって、企業その他の文化活動・振興主体との連携を促進する市役所の役割がわからなくなっている。
- ◆運営を任せられる組織があるかというのが重要で、日本の場合はまだ市民団体が育っていない状況なのか、市役所がまとめないとどうにもならないので窓口になるという現状なのか。名目上は市民とか、5つの協働とあるが、市民に委譲するような施策を展開していくことが必要ではないか。
- ◆会館の建設から一様の運営全部ができ、市民主体の活動にも関わっていけるような組織があればいいのだが、組織的な問題をどう解決したらいいかというのが文化政策なのかもしれない。
- ◆市民の上に市役所があって、市役所が面倒を見るという体制ではなく、市民が文化の振興にどうかかわっていくのかということが大切になる。
- ◆事業の資金調達をするにしても、前年度の実績や計画を明らかにして補助申請をしなくてはならず、踏襲性のあるプログラムになってしまっている。
- ◆主体が誰かという時に、行政だけでなく、市民、大学、企業とか文化団体があり、それらの活動をトータルして文化と呼ぶべきで、この時代に、行政だけでなく企業も一般の人達もどうかかわっていくのかという仕組みを上手く作っていかなくてはならない。
- ◆行政が主導する文化活動というものを次の段階へ進め、市民とどう手を携えていくのが問われている。
- ◆市役所は市民の生活、活動を支援していくという役割を持っているため、市民の意見を反映するためにどのようなやり取りをしていくのか、市民との関係を上手く作っていかないとならない。

# 静岡市文化振興ビジョン総合評価書

- ◆物事の発信・交流にしても、若い世代はネットやSNSで行うなど、教養的な文化からアミューズメントの要素が強いものに変化してきているが、チラシを作成するなどの昭和的な文化の良さについても理解してもらえ関係作りが必要となる。
- ◆市と文化振興財団が一層の協働体制を強化し、共通の理念のもと、共に意見を出し合い事業推進を図ることが活かした連携といえるのではないか。

## (3) 人材育成について

- ◆行政と市民が協働する場合には、そのコーディネートをする人を養成する仕組み、いわゆる参加のデザインを作っていく手法を学ぶことが必要となる。まず行政が講座等に参加して、市民とどう手を携えていくかということを読み、いろいろなところに出かけていくといったことが必要ではないか。
- ◆市民参加の協働を考えた時、市内でどのような文化活動が行われているかという情報収集については、市民が手伝いやすい分野だと思う。そういうことから初め、それをコーディネートする力を持った人に育てていくということが考えられるのではないか。

## (4) 情報収集について

- ◆市民アンケートや意識調査等の、事業分析や評価のために効果的な情報収集をする必要がある。
- ◆市民の意見を集約するためにアンケートを取ることは必要だが、イベントに来た人の意見ばかりでは市民の意見とは言えないため、どういう仕組みを作るかが大切になる。
- ◆市民や民間で行われている実際の活動について、情報を得る手段を構築する必要がある。
- ◆市内で活躍する活動団体や個人に対し、年一回でも直接意見を聴く機会が必要ではないか。
- ◆文化振興に特化した市政モニター制度のような仕組みをつくり、そこで出された意見を事業に取り入れていくこともおもしろいのではないか。

## (5) 情報発信について

- ◆ホームページや広報紙以外で、もっと簡単に文化的な情報をキャッチできる手段があればいい。
- ◆市が文化振興ビジョンに関連する事業をやっていることを、もっと広報・PRする必要があるのではないか。専門分野だけでなく、それ以外の分野に関心を持たせ、関係者を増やすための手段を探ることが必要ではないか。
- ◆市で行う各課の事業や、他課との関係性を絵などでわかりやすく説明したチラシのようなものがあるといい。

# 静岡市文化振興ビジョン総合評価書

- ◆1階のホールでのビデオ上映などは、気軽に情報が得られる手段であるが、文化に関する事業については、ぱっと来た市民がすぐ目にするようなわかりやすい場所を作らなければ、広報紙だけでは無理がある。
- ◆紙媒体でなく映像を逐一変えていくなど、柔軟な情報発信の仕方があるといい。
- ◆情報コーナーを設けるだけでなく、美術館の割引券を置くなどインセンティブを持たせ「寄ってみよう」と思わせる工夫が必要になる。
- ◆シティープロモーションに関わる各種事業は、訴求力のあるテーマが必要となる。東京事務所の事業（31213）や国内（31214）、海外プロモーション（32106）等、散漫な事業展開に感じられる。シティープロモーションならば、より戦略的に展開すべきである。

## （6）環境整備について

- ◆静岡市民文化会館は耐震が危ないと言われているが、建て直しを行うのか。文化活動の拠点について、総合計画の中で充分打ち上げていかなくてはならない問題である。
- ◆清水文化会館について、設計者の意向がありサイン等の設置が思うようにならないと聞いたが、施設整備に関して、現場や市民からの意見が反映されないシステムというのはおかしい。
- ◆施設改修等の要望が市民から寄せられて、それをどのように反映していくのか。大掛かりな改修はお金もかかるが、市民の声を聞きっぱなしにするのではなく、市としてどのような活動をするのが大切になる。
- ◆文化会館の事業について、文化の香が高いものが、焼津、富士に行ってしまう、たいした事業が来ていないという不満を聞いている。街の最高の位置にありながら、これからどのような展開を図るのか。

## （7）「文化」の範囲について

- ◆現ビジョンでは「上質な文化」と謳われているが、最近では観光・交流の手段として、「ブラックツーリズム」という考え方が流行している。文化というのは、プラスだけでなくマイナスの要素を持つものもあり、それも重要な遺産ではないかという考え方が広く言われるようになってきているが、保護や整備をしていくことはできないか。
- ◆いろいろな文化事業を行っても、多くの人に関心を示さないという点に最大の課題があるように感じる。「文化」が、近代的な「教養」から、現代的な「エンターテイメント」へと移行したからではないかと思う。「エンターテイメント」の要素をもたせながら、それが「教養」的なものへと深められるような文化事業・企画が必要なのかもしれない。そのためには、需要者である市民の考えをどのように反映させるか、市民が楽しんで参加できるような仕組みを、企画・実施などにもっと導入させることが必要なのではないか。

# 静岡市文化振興ビジョン総合評価書

- ◆街が文化的であるというのは、人がそこに住んでいて安らぎや楽しさを感じとる場でなければならない。範囲を広げれば、自然環境や歴史に育まれ現在の活動に至るというトータルな文化を考えたほうがいいのではないか。

## 3. 今後の文化振興の方向性について

- ◆美術の世界でいえば、行政が運営する市民文化会館、美術館、マリナートのほかにも、市民が運営する民間ギャラリーもあり、それらを含め市民が楽しむ環境だと言えるが、それを支える市民の力も静岡市の宝、財産だということを踏まえたビジョンになってほしい。
- ◆毎年の事業の検証の中で課題を見つけ、改善しながら進めていくことが必要であるため、今後の文化振興の指針の策定に当たっては、長期的な評価も得られるよう配慮する必要がある。
- ◆市民からは民間か行政かということは関係なく、文化に関する情報が一手に得られる手段・場所が求められているため、指針の策定に当たっては、推進体制を明確にし官民連携のもとに文化事業を推進していく仕組みの構築が求められる。
- ◆事業内容が特定のものを目指す場合があり、進捗管理をしていく中で、当初の事業目的実施内容にズレが生じたものについては、計画の見直しを行いながら、本来は何をすべきかという目的に従って推進する必要がある。
- ◆どれを重点的にやるべきか選択をして事業を進めるためには、事業出しの時に、それぞれの課で一番やらなくてはならないものを明らかにするなどの情報の提供や交換をすることが必要になる。
- ◆静岡市が進める文化振興の基本的な方向性をより一層明確に打ち出し、中長期的な理念の核となるような条例づくりが必要ではないか。
- ◆いろいろな表現活動、文化活動の活性化とともに、別の次元でさらに先へ、さらに高みへといった市民の活動、意識を引っ張っていくものとして条例があったほうがいい。
- ◆都市化された文化ではなく、静岡市の特色となる海や川や山を取り入れながら、文化というものはこういうこともあるのではないかということを手早く吸収できるような条例になればいい。



# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

目標	1 しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承	方向	1 文化財の保護、活用の促進
----	--------------------------	----	----------------

方策	①文化財に対する意識の高揚	②文化財の継承	③文化財の新たな活用
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が、文化財の由来などを知り、価値を理解することで、文化財の保護や、次代への継承に対する機運を高める。</li> <li>・歴史に関する情報の提供、研究調査、学習機会の拡充に努め、文化財等に対する市民の理解を深めることを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け継がれてきた文化財や歴史的に価値のある財産を、良好な状態で保存する。</li> <li>・文化財の修復技術の承継や支援、また文献の調査・収集・保存を積極的に行い、その活用に努める。</li> <li>・観光資源として文化財を活用する。</li> <li>・周辺地域の景観を考慮した一体的な整備を行う。</li> <li>・文化財を利用したイベントや講座等を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や文化財所有者との連携を図り、文化財の保存・活用状況を把握し、新たな活用方策について地域の人々とともに考える。</li> <li>・取り組みを行っている地域などへの支援を行う。</li> </ul>
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化財のデータベース化</li> <li>②文化財の存在の周知</li> <li>③文化財についての講座の開催や学習機会の拡充</li> <li>④学校教育における文化財や歴史の継承事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保存修理の支援</li> <li>②周辺を含めた史跡の整備</li> <li>③文化財の調査・研究・掘り起こし</li> <li>④観光地としての発信と集客への整備</li> <li>⑤文化財やロケーションを意識したイベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化財等の管理者との連携</li> <li>②文化財を活用している地域などへの支援</li> <li>③文化財と地域社会とのつながりの促進</li> <li>④学校における地域文化財学習の充実</li> </ul>
実施事業の評価と課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化財を理解し、保存への意識を高めるために、                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(11101) 国、県、市指定文化財の基礎データを収集し、データベース化を図っている。(文化財課)</li> <li>(11102) 各生涯学習施設において、静岡の歴史をテーマにした講座・歴史散策等、地域の特色を活かした事業を実施している。(生涯学習推進課)</li> <li>(11103) 子どもたちに、気軽に伝統文化に親しんでもらうため、民族芸能やお茶に関する講座等を実施している。(文化振興課)</li> <li>(11104) 小中学校の賤機山古墳や三池平古墳の現地見学の際に職員を派遣して、専門的な解説を行っている。(文化財課)</li> <li>(11105～11107) 登呂博物館や埋蔵文化財センター等で企画展や体験イベントなどを実施している。(文化財課、登呂博物館)</li> </ul> </li> <li>②文化財の保存に努め、後世に残すために、                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(11201) 国・県・市指定の文化財の保存、修理や維持管理に補助金を交付し、文化財の保存を行っている。(文化財課)</li> <li>(11202) 古墳や遺跡など史跡の保存整備事業を実施している。(文化財課)</li> <li>(11203) 市指定文化財の指定に向け、調査研究を行っている。(文化財課)</li> <li>(11204、11205) 文化財の価値を伝えるイベントや羽衣まつりなどの事業を実施している。(文化財課、文化振興課)</li> <li>(11206) 機会に合わせ、近代化遺産の登録文化財公開等を行っている。(文化財課)</li> </ul> </li> <li>③地域や学校と連携した文化財の活用を図るために、                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(11301) 文化財の管理者、所有者と保存についての協議会を定期的に行っている。(文化財課)</li> <li>(11303) 小中学校の賤機山古墳や三池平古墳の現地見学の際に職員を派遣して、専門的な解説を行っている。(文化財課) (11104 再掲)</li> <li>(11304) 小中学生の地域学習における地図や副読本を編集・発行し、児童・生徒の学習の充実を図っている。(学校教育課)</li> <li>(11305) 小中学生の総合学習の支援を行うため、図書館所蔵の資料の提供を行っている。(中央図書館)</li> </ul> </li> </ul>		

## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

●『文化財の保護、活用の促進』ということについて、概ね良好に事業を実施しているが、長期的な視野に立った事業を展開するとともに、今後の効果的な活用方策の検討が必要となる。

○各事業について達成目標を設定し、進捗状況を確認しながら事業を推進していく必要がある。

○体験教室参加者の中には、問題意識を持って臨む者もいるため、新たな伝承者の育成にもつなげられるような事業の推進を図る必要がある。

○短期的に事業の目的を達成するというよりも、長期的な視点に立った地道な事業の継続が必要となるため、引き続き意識の高揚につながるような事業の展開を望む。

○地域の歴史として文化財の保護、保存に力を入れるのはもちろんのこと、その後の効果的な活用方策や継承問題について検討し事業に取り入れていく必要がある。

・対象校（学区）を大河内としているが、他の中山間地等まで同じ課題を持つ地区に対象を広げる必要がある。（11103）

・（登呂博物館の）改装を機に、遺跡、埋蔵文化財への再認識を図る努力が見られる。継続して支援していく必要がある。（11105）

・各区に出張しての文化財の展示会はとても良いことだ。文化財に限らず、無関心な人には偶然にも出会える機会を少しでも多く設けることが大切である。（11105）

・伝統文化財の展示や映像記録の中に、修復作業に関するものを加えてほしい。文化財の保護・継承に修復の仕事は不可欠であり、この大切な分野への関心や理解が深まると良い。（11105・12105）

・浅間神社に続く地域にある、今川文化跡等の発掘は考えられないのか。（元喜久屋跡など）（11202）

・方向自体はよいことだ。ただ歴史の道は東海道だけに限らないのではないか。久能街道、安倍街道、それぞれ地域で大切な役割を担ってきた。また東海道にしても、MARKIS で地上から消え、痕跡すら失われた部分がある。歴史の道は残すのが難しければ次善策を。（11204）

・三保、羽衣に関する事業は、羽衣まつりのイベント支援だけなのか、「地域資源の発掘と再認識」の項目とも関連するが、羽衣、三保をテーマとしたものがこれまでは薪能、今年度はコンテンポラリーダンスだけである。（11205）

・国土交通省などではすでに、GIS活用した教育プログラムが展開されている。GIS事業との連携を検討すべき。（11304）

・地域の歴史を伝えるのはとても大切。今後は子供たちだけでなく大人たちへの副読本を。新しく静岡に来る人たちのためにも。（11304）

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

目標	1 しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承	方向	2 伝統ある文化の伝承の支援
----	--------------------------	----	----------------

方策	①伝統文化に対する意識の向上	②伝統文化の継承と支援	③伝統文化事業の推進
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が、自身を取り巻く地域の伝統芸能や民族芸能などについての知識を深めることは、自らが住むまちや地域を愛し、誇りを感じることに繋がる。</li> <li>地域の伝統芸能や民族芸能などに関する情報の提供や学習機会の拡充に努め、伝統文化に対する市民意識の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の伝統文化継承者や団体の発掘と把握を行い、人材の育成に対する支援を行う。</li> <li>活動場所の確保及び活動に対する支援を行い、地域の伝統文化の保存、継承とその発展を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域の伝統芸能や民族芸能の発表会や公演などの支援を行う。</li> <li>日本固有の古典芸能公演を開催することで、日本の伝統文化への愛着と誇りを育む土壌をつくる。</li> <li>古典芸能の公演開催にあたり、学習の場を設け、日本や静岡を再認識する機会の創出を図る。</li> </ul>
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の伝統文化のデータベース化</li> <li>②地域伝統芸能の保護</li> <li>③生活文化の記録保存と支援</li> <li>④地域文化を通じた日本文化の再発見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①伝統文化継承者の発掘と把握</li> <li>②伝統文化継承者への支援</li> <li>③伝統文化継承者の育成</li> <li>④地域伝統芸能の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①伝統芸能公演事業の推進</li> <li>②日本古典伝統文化公演の推進</li> <li>③伝統文化講座の開催や学習機会の拡充</li> <li>④日本古典芸能を理解するための事業開催</li> </ul>
実施事業の評価と課題等	<p>①地域に根づく文化を理解し、保存・継承の意識を高めるために、</p> <p>(12101) 国、県、市指定文化財の基礎データを収集し、データベース化を行った。(文化財課)</p> <p>(12103) 本市の第一線で活躍する様々な専門家や達人、地域の文化を継承している方を講師に招き、その専門的知識や技術力といった教育資源を、小中学生の学習に活用している。(学校教育課)</p> <p>(12104) 民俗文化財の映像記録化、用具整備などを進め、各保存団体の伝承活動を支援している。(文化財課)</p> <p>(12105、12106) 貴重な民族文化財を記録をするとともに、冊子やホームページで公開し文化財に対する理解の向上や教育普及の促進を図っている。(文化財課)</p> <p>(12107) 関係資料を収集・保存し、情報の収集と提供を行っている。(中央図書館)</p> <p>②伝統文化継承者や団体の育成と活動への支援を図るために、</p> <p>(12202) 民俗文化財の映像記録化、用具整備などを進め、各保存団体の伝承活動を支援している。(文化財課) (12104 再掲)</p> <p>(12203) 市民文化祭等を支援し、伝統芸能発表の機会を提供している。(文化振興課)</p> <p>(12204) 指定民俗文化財保存団体に助成を行っている。(文化財課)</p> <p>③伝統芸能や民族芸能に触れる機会の充実を図るために、</p> <p>(12301、12303) 日本の古典伝統文化である能や歌舞伎の公演の開催や支援をしたり、より親しむために事前講演会を開催している。(文化振興課)</p> <p>(12302) 茶道や神楽等伝統文化に触れる学習機会を提供している。(文化振興課)</p> <p>(12304) 地域の伝統行事や文化をテーマにした講座や体験型学習を重視した伝統文化講座を生涯学習交流館等で開催している。(生涯学習推進課)</p> <p>(12305・12307) 地域に伝承されている民俗芸能や文化事業について冊子やホームページで紹介している。(文化財課) (12105・12106 再掲)</p> <p>(12306) 大人から小学生を対象に、民俗文化財や行事について理解を深めるための講座を開催している。(文化財課)</p> <p>●『伝統ある文化の伝承の支援』ということについて、概ね良好に事業を実施しているが、長期的な視野に立った事業の推進や、今後の効果的な活用方策が必要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各事業について達成目標を設定し、進捗状況を確認しながら事業を推進していく必要がある。</li> <li>○短期的に事業の目的を達成するというよりも、長期的な視点に立った地道な事業の継続が必要となるため、引き続き意識の向上につながるような事業の展開を望む。</li> <li>○小中学校をはじめとして、伝統文化に接する機会を設けることは大切であるが、そのきっかけをどう継承への意識に結びつけていくのか、どう活かしていくのが課題。</li> </ul>		

## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

○伝統文化の継承者の発掘、育成や、その活動に対する支援を積極的に行っていく必要がある。

- ・(12107)、(12202) の重なりが効果的に協働事業の展開があっても良いのではないか。(12105)
- ・山村文化ガイドブック、文化財プロモーションビデオ、伝統文化に関する資料収集データはどの様に活用しているのか。これらを「意識の向上」にどう結びつけているのかが重要である。  
(12105・12106・12107)
- ・伝統文化財の展示や映像記録の中に、修復作業に関するものを加えてほしい。文化財の保護・継承に修復の仕事は不可欠であり、この大切な分野への関心や理解が深まると良い。(11105・12105)
- ・三保での薪能が続いているのは良い。能をはじめ伝統芸能の公演は、グランシップでも行っており、市内にグランシップもある静岡としては、連携してはどうか。(12203・12301)

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

目標	2 地域性豊かな市民文化の創造		方向	1 多彩な市民文化活動の支援
方策	①文化活動への助成	②人材・組織の育成	③生涯学習活動への支援	④豊かな心をつちかう教育の推進
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民への支援を進め、市民が主体的に行う文化活動のさらなる活性化を図る。</li> <li>団体や個人への活動場所の提供、活動や成果の発表に対する支援や、新たな人材発掘などを行う。</li> <li>国、県などの褒章への推薦、支援施策の紹介を行う。</li> <li>文化団体、財団、市民個人が行う文化事業への支援を行うとともに、活動の一層の充実と、自立、意識改革を促していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が芸術文化に触れる多様な機会を創出する。</li> <li>芸術文化に関する学習の機会を提供し、文化とのふれあいを求める市民の育成と、その活動への支援を目指す。</li> <li>芸術家・文化人を発掘し、地域における文化振興の先導的な人材として位置付けるとともに、その活動を支援する。</li> <li>「文化振興によるまちづくり」に対する意識啓発活動、ボランティア活動の推進、芸術文化事業を企画・制作する人材など、リーダーとなる人材育成を行う。</li> <li>市民の企画、運営による芸術文化事業に活動の場を提供し、市民が文化事業の推進や公共施設の運営に参加できるシステムを構築する。</li> <li>人材のデータベース化、情報の共有と活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な世代の市民が文化を通じて生きがいを持ち、豊かな生活を送ることができるよう、文化に関連する生涯学習活動への支援を行う。</li> <li>市民が主催・運営する事業や、出展者・出演者となる事業、文化を通じた世代間交流を図る事業など、幅広く市民が参加できる文化事業を推進し、市民が容易に情報の受発信を行えるようなシステムの構築を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次代の本市を担う子どもたちの文化への興味・関心を高めることを目指し、学校や地域での文化に関連する活動への支援を行う。</li> <li>学校において、文化事業や作業を主体とした事業を積極的に行う。</li> <li>学校のカリキュラムとの連携や支援を行い、子どもたちのこころに響く教育や育成事業の展開を図る。</li> <li>身近な地域において、質の高い芸術に触れることのできる事業を推進する。</li> </ul>
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化活動の支援</li> <li>②活動場所や発表機会の提供</li> <li>③活動場所確保の支援</li> <li>④文化活動に対する補助制度の設置</li> <li>⑤文化団体の充実、育成</li> <li>⑥国、県の文化補助事業の活用推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①芸術家・文化人の発掘・育成・支援</li> <li>②人材・団体情報のデータベース化</li> <li>③ボランティア活動の推進</li> <li>④芸術文化事業の企画制作者の育成</li> <li>⑤まちづくりへの意識改革</li> <li>⑥文化事業の推進と運営を利用者自身で行うシステムの導入</li> <li>⑦文化事業推進スタッフの養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市民が参加できる事業の推進</li> <li>②市民と一体となった文化事業の促進</li> <li>③文化をテーマとした世代間交流事業の推進</li> <li>④市民主体の情報発信、受信のシステムづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校と連携した文化教育プログラムの実施</li> <li>②幅広い人材を活用した文化教育プログラムの実施</li> <li>③次代の鑑賞者の育成を図る事業の展開</li> <li>④子どもたちが本物の芸術に触れる機会の創出</li> <li>⑤文化・学習施設と学校との連携の充実</li> </ul>
実施事業の評価と課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①団体・個人の活動を支援し、活性化を図るために、                      (21101) 公共性のある文化事業を実施する団体に対し、助成金を交付している。(文化振興課)</li> <li>(21102) 静岡市芸術文化奨励賞を設け、本市の文化振興に寄与する市民の活動を奨励するとともに、国等の表彰事業等の周知に努め、候補者の発掘を行っている。(文化振興課)</li> <li>(21103) ふれあいホールの申請や、関係課に副申を行うなど、市民の文化活動の場所の確保を支援している。(文化振興課)</li> <li>(21104) 文化・学習施設の貸館業務を例規等や利用許可マニュアルに従い、適正かつ安定的に運営している。(文化振興課、生涯学習推進課)</li> <li>(21105) 市内で文化活動を行う個人や団体に対し、発表の場を設けている。(静岡音楽館)</li> <li>(21106) 全国大会等の芸術文化活動の発表会に出場する個人や団体に対し、補助金を交付している。(文化振興課)</li> </ul>			

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

<p>(21107・21108) 市内の文化団体を取りまとめている文化協会等への支援や、ボランティア活動を推進している。(文化振興課)</p> <p>(21109) 静岡市文化協会が開催する、静岡市芸術祭の開催を支援している。(文化振興課)</p> <p>(21110) 地域の演奏家、演奏団体の育成のため、企画を募集し、審査の上、コンサートとして開催している。(静岡音楽館)</p> <p>(21111) 国・県の文化補助事業について、積極的に情報提供している。(文化振興課)</p> <p>(21112～21114) お茶に関するイベントを開催し、お茶文化の伝承のみならず、消費者への情報発信、消費の拡大に努めている。(農業政策課)</p> <p>(21115・21116) 市民団体の活動拠点の整備・運営、情報の収集や提供を行い、協働事業の創出や事業展開を図っている。(男女参画・市民協働推進課)</p> <p>(21118) 文化活動を支援するために図書館において、資料・情報の収集を積極的に行っている。(中央図書館)</p> <p>(21119) 読み聞かせボランティアを養成するための講座を開催している。(中央図書館)</p> <p>(21120) センター、交流館まつり等を地域団体と協働で行うことにより、出演機会を提供している。(生涯学習推進課)</p> <p>②文化活動を担う人材・組織を育成し、活動を支援するために、</p> <p>(21201) 地域の演奏家、演奏団体の発掘、育成を目的にオーディションを実施し、合格者には演奏機会をコーディネートしている。(静岡音楽館)</p> <p>(21202) 後援名義を承認することにより、市民の文化活動を支援している。(文化振興課)</p> <p>(21203) 市内の芸術家育成を目的に「ピアニストのためのアンサンブル講座」を実施し、若手演奏家の育成を図っている。(静岡音楽館)</p> <p>(21204) 各生涯学習施設で活動する文化団体のサークルリストを作成し、窓口等で紹介している。(生涯学習推進課)</p> <p>(21205) 文化の担い手の交流機会を促進するため、『ストリートフェスティバル』や『市民音楽祭』を支援している。(文化振興課)</p> <p>(21206・21207) 展示物の説明やイベント事業支援のための、ボランティアの参加募集や養成事業を行っている。(各施設)</p> <p>(21208) 各生涯学習施設において、市民団体による読み聞かせ会を実施している。(生涯学習推進課)</p> <p>(21209) 文化振興財団の自主企画事業について支援を行っている。(文化振興課)</p> <p>(21211) 庁内で組織されるまちづくりに関する委員会等で、文化的視点から参画している。(文化振興課)</p> <p>(21212) 可能な文化施設において指定管理者制度を導入し、民間のノウハウや人脈を生かした上質な事業を展開している。(文化振興課)</p> <p>(21213) NPO、市民団体、他機関等の共催事業を積極的に導入し、講座を開催している。(生涯学習推進課)</p> <p>(21214) お茶に関するイベントを開催し、お茶文化の伝承のみならず、消費者への情報発信、消費の拡大に努めている。(農業政策課)</p> <p>(21215) まちづくりについて、主体的に関わっていける人材を養成する「人材養成塾」を開催し、多くの受講生・修了生を輩出している。(生涯学習推進課)</p> <p>③生涯を通じて文化と触れ合える環境をつくるために、</p> <p>(21301) 親子書道展や公募写真展など、市民が気軽に参加でき、文化に親しむことができるような事業を開催している。(文化振興課、生涯学習推進課、東海道広重美術館)</p> <p>(21302) 運営から出演まで、市民との協働で行われる事業を推進している。(文化振興課)</p> <p>(21303・21304) 地域の学生や高齢者と連携し、年齢に捉われず参加できる事業や、多くの年齢層が一堂に集い互いに刺激しあえるような事業を展開している。(生涯学習推進課、静岡市民文化会館)</p> <p>(21305) 図書館資料を収集・保存し、貸出、レファレンスサービス等を通して市民の生涯学習活動の支援を行っている。(中央図書館)</p> <p>(21306) 自主事業、企画展等の関連事業として、ワークショップや講演会などを開催している。(各施設)</p> <p>④教育を通じて文化と触れ合う機会を創出するために、</p> <p>(21401) 音楽・美術・科学等の分野において、学校と連携した事業を展開している。(静岡音楽館、静岡市美術館、静岡科学館)</p> <p>(21402) 子どものための音楽ひろば等、各種ワークショップ、教室、講座を開催し、子どもたちの文化に対する意識の高揚を図っている。(静岡音楽館、静岡市美術館、静岡科学館)</p> <p>(21403) 各施設が小中学校へ出かけ、子どもたちが文化に触れ合える環境を提供している。(文化振興課)</p> <p>(21404) 文化庁主催事業である『文化芸術による子供の育成事業』を導入し、本物の芸術に触れる機会を設けている。(学校教育課)</p> <p>(21405) 市民が気軽に芸術文化を鑑賞できるような機会を提供している。(静岡音楽館、静岡市美術館、東海道広重美術館、文化振興課)</p> <p>(21406) 市内の文化・学習施設と学校が連携し、施設が提供する専門性を学校教育に取り入れている。(静岡市美術館、静岡音楽館、東海道広重美術館)</p> <p>(21407・21408) 小学5、6年生を対象に、日本茶インストラクターによるお茶の美味しい入れ方教室を開催するなど、お茶文化の普及と食育に取り組んでいる。(農業政策課)</p>
--

## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

(21409) 学校と連携し家庭教育学級を実施している。(生涯学習推進課)

(21410) 家庭教育学級、高齢者学級で実施している事業を一部一般にも開放し、市民に学ぶ機会を提供している。(生涯学習推進課)

(21411) 小学生の授業においてインターネットや書籍で調べるだけでなく、実際に作ってみるという体験学習の補助を行っている。(産業振興課)

●『多彩な市民文化活動の支援』ということについて、多種多様な事業を実施しているが、個々の事業内容等を検討しより効果的な事業の展開を図ることが必要である。

○各事業について達成目標を設定し、進捗状況を確認しながら事業を推進していく必要がある。

○市民の様々な取組みに対し、文化活動への助成、人材・組織の育成、生涯学習活動への支援、教育への支援のそれぞれについて事業が実施されているが、個々の事業内容等を検証、検討し、さらに一段上を目指し、より効果的な事業の展開を図る必要がある。

○助成制度の周知や要綱の見直し、文化の担い手の育成、ジャンルに捉われない子どもたちへのアプローチなど、引き続き、多種多様な文化事業を提供しながら、市民の活動を支援し底辺拡大に努めていくことが必要となる。

・助成のための要項の再考とPRに努め、文化団体の活性化につなげたい。(21101)

・受賞者の年齢制限を見直せないか。高齢化社会の観点から若年の発掘を期待すると同時に。(21102)

・文化会館で行われる催し物は、年間総ぐるみで評価される。年間全体をプロデュースできるプロパーの養成など考えられないか。(21215)との効果的重なりを。(21111)

・清水文化会館の位置づけが異なるためか、PR等に総体性を欠く場合あり。(21111)

・文化団体の相互の交流活動はどの様になっているのか、文化活動の内容向上のためにも、交流活動の活性化が必要でないか。(21107・21205)

・竹久夢二研究会以外に、様々なボランティア活動をしている団体を発掘し、育成することが望まれる。(21108・21119・21206)

・日本の音楽大学では、勉強できる機会がほとんど無い分野の貴重な講座なので、今後も継続してほしい。(21203)

・例として挙げられていることではなく、交流を目的とした場が設けられるべきでは。(21205)

・ボランティアのスキルは養成できるものだが、ボランティア自体は養成するものではない。その施設の事業を自分たちのものとして支えたいと思い自主的に参加するのがボランティアなので、そう市民が思う活動が求められる。(21206・21207)

・研修が行われていることは評価するが、(21111)で示したように役割別の研修に重点をおきたい。(21209)

・まちづくり計画等に文化的視点を盛り込むには、情報収集している段階では、初期段階である。都市計画課等が行うまちづくり計画作成過程に参加しなければ、実現できない。文化振興課等にその人材や時間的余力があるのかが課題である。(21211・22101)

・キニナル スキニナル プロジェクト(1例)など、他機関との共催の努力、PRの効果など評価したい。(21213)

・文化芸術分野で世界的に活躍している若者の背景には、優れた指導者の存在がある。指導者が育つ環境と活躍できる場づくりが必要だ。(212全体)

・羽衣まつりだけでなく、大道芸ワールドカップ、ストリートフェスティバル、シズカンなども評価に加えるべきだ。「生涯学習活動への支援」という項目が適当なのかわかりませんが。(21302)

・コミュニティダンスについては、その文化性の評価は一考する必要あり。他ダンス領域も。いわゆる「ダンス」を総合的に扱いたい。(21303・21304)

・コミュニティダンスの取り組みはとても面白いが、誰もが気軽に参加できるのか。主催側はそのつもりでも、市民にはそう受け取られていないのでは。参加を募集したときにどれぐらい応募があつて何人参加できたかなど、そこが評価の基本の一つだ。(21304)

・こうした取り組みは今後も積極的にやっていただきたい。(21401)

・美術館で音楽、音楽館で美術。ジャンルに捉われない子どもたちへのアプローチがあってもいい。子供たちに対しては芸術文化と触れ合える機会が少なすぎることはない。(21402～21404)

・山間地の学校に芸術家を派遣する一方、AOIという環境の中に、機会の少ない山間地校の児童・生徒を招いて本物に触れる機会を与えたい。そのため、バス代の補助など考えられないか。(21403)

・急須の使い方を知らない若者が増えているという報道があるので、日本茶の名産地である静岡の子供たちにはお茶の入れ方を覚えてもらいたいと願い、講座を広めてほしい。(21407)

・地域に密着した生涯学習センターの講座開催にはそれなりの情報と支援が必要である。(21410)

・参加率の高さは素晴らしい。後継者は増えているのか。中学生になっても、高校生になっても、地場産品の素晴らしさ、魅力を伝える機会があるとよい。(21411)

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

目標	2 地域性豊かな市民文化の創造		方向	2 文化活動の環境整備
方策	①文化基盤整備の検討	②文化活動拠点の整備	③芸術文化の鑑賞機会の充実	④協働による施設の整備と運営
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化そのものがまちの財産であるという視点に立ち、本市が行うすべての事業において、文化振興に対する行政の意識改革を行う。</li> <li>文化に対する市民の意見や意識の把握を常に行うシステムと、これを反映し、市民が参加できる体制を整え、文化基盤の整備とまちづくりとの連携への展開を図る。</li> <li>既存文化施設の利用形態や施設の役割の明確化について検討を進める。</li> <li>多くの人が文化に触れることができる情報拠点整備やシステム構築の検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存文化施設のバリアフリー化、耐震化を進めるとともに、設備の見直しを行う。</li> <li>魅力あふれる空間への改修、新たな文化施設の整備の検討を行う。</li> <li>施設の予約状況等を知ることができるシステムづくりや、文化、教育施設のネットワークの構築を目指す。</li> <li>文化施設の民間施設との連携を研究するとともに、利用形態に応じた運営方法の検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い事業を推進するとともに、住民ニーズに合った各文化施設の自主事業や、特色のある芸術文化事業を検討し、その開催を図る。</li> <li>民間団体や企業との協力による大型文化事業の開催や招致を企画し、鑑賞機会の充実を図る。</li> <li>市民が常に身近に芸術文化に触れることのできる機会の拡充に努めることで、感性豊かな鑑賞者の育成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな文化施設の整備について、市民を交え、民間の手法を取り入れるなどの検討を行い、協働による施設整備と運営方法の検討を行う。</li> <li>文化活動の環境整備の充実を目指す。</li> <li>ボランティアやサポーターの育成支援を行うことで、市民が主体的に文化活動の機会を創出し、市民が互いに学びあうシステムの構築を検討する。</li> </ul>
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化施設の役割の明確化の検討</li> <li>②行政における文化的視点の導入促進</li> <li>③住民意見の反映による文化事業の展開</li> <li>④多様な市民意識を把握するシステムの構築</li> <li>⑤街角の芸術空間の創出</li> <li>⑥集客圏の拡大を図るための戦略の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①バリアフリー化を含めた耐震整備及び改修</li> <li>②魅力あふれる既存文化施設の改修</li> <li>③充実した環境・施設の提供</li> <li>④新規施設の検討</li> <li>⑤文化施設の専門的な運営の検討</li> <li>⑥施設の共有化の検討</li> <li>⑦文化施設ネットワークの構築</li> <li>⑧公民館・図書館・文化施設における民間施設との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①質の高い文化事業開催の推進</li> <li>②特色ある自主事業の実施</li> <li>③新しい文化事業の研究と開催</li> <li>④民間との協力による大型文化事業の検討と招致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新たな文化施設整備における市民・民間との協働</li> <li>②市民主体の情報発信、受信のシステムづくりの支援</li> <li>③市民の文化活動の拠点となる施設運営方法の検討</li> <li>④市民との協働による文化活動の環境整備</li> <li>⑤ボランティア、サポーターの育成</li> <li>⑥市民文化活動参加に対する受け皿づくり</li> <li>⑦市民が互いに学びあうシステムの構築</li> </ul>
実施事業の評価と課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化を意識したまちづくりを展開するために、 <ul style="list-style-type: none"> <li>(22101) 庁内で組織されるまちづくりに関する委員会等で、文化的視点から参画している。(文化振興課)</li> <li>(22102) 市民意見を反映した文化施策を展開するため、各文化施設でアンケート調査を行っている。(文化振興課)</li> <li>(22103) 「Hotひといきコンサート」の実施や「ストリートフェスティバル」等の支援により、街角に芸術空間と賑わいの場を創出している。(文化振興課)</li> <li>(22104) 「羽衣まつり」を含めたツアー企画の実施について、市内外の旅行社に働きかけを行い、受入を実施している。(文化振興課)</li> </ul> </li> <li>②施設の充実・連携を通じて、文化活動を行う環境を整えるために、 <ul style="list-style-type: none"> <li>(22201・22203・22204) 高齢者や障害のある人など利用者によりやすい文化施設や周辺環境を意識し、整備や備品の購入を行っている。(文化振興課)</li> <li>(22202) 静岡市民文化会館等の耐震工事改修計画について検討を行う。(文化振興課)</li> <li>(22206) 指定管理者制度を導入し、年3回のモニタリング等により適正な施設の運営について、確認や指導を行っている。(文化振興課)</li> <li>(22208) 文化振興財団が指定管理を行う施設で連携し、「しずおかイベントニュース」を毎月発行しイベント情報を発信している。(各施設)</li> <li>(22209) 周辺地域の他施設及び商店街と連携し、施設だけでなく周辺地域全体の賑わい創出を図っている。(静岡市美術館、清水文化会館)</li> </ul> </li> </ul>			



# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

③芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成するために、

(22301) 指定管理者制度を導入することにより、指定管理者が持つノウハウや人脈を生かし、上質な事業を展開している。(各施設)

(22303) 「子どものためのコンサート」や、親子で楽しむことができるワークショップ等を実施している。(静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館)

(22304) 上質な公演を誘致し長期間にわたり提供することで、文化の振興はもとより、回遊性を高めまちを活性化させるとともに、市中心地の商業振興を図っている。(文化振興課)

(22305) 市民意識を施策に反映するため、アンケート調査等リサーチを実施している。(文化振興課)

(22306) 多彩なジャンルの自主事業の実施により、鑑賞機会の充実や文化事業への参加の促進を図っている。(各施設)

(22307) 小中学生を対象とした文化事業を企画し、鑑賞の機会の拡大を図っている。(文化振興課、静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館)

(22308) 大都市文化行政会議等へ参加し、他都市の文化事業の実施状況等の情報交換を行っている。(文化振興課)

(22309) 静岡市クリエイター支援センターを拠点としたクリエイターの育成、コンテンツ産業の普及啓発及び振興を図るなど、クリエイターのビジネス活動を支援している。(産業政策課)

④市民との協働を通じた文化施設の整備と運営方法を検討するために、

(22401) 可能な文化施設に指定管理者制度を導入し、施設運営に民間の力を取り入れている。(文化振興課)

(22402・22404) ボランティアスタッフを養成し、文化活動の担い手として文化活動拠点の運営への活用を図っている。(各施設)

(22403) チラシ・ポスターの配布協力等の実施により、市民の文化活動への支援を行うとともに、情報提供に務め文化活動の環境を整備している。(文化振興課、東海道広重美術館)

(22405) 文化活動拠点を整備し、市民の利用促進を図っている。(文化振興課)

●『文化活動の環境整備』ということについて、施設等のハード面の整備については大きな予算を伴うため一朝一夕にはいかないが、概ね良好に事業を実施している。

○各事業について達成目標を設定し、進捗状況を確認しながら事業を推進していく必要がある。

○既存の施設を有効活用し文化活動の場としての拠点整備を行うとともに、引き続き魅力的なソフト事業を展開し、いつでもどこでも文化に触れることのできるよう、市民のニーズに応じた文化事業の推進を図ることが必要となる。

○拠点の整備を地域の活性化に結びつけるには、更なる仕掛けが必要となるため、近隣の商店街等と連携した事業を継続的に実施し、回遊性を高めるための展開が望まれる。

・まちづくり計画等に文化的視点を盛り込むには、情報収集している段階では、初期段階である。都市計画課等が行うまちづくり計画作成過程に参加しなければ、実現できない。文化振興課等にその人材や時間的余力があるのかどうか課題である。(21211・22101)

・駅などの公共施設のエベレーターなどバリアフリー化はかなり進んでいる。市民文化会館など入場してからが不便だ。(22201)

・マリナートの客席内の階段は複雑な形状で、いわゆるユニバーサルな点から見て問題あり。安全面から見直し補修が必要か。→ 22201(22205)

・文化施設の事業とその近隣商店街活性化の事業を組み合わせた企画事業が、市内いたるところで行われることが理想である。一つでも多くの文化施設が、近隣商店街と共同事業できる仕組みなり補助制度を充実させると良い。(22209・22304)

・長期公演事業がいつも劇団四季なのは何故か。地元を始め、国内には様々な劇団があり、検討する余地はある。(22304)

・清水文化会館マリナートが出来て2年になるが、近くに飲食ができる施設がほとんど無い状況である。ホールが出来たことによる、この地区の活性化には更なる仕掛けが必要だ。(22401・23308)

・市民が文化全般について気軽に相談したり、情報を得ることが出来る窓口が現在あるのか。パソコンやスマートフォンを使えない市民も大勢いることを思うと、直接対応してくれる窓口があるのは心強い。(22403)

・サポーター、ボランティアの実習研修が必要である。(22404)

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

目標	2 地域性豊かな市民文化の創造	方向	3 地域資源を活かした文化事業の充実
----	-----------------	----	--------------------

方策	①地域資源の発掘と再認識	②地域資源の整備と活用	③地域資源と文化事業の連携
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の地域資源への意識を通じて地域そのものへの愛着を高めることを目指す。</li> <li>市民との協働により地域資源の発掘に努め、その紹介と適切な保護を図る。</li> <li>資源を利用した地域文化活動の把握と支援を行い、観光利用や高齢者の生きがい対策等を連携させた有効利用方法を模索していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化人や有識者等の様々な資源を活かした事業の企画、実施、支援など、活用方策の検討を進め、地域資源を活かした文化活動への参加意識の高揚を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「しずおか文化」をアピールできる観光スポットや祭り・イベントの紹介等、地域資源と経済的側面を合わせた形でのまちの紹介を積極的に行う。</li> <li>地域資源を核とした文化と経済の融合した施策の充実を図る。</li> <li>メセナによる文化事業の展開や理解を深めるために、地元企業との情報交換を推進する。</li> </ul>
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域資源の発掘・把握・保護</li> <li>②多彩な地域文化活動の基盤整備</li> <li>③地域資源の有効活用の検討</li> <li>④地域資源バンクの整備</li> <li>⑤地域による文化事業の充実と開催支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①都市空間を活かした事業の実施</li> <li>②自然を活かした事業の実施</li> <li>③施設や歴史的建造物を活かした事業の実施</li> <li>④地域の祭りへの支援</li> <li>⑤地元を知る講座の開講による意識高揚</li> <li>⑥地元出身の文化人や有識者の活用の検討</li> <li>⑦特色ある地域づくりへの文化的側面からの支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「しずおか文化」を意識した観光・旅行業界との連携強化</li> <li>②街を紹介する冊子の作成</li> <li>③文化と融合した商業空間の充実</li> <li>④地元企業とのイベント共催システムの確立</li> <li>⑤地元企業メセナ（文化事業支援）の推進</li> <li>⑥企業との文化活動情報交換会の開催</li> </ul>
実施事業の評価と課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域資源を把握し、保護するために、                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(23101) 各生涯学習施設等において活動している文化団体を記載したリストを作成し、情報提供をしている。(生涯学習推進課)</li> <li>(23102) 本市所蔵品や本市ゆかりの美術品の展示を実施している。(文化振興課)</li> <li>(23103、23104) 本市所蔵の地域資源の管理、修繕、整備を行うとともに、一般公開し認知度の拡大に努めている。(文化振興課)</li> </ul> </li> <li>②地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開するために、                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(23201) 羽衣伝説発祥の地である三保松原において、「羽衣の松」を鏡板に薪能を開催し、地域資源の活用を図っている。(文化振興課)</li> <li>(23202) パンフレットや広報誌により地域資源を紹介している。(文化振興課)</li> <li>(23203) 地域で活動する団体との協働事業や、地域資源を題材にした講座を実施することで、自分が住む地元地域について改めて学び直し意識高揚を図る機会を提供している。(生涯学習推進課)</li> <li>(23204) 清水文化会館内に平野富山作品の常設展示コーナーを設け、年3回の入替えを実施し、地元出身の芸術家の作品の鑑賞機会を提供している。(文化振興課)</li> <li>(23205) 市民の文化活動に対し助成金の交付や、チラシ等の配布協力により活動を支援している。(文化振興課)</li> <li>(23206) 首都圏において、本市各業界の伝統工芸品の素晴らしさをPRする事業を展開し、若手後継者の意識の高度化に貢献している。(産業振興課)</li> </ul> </li> <li>③地域資源を活かし、地域経済の活性化に結びつけるために、                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(23301) 市漆組合・蒔絵組合連携による美術作品を制作し、静岡市美術館に設置することにより、本市地場産業のPRに貢献している。(文化振興課)</li> <li>(23302) 静岡市の各種伝統工芸の体験、展示、映像体験を通し、ものづくりに対する啓蒙等に務めている。(産業振興課)</li> <li>(23303) 駿府楽市において本市地場産品を展示紹介し、駅構内という立地条件を最大限活かした積極的なPRに努め、地場産品の愛用促進と販路拡大を図っている。(産業振興課)</li> <li>(23305) 伝統工芸技術の保存と、後継者の育成を図るため『伝統工芸技術秀士』として指定、顕彰するとともに、作品の展示会を開催し本市工芸品のPRを実施している。(産業振興課)</li> <li>(23306) 伝統工芸技術保存講習会を実施することにより、各業界の若手育成を図るとともに、異業種間の交流を推進している。(産業振興課)</li> <li>(23307) 冊子『まちかど』の発行支援や、市内のタウン誌への情報提供を行っている。(文化振興課)</li> </ul> </li> </ul>		

## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

- (23308) 音楽館、科学館、市美術館利用者がチケットを提示することにより、静岡駅周辺の協力店にて割引を実施し、中心市街地の回遊促進を図っている。(静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館)  
民間施設や商店街と定例的な情報交換を行い、新たな事業や連携の推進により周辺地域の魅力向上に努めている。(清水文化会館)
- (23309) 地元企業や市民団体と共催し事業を実施している。(文化振興課、静岡科学館、静岡市美術館)
- (23310) ホビーを活用した静岡ブランドを全国発信している。(産業振興課)
- (23311) 各宿場まつりの連携を行うなど、峠及び宿場に残る史跡、文化を活かした街道観光を推進している。(観光・シティプロモーション課)

●『地域資源を活かした文化事業の充実』ということについて、各課概ね良好に事業を実施しているが、長期的な視野に立った事業を展開するとともに、効果的な活用方法について検討する必要がある。

- 各事業について達成目標を設定し、進捗状況を確認しながら事業を推進していく必要がある。
- 地域資源を上手く取り込んでいくことにより、静岡にしかない個性溢れる文化を生み出す可能性を秘めている。このため、市民が身近なものに地域資源としての認識を持ち、誇りに思えるように、必要な整備など磨き上げを行うとともに、市民にどのように周知を図るのか、アプローチの方法について検討が必要となる。
- 発掘した地域資源をどう文化活動に結び付けていくのか、効果的な活用方法について検討が必要となる。

- ・ルノワールの彫刻をより積極的に活用することが望まれる。(23103)
- ・「静岡市伝統工芸秀士」の市民の認知度アップが重要。市民が日常的に触れ合い使うようになって、文化として根付いているといえる。(23305)
- ・清水文化会館マリナートが出来て2年になるが、近くに飲食ができる施設がほとんど無い状況である。ホールが出来たことによる、この地区の活性化には更なる仕掛けが必要だ。(22401・23308)
- ・数字が評価のすべてではないが、この項に限らず、全体に具体的な数字が書かれていることが必要なものもある。(23308)

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

目標	3 しずおか文化の発信と交流		方向	1 全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備
方策	①文化情報の提供		②文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築	
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間施設とも連携した文化施設のネットワーク化を図る。</li> <li>・市内外の文化事業情報、文化団体や文化活動等をデータベース化し、全国に向けて効果的かつ効率的に文化情報を発信できるシステムの整備を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国への情報発信拠点を整備するとともに、「しずおか文化」に関する情報を一元的に管理する窓口を検討する。</li> <li>・多様なメディアを効果的に活用し、総合的な文化情報の発信力を強化するシステムの検討・開発と、市民への周知、広域的なPRの充実を図る。</li> <li>・新たな地域文化の発見のために、双方向の情報交換の場の創出を目指し、文化団体、市民団体、公共施設等を活用した文化情報ネットワークの構築を検討していく。</li> </ul>	
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化施設のデータベース化</li> <li>②文化活動拠点のネットワーク化</li> <li>③文化情報の充実</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化情報の集約</li> <li>②地元マスコミとの連携・調整システムの確立</li> <li>③ミニコミ誌への積極的情報提供</li> <li>④国内外への情報伝達拠点整備</li> <li>⑤文化情報の配信方法の検討</li> <li>⑥文化情報網の整備と充実</li> <li>⑦文化団体等の交流を通じた情報交換の促進</li> <li>⑧自ら学ぶ市民の支援と情報の提供</li> </ul>	
実施事業の評価と課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①いつでも、どこでも文化情報を受発信できる機会を提供するために、 <ul style="list-style-type: none"> <li>(31101) 各文化施設がHPの充実を図り、イベント等の周知に努めている。(文化振興課)</li> <li>(31102、31103) 文化施設相互が連携し、互いの事業のPRを実施している。(文化振興課所管施設、東海道広重美術館)</li> <li>(31104) 駿府楽市において本市地場産品を展示紹介し、駅構内という立地条件を最大限活かした積極的なPRに努め、地場産品の愛用促進と販路拡大を図っている。(産業振興課)</li> <li>(31105) 市政及び観光情報の提供や、ホビー、お茶等を中心とした静岡市の地域資源の積極的なPRにより、静岡市の魅力を発信している。(観光・シティプロモーション課)</li> <li>(31106) シティプロモーションを推進するため、市内での映画、ドラマ、CMなど映像作品の撮影の誘致に努めている。(観光・シティプロモーション課)</li> <li>(31107) 市民や来訪者に対し、映像を利用した情報提供や地域資源の積極的なPRを行っている。(観光・シティプロモーション課)</li> </ul> </li> <li>②文化情報の発信力を強化し、「しずおか文化」を発信するために、 <ul style="list-style-type: none"> <li>(31201) 「しずおかイベントニュース」を発行、また芸術関連誌や行事予定表などに情報提供を行い、関連施設情報の集約を図った。(文化振興課所管施設、芹沢銈介美術館、東海道広重美術館)</li> <li>(31202) 地元マスコミを活用し、イベントの周知を行うなど、スムーズな情報発信に努めている。(文化振興課所管施設、芹沢銈介美術館)</li> <li>(31203) 地域情報誌やFM放送に情報提供することにより、幅広い地域・年齢層への周知や参加者の募集を図っている。(生涯学習推進課)</li> <li>(31204) 静岡市HPやイベントカレンダーを随時更新することにより、市の文化情報を国内外に発信している。(文化振興課)</li> <li>(31205) 静岡市の各種伝統工芸の体験、展示、映像体験を通し、ものづくりに対する啓蒙等に努めている。(産業振興課)</li> <li>(31206) 課ホームページ掲載やイベントカレンダーの登録により、文化情報の周知に努めている。(文化振興課)</li> <li>(31208) 静岡市文化振興財団、静岡市文化協会との協力体制を強化し、文化団体との交流を通じた情報交換の場を提供している。(文化振興課)</li> <li>(31210) 障害者、高齢者、子ども等様々な人が楽しめる文化事業を積極的に実施している。(静岡市民文化会館)</li> <li>(31211) 市内で開催される文化事業の企画案内について、全国の文化施設に積極的に発信している。(文化振興課)</li> <li>(31212) ホビーを活用した静岡ブランドを全国発信している。(産業振興課)</li> </ul> </li> </ul>			

## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

(31213) 所管課と連携し、ポスター・チラシの配布を通じ、首都圏において本市の文化情報を発信している。(東京事務所)

(31214) 国内において、静岡市の魅力である観光資源や文化等の情報を発信している。(観光・シティプロモーション課)

●『全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備』ということについて、概ね良好に事業を実施しているが、更に発信力を高めるために効果的な手段について検討が必要である。

○各事業について達成目標を設定し、進捗状況を確認しながら事業を推進していく必要がある。

○HP等の電子媒体やチラシ等の紙媒体により、幅広く情報の提供を行っているが、より発信力を高めるための効果的な手段についての検討が必要となる。

○事業ごとの情報に留まらず、施設や部局横断的な情報網の構築強化を主眼とした事業の展開が必要となる。

○一方的な情報提供を行うのではなく、市民が活動する文化活動の情報を集約し提供できるような仕組みを構築する必要があるため、市民や企業との協働を考えていく必要がある

○自己満足に終わることなく、どれだけ文化が発信できているのか測る仕組みについても検討が必要となる。

・やっている内容は「ホームページの更新とイベントカレンダーへの登録」で同じである。(31206)は「情報網の充実」である。施設や部局横断的な情報網の構築強化を主眼とした事業を行うべきではないか。(31204・31206)

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

目標	3 しずおか文化の発信と交流	方向	2 文化交流事業の推進
方策	①全国や世界との文化交流事業の推進		
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しずおか文化」の独自性を認識し、地域への愛着と誇りを醸成するために、全国や世界の文化を受け入れ、また「しずおか文化」を積極的に発信することのできる事業を推進する。</li> <li>・多くの人々が本市を訪れ、文化事業を通じて気軽に交流できるよう、全国各地と文化イベントを共催するシステムの創設・推進や全国規模の文化事業の立案・開催の推進・支援を行う。</li> <li>・世界の諸都市との文化交流の、さらなる活性化を図り、姉妹都市・友好都市との文化交流については、市民や地域の文化団体との幅広い交流を目指す。</li> <li>・国内外のアーティストとの交流、作品の積極的な招へいを進める。</li> <li>・「しずおか文化」を目的に訪れる国際的な観光客を迎えるための環境整備を推進する。</li> <li>・「しずおか文化」の魅力を海外にアピールしていくための、情報発信の強化を図る。</li> </ul>		
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全国各地と文化イベントを共催するシステムの創設と推進</li> <li>②姉妹都市・友好都市との文化交流の活性化</li> <li>③全国規模の文化催事の立案や開催の推進</li> <li>④海外との文化交流推進強化</li> <li>⑤外来アーティストの積極的な招へいと交流の場の提供</li> <li>⑥市所蔵の美術品などの海外への出展</li> </ul>		
実施事業の評価と課題等	<p>①世界との文化交流を通して、「しずおか文化」を再認識するために、</p> <p>(32101・32103) 国内の美術館と連携し、全国各地を巡回する美術展覧会の開催を実施している。(静岡市美術館)</p> <p>(32102) 『竹久夢二』作品や『芹沢銈介』作品及びコレクション等の貸し借りをを行い、文化交流を推進している。(文化振興課、芹沢銈介美術館、静岡市美術館)</p> <p>(32104) 静岡市美術館において、海外の文化施設の協力による事業を実施している。(静岡市美術館)</p> <p>(32105) 「Hotひといきコンサート」や、音楽館の自主事業等に海外のアーティストを招へいするなど世界を意識した企画を開催している。(文化振興課、静岡音楽館、静岡市美術館)</p> <p>(32106) 国外都市において、静岡市の魅力である観光資源や文化等の情報を発信している。(観光・シティプロモーション課)</p> <p>●『文化交流事業の促進』ということについて、概ね良好に事業を実施しているが、全国や世界との文化交流を積極的に推進する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各事業について達成目標を設定し、進捗状況を確認しながら事業を推進していく必要がある。</li> <li>○今後も機会を捉え、全国や世界を意識した文化交流を図るとともに、「しずおか文化」を発信するため、交流事業を積極的に推進していく必要がある。</li> <li>○国内外の多様な文化に触れる機会を提供するとともに、静岡市の観光・交流資源として「しずおか文化」を活用できるよう、市民の意識の高揚を図り、活動を活性化していくことが重要である。</li> </ul>		

文化振興ビジョン [第1期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	1	しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承				
方向	1	文化財の保護、活用の推進				
方策	1	文化財に対する意識の高揚(文化財を理解し、保存への意識を高める)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		11101	指定文化財データベース作成事業	管理の実態を把握するために、市内の指定文化財をデータベース化する。	国・県・市指定文化財について基礎データを収集し、指定台帳のデジタルデータ入力を行った。	文化財課
		11102	講座の開催	歴史講座等を開催する。	地域の歴史資源を題材にした講座や地元の歴史散策を行う講座を、各生涯学習施設においてそれぞれの地域の特色を生かす形で積極的に実施した。歴史をテーマにした講座や講演会に関しては市民の要望も強くまた実際の応募者数も多いため、今後も事業を継続する方向で、さらには久能山東照宮国宝指定にともない、関連テーマによる記念講演の実施も予定している。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
		11103	伝統文化体験教室等の開催	小学生を対象に伝統文化を体験するため教室等を開催する。	「民俗芸能体験教室 有東木の盆踊りを踊ってみよう!」を平成22・7月24、31日、8月7、14日に実施した。参加者33名。(文化財課) 小学生を対象に夏休みを利用し「ちびっこお茶会」「抹茶体験教室」講座等を実施した。単なるカルチャー体験ではなく、茶道を専門に教える講師を招き和室での礼儀作法も同時に講義するなど、子どもに気軽に伝統文化に親しんでもらうという趣旨目的に沿った事業となった。今後も各生涯学習施設において伝統文化の体験に関する講座を実施していく予定。(生涯学習推進課)	文化財課 生涯学習推進課 (旧中央公民館)
		11104	出前講座開催事業	学校からの賤機山古墳現地見学や公民館からの歴史解説等の要請に基づき職員を派遣して応える。	小中学校の賤機山古墳の現地見学の際に職員を派遣し説明した。平成18:2,002人、平成19:2,456人、平成20:2,931人、平成21:3,278人。	文化財課
		11105	展示会・見学会等開催事業	文化財の展示会や見学会を開催する。	埋蔵文化財センターで企画展を毎年4回開催した。また、平成20年度からは、埋文センター及び市民ギャラリーで「文化財展」を毎年1回開催した。	文化財課
		11106	文化財ウォーク開催事業	宇津ノ谷峠の丸子地区や小島陣屋の小島地区などの地元と協働してウォークを開催する。	静岡県、藤枝市との共催で「文化を発信するみち—東海道の魅力—」を実施した。静岡市と宇津ノ谷まちづくり協議会が担当した歴史の道ウォークの参加者は平成22年72名	文化財課
		11107	登呂博物館の各種事業	登呂遺跡を中心とする歴史や文化に関する常設展・企画展・特別展・教育普及活動(講座、イベント等)を実施する。	博物館開館中(平成19年6月まで)は登呂遺跡を中心とする歴史や文化に関する常設展・企画展・特別展・教育普及活動(行動、イベント等)を実施した。博物館休館中は、登呂遺跡を上手に活用した事業を行うことができた。火起こしなどの体験学習は好評で年間約4万人の参加者があった。	教育総務課
方策	2	文化財の継承(文化財の保存に努め、後世に残す)				
		11201	指定文化財保存修理等補助金交付事業	文化財の保存修理にかかる補助金を交付する。	久能山東照宮、浅間神社などの国・県・市指定文化財の保存、修理や維持管理に補助金を交付し、文化財の保存を行った。	文化財課
		11202	史跡等保存整備事業	特別史跡登呂遺跡や史跡片山廃寺跡等を保存整備し、歴史的な価値を公開、保存する。	県指定史跡三池平古墳の保存整備工事を実施した(平成20~21)。特別史跡登呂遺跡保存整備工事を実施中(平成18~23年度までの予定)。	文化財課
		11203	文化財保護審議会事業	市指定文化財の指定に向けて、候補物件の調査研究を行う。	平成22年度第1回文化財保護審議会を11月1日に開催。そのほか指定候補物件4件の調査を実施した。	文化財課
		11204	歴史の道整備事業	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、文化財の鑑賞者に利便性を提供しその価値を伝える。	平成21年度に、「東海道宇津ノ谷峠越」として国史跡に指定されて、活用イベントに参画した。	文化財課
		11205	文化財やロケーションを意識したイベントの開催	屋外事業やロケーションを意識した文化事業を展開する。	事業は計画どおり実施され、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も事業を実施していくことが必要である。	文化振興課
		11206	近代化遺産活用事業	「登録文化財の日」に実施される全国一斉公開などの機会を得て文化財の素晴らしさを伝える。	近代化遺産活用連絡協議会副会長市として、全国大会や理事会に参加し、「近代化遺産の日」イベントに参画した。	文化財課

	事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
	11207	歴史映像資料アーカイブ管理事業	旧静岡・清水市の貴重な歴史映像をアーカイブとしてホームページで公開する。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)
方策 3	文化財の新たな活用(地域や学校と連携した文化財の活用を図る)				
	11301	文化財所有者・管理者連絡協議会事業	瀬名郷倉、エンバーソン邸などの文化財の保存・管理の関係団体と定期的に連絡協議する。	エンバーソン邸や瀬名郷倉の管理者との協議会は役割を終え、小島藩陣屋御殿の所有者と協議会を開催している。	文化財課
	11302	指定文化財保存修理等補助金交付事業	天然記念物の維持管理に対して補助金を交付するなど地域に対して支援する。	久能山東照宮、浅間神社などの国・県・市指定文化財の保存、修理や維持管理に補助金を交付し、文化財の保存を行った。	文化財課
	11303	出前講座開催事業(再掲)	学校からの賤機山古墳現地見学や公民館からの歴史解説等の要請に基づき職員を派遣して応える。	小中学校の賤機山古墳の現地見学の際に職員を派遣し説明した。平成18:2,002人、平成19:2,456人、平成20:2,931人、平成21:3,278人。	文化財課
	11304	静岡市地図編集委員会・社会科副読本改訂委員会	社会科学習に生かすため静岡市の地図を作成し、地域学習の充実を図ると共に、郷土及び地域学習に必要な社会科副読本を作成し、社会科指導の充実を図る。	各学校では、主に社会科における地域学習において、本地図及び副読本を活用しながら、学習の充実を図っている。地域の情報を収集する際、本課が編集・発行している地図及び副読本は学習を充実させるために有効な地域教科書となる。今後も本事業を継続し、児童生徒の学習のさらなる充実を図っていききたい。	学校教育課
	11305	総合学習や調べ学習の援助	小中学校の総合学習や調べ学習において参考となる資料の提供、援助を行う。	「自ら学び自ら考える」調べ学習や教科の枠を超えた総合学習を支援する目的で、小中学校を対象に学校協力貸出(図書館資料の貸出)を行い、その実績は、H18年は6,144冊、H19年は5,080冊、H20年は4,117冊、H21年は7,794冊とおおむね順調と思われる。学校協力貸出は、児童・生徒の自主的・自発的な学習を進めるうえで重要な役割を担っているが、学校(司書教諭・学校司書)の理解及び意欲により、年度や学校において利用状況の格差が生じており、今後より多くの利用にあたっては、学校に対するPR、資料提供のほか支援制度の充実を行い、学校との一層の連携を図る必要がある。	中央図書館



文化振興ビジョン [第1期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	1	しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承				
方向	2	伝統ある文化の伝承の支援				
方策	1	伝統文化に対する意識の向上(地域に根づく文化を理解し、保存・継承の意識を高める)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		12101	指定文化財データベース作成事業	指定民俗文化財について、伝承・保存の実態を把握するためにデータベース化する。	国・県・市指定文化財について基礎データを収集し、指定台帳のデジタルデータ入力を行った。	文化財課
		12102	スペシャリスト派遣事業	本市の第一線で活躍する様々な専門家や達人を講師に招き、生き方や専門的知識・技術力に学ぶ。	18年度以降毎年講師を新規登録し、各学校のニーズに応じている。19年度から21年度までで20団体・個人を新規登録。21年度からは年間50件以上実施している。児童生徒に夢を与え、学ぶことの意味や楽しさを実感させることに効果を上げている当事業は今後も発展・継続していく。	学校教育課
		12103	民間教育力活用事業	児童・生徒の必要に応じて校外の教育資源を活用する。	毎年のべ約2500人の民間教育力が活用されている。地域の文化を継承している人々の技に触れたり、指導を受けたりする体験は子どもたちに大きな感動を与え、学びを広げ深めることに効果を上げている。当事業は今後も発展・継続していく。	学校教育課
		12104	ふるさと文化再興事業	民俗関係の遺産について調査し映像記録を行い、伝承者の育成を援助する。	静岡浅間神社所有の山車について修理費の助成を申請し採択された。現在(H22)修理事業を実施中。	文化財課
		12105	伝統文化財保存伝承事業	写真、文字、映像により、記録するとともに事業の冊子を作成する。	海岸部の民俗調査として用宗、石部地区の調査を実施した。井川地区の民具調査を実施した。	文化財課
		12106	伝統文化調査事業	海の民俗誌など地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	海岸部の民俗調査として用宗、石部地区の調査を実施した。井川地区の民具調査を実施した。	文化財課
		12107	印刷物による記録、保存の推進	伝統文化に関する資料を収集し、保存する。	図書館は、地域の専門図書館の機能を有するため、地域の資料を収集し、レファレンス等に活用するために伝統文化に関するいわゆる郷土資料も積極的に収集し、保存をしている。郷土資料の収集・保存は、図書館の重要な責務であることから引き続き進めていく。	中央図書館
方策	2	伝統文化の継承と支援(伝統文化承継者や団体の育成と活動への支援を図る)				
		12201	文化財保護審議会事業(再掲)	民俗・伝統文化継承者にかかる指定候補物件の調査を行う。	平成22年度第1回文化財保護審議会を11月1日に開催。そのほか指定候補物件4件の調査を実施した。	文化財課
		12202	ふるさと文化再興事業(再掲)	民俗関係の遺産について調査し、映像記録を行い報告書を刊行する。	静岡浅間神社所有の山車について修理費の助成を申請し採択された。現在(H22)修理事業を実施中。	文化財課
		12203	伝統芸能公演への支援	市主催の発表機会を提供する。	事業は計画どおり実施され、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も事業を実施していくことが必要である。	文化振興課
		12204	指定文化財保存活用補助金交付事業	有形・無形の市指定民俗文化財の保存団体に対して助成する。	指定民俗文化財保存団体に助成を行った。	文化財課
方策	3	伝統文化事業の推進(伝統芸能事業や民俗芸能事業の開催を通じて伝統文化への愛着を育む)				
		12301	日本古典伝統文化公演開催事業	日本の古典伝統文化である能や歌舞伎の公演を開催、支援する。	松竹大歌舞伎、三保羽衣薪能とも定着し始め、事業の目的はほぼ達成された。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も事業を実施していくことが必要である。	文化会館 文化振興課
		12302	伝統文化講座や学習会の開催及び推進事業	日本の伝統文化である茶道や能楽に触れる学習会の開催を推進する。	毎年参加申込者が増加していることから、事業の効果はあったと考えている。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も事業を実施していくことが必要である。	文化振興課
		12303	日本古典芸能公演事前講演会開催事業	能や歌舞伎公演に付随し、より公演に親しむための講演会を開催する。	事前講演会は、より古典芸能を理解するために必要であり、毎年好評を得ている。事業効果は高いと思われるため、今後も実施していくことが必要である。	文化会館 運営委員会
		12304	講座の開催(再掲)	伝統文化の学習機会を提供する。	地域の伝統行事や文化をテーマとして扱う講座を実施し、学習の機会を提供した。小学生から高齢者まで、幅広い年齢層を対象に様々な分野で「伝統文化」を扱う講座を実施している。今後も継続的に実施するとともに、「体験型学習」を重視した講座を多く取り入れていくよう検討中。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
12305	伝統文化財保存伝承事業(再掲)	地域に根ざす文化行事を、市ホームページ等で広報し、冊子で紹介する。	海岸部の民俗調査として用宗、石部地区の調査を実施した。井川地区の民具調査を実施した。	文化財課
12306	民俗文化学習事業	地域に伝承されてきた民俗芸能や行事についての講座を開催する。	「民俗芸能体験教室 有東木の盆踊りを踊ってみよう!」を平成22・7月24、31日、8月7、14日に実施した。参加者33名。	文化財課
12307	伝統文化調査事業(再掲)	地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	海岸部の民俗調査として用宗、石部地区の調査を実施した。井川地区の民具調査を実施した。	文化財課

文化振興ビジョン [第1期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	2	地域性豊かな市民文化の創造				
方向	1	多彩な市民文化活動の支援				
方策	1	文化活動への助成(団体・個人の活動を支援し、活性化を図る)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		21101	文化活動支援事業	市民による文化事業を共催、後援し、支援する。	ジャンルにこだわらず後援、共催することにより、活動を支援していくことは重要であり、効果があると考えている。今後も引き続き実施していく。	静岡音楽館 文化振興課
		21102	表彰事業	芸術家の発掘や紹介するための芸術文化奨励賞等の顕彰事業や国、県への表彰推薦事業を行う。	芸術文化奨励賞は、本市の文化振興と市民の文化活動を奨励している。また、国からの表彰事業を文化施設・団体に周知し、候補者の発掘を行っている。	文化振興課
		21103	活動場所確保の支援	文化活動場所確保のための支援を行う。	文化活動支援として重要であり、効果があると考えている。今後も引き続き実施していく。	文化振興課
		21104	活動拠点の提供	市が所管する文化・学習施設の貸館事業を、適正かつ安定的に行う。	文化活動支援として重要であり、効果があると考えている。今後も引き続き実施していく。 (文化振興課) 生涯学習施設の貸館について、例規等に従い適正に実施した。今後も継続実施する。 (生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館、旧生涯学
		21105	文化活動発表機会提供事業	市内で文化活動を行う個人や団体の発表会を開催する。	参加団体が増加していることから、事業の効果はあったと考えている。今後も引き続き事業を継続していくことが必要である。	文化振興課 (委託)
		21106	文化活動補助事業	全国大会等に出場する個人・団体や市民が主催する文化活動への補助金を交付する。	事業の目的は達成されている。今後も引き続き実施していく。	文化振興課
		21107	文化団体の充実・育成事業	静岡市文化協会と蒲原町文化協会の融合を支援する等市内文化団体の活動を充実させ、団体を育成する。	合併することにより目的は達成された。融合にむけ、今後とも支援していく。	文化振興課
		21108	ボランティア活動支援事業	竹久夢二研究会等自主的に文化活動開催するボランティア活動を推進する。	事業の目的は達成され、蒲原における竹久夢二展が定着しつつある。今後も継続していく。	文化振興課
		21109	文化事業開催支援事業	静岡市民芸術祭等市民による音楽、美術、舞台芸術、科学分野の事業の開催を支援する。	事業の目的は達成されている。事業が定着しはじめ、今後も引き続き実施していく。	文化振興課
		21110	市民文化の日創設事業	(仮)市民文化の日を創設し、市内文化事業を集中開催し、これに参加し楽しみ・学び・夢を描く場を意図的に作り、静岡の文化を市民が考え受け止める場を創る。	内容の再検討が必要である。	文化振興課
		21111	音楽文化振興企画の募集	静岡県を中心に音楽活動を続けている演奏家、演奏団体からコンサート企画を募集、それを選考委員会が審査をし、合格者の企画を開催する。	地域の演奏家、演奏団体の育成に大きな効果があり、今後も静岡音楽館の事業として支援していく。	静岡音楽館
		21112	国・県の文化補助事業の活用推進	国・県・他団体による文化事業補助事業の活用と利用を呼びかけるため、情報コーナーを設ける等周知する制度を推進する。	国・県等の文化補助事業の利用と活用を呼びかけるため、文化振興課内にパンフレット・ポスター等を設置すると共に、市内の文化施設等に情報提供を積極的におこなっている。	文化振興課
		21113	駿府本山お茶まつり事業	本市の基幹産業であるお茶の振興を図るため、地元の生産者から、流通、小売業者までが一体となって、静岡本山茶の消費拡大を図り、お茶に関する文化、歴史的考察を含めた各種イベント等を実施する。	春のお茶づくり体験教室(4月)、茶詰めの儀(5月)、秋のお茶づくり体験教室(9月)、駿府お茶壺道中行列・口切りの儀(10月)、お茶まつり(11月)、駿府お茶壺浮道中行列フォトコンテスト(2月)等を実施した。これらのイベントを通して、多くの市民、消費者への本山茶の情報発信や消費拡大、文化の伝承等を行うことが出来たと評価している。	農業振興課
		21114	清水お茶のまちづくり事業	地元の生産者、流通関係者及び消費者の一体的な取組みにより、新しいお茶の文化を創造しながら地産地消を軸とした清水ならではの「お茶のまちづくり」を進める活動を実施する。	地元の茶生産者、茶商、消費者の一体的な取組みにより、茶摘み体験や、茶産地ツアー、地元茶でもてなす会等のイベントを実施し、地産地消を軸とした清水ならではの「お茶のまちづくり」に資することができたと評価している。	農業振興課
		21115	茶手揉み保存事業	茶の製造技術の原点である手揉製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉実演などの事業を行う。	手揉競技会への参加や講習会の実施、茶会や学校・イベントでの手揉実演、平成20年度にはやぶきた誕生100周年記念事業での献上茶謹製事業等を行い、手揉製茶技術の保存と向上を図るとともに、後継者の育成支援、文化振興ができたことと評価している。	農業振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21116	市民活動センターの運営	市民活動団体に関する情報収集、情報誌の発行、相談業務、講座の開催等、市民活動を支援する施設の運営。	清水市民活動センター・番町市民活動センターの整備、運営を行った。様々な市民活動情報の収集や提供、及びミニオフィスの貸出による活動拠点の提供ができた。	市民生活課
21117	協働パイロット事業	新しい協働事業の創出や協働推進のためのノウハウの取得を図る。	市民活動団体から提案を募り、34事業の提案のうち9事業を実施した。市民活動団体と市の双方が、新しい協働事業の創出や、協働事業実施のためのノウハウの取得を図ることができた。	市民生活課
21118	市民活動協働市場事業	市民活動団体と市の双方が相互に提案を行う「協働市場」を通じて協働事業を創出する。	市民活動団体及び庁内各課からの提案を募り、4事業の提案のうち1事業を実施した。市民活動団体と市の協働による事業展開を図ることができた。	市民生活課
21119	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、市民の文化活動の支援をする。	「楽しみの読書のためとしての図書館」だけでなく、「市民の仕事・生活に役立つ図書館」として、資料・情報の収集及び提供を実施した。平成20年度の政令指定都市における人口一人当たりの資料費及び蔵書数は、共に第1位で、人口一人当たりの個人貸出数は第2位となっており、おおむね良好な実施状況と思われる。今後も引き続き図書館サービスの基礎である情報(資料)の収集・提供の維持・向上に努め、市民の生涯学習の支援を進める必要がある。 ①人口一人当たりの貸出数の実績 H18年は5.62冊、H19年は5.69冊、H20年は6.13冊、H21年は6.69冊。 ②レファレンス件数の実績 H18年は40,660件、H19年は38,604件、H20年は38,175冊、H21年は47,613件。 *平成20年4月～6月(図書館電算システムの統合により休館)	中央図書館
21120	読み聞かせボランティア養成講座	地域で活躍できる、読み聞かせボランティアを養成する(全5回)。	読み聞かせは、子どもの本来の能力を引き出し、併せて将来にわたり本を友とする習慣づけをする重要な業務である。子どもを対象とした読み聞かせ能力の向上を図る同講座は、年平均160人超の受講生を輩出しており、ブックスタート等のボランティア活動に従事する等、図書館との協働のほか、団塊の世代対策等としても意義のある事業と認識している。今後も引き続き同事業を実施するとともに、受講生の自発的な活動へのサポート、活動の場の提供など進めていきたい。	中央図書館
21121	パソコンボランティア養成	視聴覚センターパソコン講座のボランティアの活動を支援する。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)
21122	視聴覚センター貸館業務	活動をするサークル・団体に視聴覚ホールや研修室の貸出をする。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)
21123	視聴覚機材・教材貸出業務	16ミリ映写機、フィルム等の視聴覚機材・教材の団体貸出をする。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)
21124	主催イベント ロビーコンサート	主催イベント時にロビーコンサートに市民が出演できる機会を提供する。	各生涯学習施設の主催イベント(センター/交流館まつり等)において、地域で活動する市民団体等と協働し団体出演できる機会を提供した。今後も現状を維持する形で実施予定。	生涯学習推進課 (旧生涯学習)
方策 2	人材・組織の育成(文化活動を担う人材・組織を育成し、活動を支援する)			
21201	芸術家・文化人の発掘と支援事業	オーディションを開催し、市内の芸術家や文化人を発掘し、その活動を支援する。	地域の演奏家、演奏団体の発掘、育成に大きな効果があり、今後も静岡音楽館の事業として支援していく。	静岡音楽館
21202	文化事業の推進・運営を利用者自身で行うシステムの導入	助成金制度活用を促進するほか、後援名義申請のご案内により事業推進を支援する。	事業の目的は達成されているとは言えないが、今後とも支援していく必要がある。	文化振興課
21203	地域の芸術家・文化人育成事業	市民による実行委員会形式の文化事業の自立促進を目指すため、市内の芸術家や文化人を育成する事業を実施する。	非常のきめこまやかな指導を実施し、継続することで効果が見込める事業である。今後とも事業を支援していく。	静岡音楽館
21204	人材・団体のデータベース化	市内の文化人や団体の紹介を記したデータベースを作成する。 (生涯学習施設利用団体のサークルリストの作成、窓口での紹介。)	目的は達成されていない。(文化振興課) 各生涯学習施設で活動する文化団体(利用団体)のサークルリストを作成し、市民から問い合わせ等があった場合、窓口(あるいは電話対応)にて紹介している。リストの情報は随時更新している。現在、分野や活動施設等を指定してのサークル検索の問い合わせが頻りに寄せられるため、団体を分類分けした上記サークルリストが役立っており、今後も現状維持の形で継続していく予定(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館、旧生涯学習課)
21205	芸術家など文化を担う人や団体の交流場所の提供	芸術家など文化を担う人が交流する機会や場所を提供する。	文化振興財団の自主事業として「ストリートフェスティバル」は目的をほぼ達成している。今後とも引き続き支援していく。 「市民大音楽祭」は補助事業として定着してきているが、実行員会の自主財源の確保等、自立に向け支援していく。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21206	ボランティア活動推進事業	科学館の展示物説明やイベント事業支援のためのサイエンス・ナビゲーターを養成する等、文化事業開催にあたり、ボランティアを養成する。	事業の目的はほぼ達成されている。事業効果も高く事業展開に重要である。今後とも支援事業を継続していく。	静岡科学館
21207	文化施設協力スタッフ養成・活用事業	市内で開催される文化事業へのボランティア参加募集やその参加者を養成する事業を実施する。	事業の目的はほぼ達成されている。事業効果も高く施設運営に重要な位置を占めている。今後とも支援事業を継続していく。	静岡科学館 静岡音楽館 文化振興課
21208	来・て・こ絵本の部屋	主催講座で学んだ絵本の読み聞かせボランティアが毎月読み聞かせ会を行う。	月一回定期的に開催している「おはなし会」を、今後も継続的に開催予定。	生涯学習推進課 (旧生涯学習)
21209	文化事業企画制作者の育成	指導者養成講座を開催し、文化事業を企画する個人、団体、指導者を育成する。	文化振興財団が、自主企画し実施している。文化振興には人材が必要不可欠であるため、今後とも積極的に支援していく。	文化振興課
21210	学芸員実習の受け入れ	大学等で学芸員資格取得を目指す学生に対し、現場での実習の機会を提供する。	受け入れ施設(指定管理者)の負担は大きくなったが将来的に非常に重要であることから、今後とも支援していく。	静岡科学館
21211	まちづくりへの意識改革	文化事業等によるまちづくりを意識するシンポジウムを開催する。	事業の目的は達成された。効果は見えにくい、文化施設とまちづくりの関係を考える大きな機会となった。機会があれば、実施していく。	文化振興課
21212	指定管理者制度の導入	指定管理者による文化施設専門事業の展開を図る。	可能な文化施設の指定管理者制度の導入は実施された。	文化振興課
21213	講座の開催(再掲)	静岡音楽館、静岡アートギャラリーや市民団体等と共催により講座を開催する。	市民団体、他機関等との共催事業を課全体の方針として積極的に導入・実施、毎年徐々に定着化してきている。文化振興に関する事業についてもこの例外ではなく、今後も共催という形で講座を継続的に開催していく。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
21214	茶手揉み保存事業(再掲)	茶の製造技術の原点である手揉製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉実演などの事業を実施する。	手揉競技会への参加や講習会の実施、茶会や学校・イベントでの手揉実演、平成20年度にはやぶきた誕生100周年記念事業での献上茶謹製事業等を行い、手揉製茶技術の保存と向上を図るとともに、後継者の育成支援、文化振興ができたと評価している。	農業振興課
21215	人材養成塾	主体的にまちづくりに関わっていける人材を養成する。	まちづくりに主体的に関わっていける人材を養成するための「人材養成塾」を開催し、これまでに多くの受講生・修了生を輩出してきた。今後とも事業を継続していく。	生涯学習推進課 (旧中央公民)
方策 3	生涯学習活動への支援(生涯を通じて文化と触れ合える環境をつくる)			
21301	市民が参加できる文化事業の推進	おやこ書道展や公募写真コンテストを開催し、一般市民が気軽に参加できる公募展や舞台公演開催事業を推進する。	事業の目的はほぼ達成されている。今後、事業実施にあたり、自主財源の確保等実施団体の自立を支援していく。(文化振興課) 講座で制作した受講生の作品を生涯学習施設のイベントの期間に合わせロビー展示するなど、学習活動の成果発表を随時行った。受講生のみならず一般来場者も気軽に参加でき文化に親しむことのできる事業として、今後も定期的実施する予定(生涯学習推進課)	文化振興課 静岡科学館 生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
21302	市民と一体となった文化事業の促進	運営から出演者まで、市民との協働で行われる文化事業を促進する。	実行委員会が主体となり、事業目的はほぼ達成された。会計等の事務局の自立に向けて、今後支援していく。	文化振興課
21303	幅広い年齢層との文化事業の連携事業の開催	主催事業において、老人や地域学生と連携した事業を開催する。	事業を計画どおり実施し、目的はほぼ達成された。静岡市美術館においての事業展開を今後支援していく(文化振興課) 地域の学校や学生と連携した事業を18年度から毎年実施した。今後も事業の継続実施を予定している(生涯学習推進課)	静岡アート ギャラリー 生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
21304	世代間交流事業の推進	大人のための鑑賞、科学教室を開催する等、多くの年齢層が一堂に集い、互いに刺激あう文化事業を推進する。	事業を計画どおり実施し、目的はほぼ達成された。効果は見えにくい今後とも事業を支援していく。	静岡アート ギャラリー 静岡科学館
21305	教員の在住地域での活動の奨励と推進	教員が在住している地域の公民館や学校で、子どものための各種講座を教員が公民館と連携してコンソーシアムを形成し、実施する。	教員が自主的に企画し実施された。教員OB会で地域貢献を目指す動きがある。必要な支援を今後とも継続していく。	文化振興課
21306	市民主体の情報発信、受信のシステムづくり	文化団体間や文化団体と個人の情報交換のシステムを創出する。	多くの問題があり実施されない。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21307	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、生涯学習活動を支援する。	「楽しみの読書のためとしての図書館」だけでなく、「市民の仕事・生活に役立つ図書館」として、資料・情報の収集及び提供を実施した。平成20年度の政令指定都市における人口一人当たりの資料費及び蔵書数は、共に第1位で、人口一人当たりの個人貸出数は第2位となっており、おおむね良好な実施状況と思われる。今後も引き続き図書館サービスの基礎である情報(資料)の収集・提供の維持・向上に努め、市民の生涯学習の支援を進める必要がある。また、生涯学習交流館(清水区)の図書室に対し、図書の選書・除籍等の支援を実施し、図書室の充実を図り、生涯学習交流館の図書室利用者に対するサービスの向上が図れた。①人口一人当たりの貸出数の実績 H18年は5.62冊、H19年は5.69冊、H20年は6.13冊、H21年は6.69冊。 ②レファレンス件数の実績 H18年は40,660件、H19年は38,604件、H20年は38,175冊、H21年は47,613件。 *平成20年4月～6月(図書館電算システムの統合により休館)	中央図書館
21308	各種講座、映画会の開催	視聴覚機器の利用指導講座、パソコン講座、その他文化講座、映画会等を実施する。	計画通り実施平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館(視聴覚センター)
21309	ワークショップなど展覧会の関連事業の開催	ワークショップなど展覧会の関連事業を実施する。	事業を計画どおりに実施し、目的はほぼ達成された。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、静岡美術館においても実施されるよう支援していく。	静岡アートギャラリー
方策 4	豊かな心をつちかう教育への支援(教育を通じて文化と触れ合う機会を創出する)			
21401	学校と連携した文化教育プログラムの実施	学校内の音楽会や合唱祭を共催する等、音楽・美術・舞台芸術・科学の分野で学校と連携した事業を展開する。	事業目的はほぼ達成され、学校や大学との連携が進んでいる。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も必要な支援を行う。	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館
21402	次代の鑑賞者の育成を図る事業の展開	子どものための音楽ひろば等、ワークショップ、教室、講座の開催を通じて、芸術文化への子供たちの意識を高める事業を行う。	事業目的はほぼ達成され、毎年参加者が増加していることから、事業の効果はあったと考えている。今後も引き続き事業を展開していくことが必要である。	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館
21403	こどもたちが本物の芸術に触れる機会の創設	学校独自で実施する芸術鑑賞教室、講座を支援する。	事業は計画どおり実施されたが、学校独自の実施ではなく、科学館、音楽館等からの働きかけであり、学校側の理解、日程調整等難しい課題もある。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も必要な支援を行う。	文化振興課
21404	本物の舞台芸術体験事業	プロの舞台芸術家との連携による発声や演技の指導講座を開催する。	文化庁の主催である本事業には、毎年多くの学校から開催希望が寄せられ、そのうち6校～10校の実施案が採用されている。特に山間小規模校にとっては独自で同様の規模の鑑賞行事を催すのは難しい状況であるために、非常に意義があると言える。このことから、文化庁が事業を継続する限り、静岡市としても事業を継続していく。	学校教育課(文化庁)
21405	芸術鑑賞機会の充実	出張コンサートやほっとひといきコンサートを開催し、いつでも、どこでも気軽に芸術文化の鑑賞ができる機会を提供する。	大変好評を博している事業であり、芸術をより深く鑑賞するために非常の効果が高いと思われるため、今後とも事業を継続していく。	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 文化振興課
21406	文化・学習施設と学校との連携の支援	市内文化・学習施設と学校との連携を強化し、その推進を図る。	事業の目的はほぼ達成され、今後も継続していくことが重要である。	静岡アートギャラリー 静岡科学館
21407	お茶の美味しい入れ方教室	小学校における総合学習の時間を利用し、本当のお茶の味を覚え葉っぱで飲むお茶習慣を養わせることを目的に日本茶インストラクターによるお茶の入れ方教室を開催する。	日本茶インストラクターを講師として平成21年9月～平成22年1月に実施し、49校3,932人がお茶の入れ方を学んだ。参加した学校の教師や生徒のアンケートから、静岡市のお茶の魅力の周知と、お茶を中心とした食育を図ることができたと評価している。	農業振興課
21408	小学生「闘茶キング」選手権大会	次代を担う子どもたちに本市の特産であるお茶への関心を感化することを狙い、市内小学校や公民館を会場に実施する闘茶体験講座や闘茶大会を開催する。	生涯学習センターと共催で闘茶体験教室を開催するとともに、小学生「闘茶キング」選手権大会を開催し、次代を担う子どもたちに、本市の特産であるお茶への関心を高めることができた」と評価している。	農業振興課
21409	講座の開催(再掲)	学校と連携した講座を開催する。	学校を会場とし毎年実施している「家庭教育学級」を、保護者や地域、学校からの要望にも応え今後も継続的に実施。	生涯学習推進課(旧中央公民)

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21410	公開講座の開催	公開講座を開催する。	女性学級や家庭教育学級、高齢者学級で実施している講座を一部一般にも公開する公開講座を、今後も例年通り実施予定。	生涯学習推進課 (旧中央公民)
21411	地場産品体験学習事業	本市の地場産産を学ぶ小学4年生が、授業の一環として駿府匠宿で体験学習を行う際に補助を行う。	小学生にもものづくりと地場産品に対する興味を喚起することができた。《賤機北小(H22.1)の報告より》 伝統工芸品について、授業の中でインターネットや本で調べる活動を行ってきたが、なかなかイメージがつかみにくい部分があった。しかし、今回の駿河竹千筋細工を実際に作ってみる活動を通して、工芸品の持つ魅力や特徴などを学び取ることができた。	地域産業課
21412	小学生スタジオ番組制作事業	小学生が企画した番組をスタジオを利用して制作する体験をする。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)

文化振興ビジョン [第1期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	2	地域性豊かな市民文化の創造				
方向	2	文化活動の環境整備				
方策	1	文化基盤整備の検討(文化を意識したまちづくりを展開する)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		22101	目的別文化施設(施設の差別化)の検討	(仮)文化施設建設検討委員会等を設置し、文化施設の目的を整理し、役割を明確にし、今後の施設建設を検討する。	事業目的はほぼ達成され、指定管理者制度の導入の向け、文化施設の差別化を図った。各施設の目的、役割が明確になり、事業効果が認められる。	文化振興課
		22102	行政における文化的視点の導入促進	庁内組織に文化的視点を盛り込んだまちづくりが図れる体制を設ける検討を行う。	具体的な取り組みは実施しなかったが、東海道広重美術館を文化・観光から検証し、観光施設として位置付ける見直しを図った。	文化振興課
		22103	住民意見の反映による文化事業の展開	市民の意見を反映した文化施策が展開できる体制を整える。	静岡市美術館における事業目的はほぼ達成され、平成22年度オープンした。円滑な運営を実施するために大きな効果が認められた。他の文化施設においても常に市民意見を反映するため、審議会、運営委員会等へ一般市民の参画を求めていく。	文化振興課
		22104	多様な市民意識の把握システムの構築	定期的にアンケート調査を行う等、市民の文化施策への意見を把握する方法を検討する。	指定管理者として、管理施設の利用者アンケートを義務づけ運営に反映させている。事業目はほぼ達成され、効果も高い。今後とも必要な支援を行う。	文化振興課
		22105	街角の芸術空間の創出	各地域の街角において、芸術文化に関する事業展開を実施する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後とも事業支援を行う。	文化振興課
		22106	集客圏の拡大を図るための戦略の検討	文化事業と観光を一体として捉え、集客を目的とした文化事業を検討する。	事業を計画どおりに実施し、目的をほぼ達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後とも実施していく。	文化振興課
方策	2	文化活動拠点の整備(施設の充実・連携を通じて、文化活動を行う環境を整える)				
		22201	魅力溢れる既存文化施設改修事業	高齢者や身障者にやさしい文化施設を目指した施設整備を行う。	目的を達成することはできなかったが、現在調査し実施していく。	文化振興課
		22202	文化施設耐震化事業	静岡市民文化会館等の耐震工事改修計画を立案する。	計画等は立案済みであるが、予算上の耐震工事及び大規模改修の即時実施は困難である。	文化振興課
		22203	充実した施設と備品提供事業	利用者の立場に立った文化施設の備品や設備を充実させる。	修繕や備品の購入の際は、利用者の利便性を考慮し実施している。	文化振興課
		22204	文化施設周辺環境整備事業	文化施設の周辺や駐車場や駐輪場等付帯施設の環境を整備する。	事業を計画どおりに整備し、目的を達成した。必要な施設を今後も実施していく。	文化振興課
		22205	市民団体の受け皿づくり	市内の文化活動を続けている団体等と連携し、市民中心となる活動の場を整備していく。	多くの課題があり、実施されていない。	文化振興課
		22206	新規文化施設建設検討事業	(仮)静岡市立美術館等の新規文化施設整備の検討や建設を行う。	静岡市美術館事業を計画どおり実施、ほぼ目的を達成した。	文化振興課
		22207	文化施設の専門的な運営方法検討事業	指定管理者制度の導入や各施設の運営方法を検討する。	可能な文化施設の指定管理者制度の導入が実施された。経費節減、効率化など効果が認められた。今後ともよりよい運営方法を検討していく。	文化振興課
		22208	施設の共有化	文化施設利用申請の電算化等、施設間のシステムを共有化し、情報や利用手続きの簡便化を図る。	計画どおり市システム化され、利用者、管理者ともに利便性が向上し、効果がみとめられた。	文化振興課
		22209	文化施設ネットワークの構築	当課所管文化施設の指定管理者内におけるネットワークの構築を指導している。	「しずおかイベントニュース」は広く市民に各イベントの周知するため、大きな効果が認められ、利便性が向上した。また、駅前3館の連携事業、生涯学習センターとの共催等ネットワーク化されつつある。今後とも必要な支援を行っていく。	文化振興課
		22210	民間施設との連携	民間施設等と連携し、共催文化イベント開催を検討する。	隣接された民間施設との連携は相乗効果を生み出し、効果がみとめられた。今後とも必要な支援を行っていく。	文化振興課



	事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
方策	3	芸術文化の鑑賞機会の充実(芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成する)			
	22301	質の高い事業開催の推進	指定管理者制度を導入し、より上質な、音楽・美術・舞台芸術・文学の分野の事業を開催する。	可能な文化施設の指定管理者制度の導入が実施され、目的をほぼ達成した。指定管理者が事業を展開し、非常に大きな効果が認められた。今後とも推進していく。	静岡音楽館 静岡アート ギャラリー 静岡科学館
	22302	気軽に会える事業の推進	ほっとひといきコンサートの開催等、場所を選ばない文化事業を開催する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。定着した事業であり、効果が認められる。今後とも必要な支援を行う。	文化振興課 静岡音楽館
	22303	親子で楽しめる事業の推進	親子のためのコンサートの開催等、年齢を問わない文化事業を開催する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成し、効果がみとめられた。今後とも必要な支援を行う。	静岡音楽館
	22304	大型文化事業の開催と招致の検討	上質で長期公演が行える事業を誘致し、文化振興と静岡周辺商業の振興と活性化を図り、市のステータス向上を図る。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。定着しつつある事業であり、効果が認められるため、今後も継続していく。	文化振興課
	22305	文化事業要望調査実施事業	未来の文化事業の対策に反映させるため、アンケート調査やリサーチを継続実施する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。非常に重要な事業であるため今後も継続し、市民意見を施策に反映させていく。	文化振興課
	22306	特色ある自主事業の実施	文化施設による芸術文化事業の開催を推進する。	事業は計画どおり実施され、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も事業を実施していくことが必要である。(文化振興課) 開館25周年特別展や海外展の開催により、静岡市名誉市民、人間国宝である芹沢銈介の偉業を国内外に知らしめることができた。(芹沢美術館)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アート ギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館
	22307	鑑賞機会の拡大を図る	小・中学生を対象とした文化事業を企画し、鑑賞機会の拡大を図る。	事業は計画どおり実施され、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も事業を実施していくことが必要である。	文化振興課
	22308	新しい文化事業の研究と開催	他都市施設及び各種文化団体の実績や文化系シンクタンクの調査結果を参考にすると等して、新たな文化事業を研究し、実施する。	静岡市美術館事業を計画どおり実施、ほぼ目的を達成した。さまざまな分野で研究し、実験を図ることで効果が現れると思われるため、今後も事業を実施していくことが必要である。	文化振興課
	22309	しずおかコンテンツバレー構想	静岡市クリエイター支援センターを拠点としたクリエイターの育成、コンテンツ産業の普及啓発及び振興。 コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング、国際協業、情報発信事業に対する助成、支援。	CCC施設利用者数は、目標数値にほぼ到達した。	産業政策課
方策	4	協働による施設の整備と運営(市民との協働を通じた文化施設の整備と運営方法を検討する)			
	22401	文化施設整備における市民・民間との協働	文化施設整備手法に市民や民間との協働を取り入れる。	可能な文化施設の指定管理者制度の導入が実施され、民間との協働は、ほぼ目的を達成した。運営において、市民参画を推進していく。	文化振興課
	22402	市民文化活動の拠点となる施設運営方法の検討	ボランティアを含む文化活動拠点の運営に市民参加を促進する。	事業の目的は達成されている。事業効果も高く事業展開に重要である。今後とも支援事業を継続していく。	文化振興課 静岡科学館
	22403	市民による文化活動の環境整備	情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行う。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。今後も継続して実施する。	文化振興課
	22404	市民主体の文化活動施設の提供	眠っている公共施設のフリースペースを生かした文化事業の開催等、新たな文化活動拠点を発掘する市民に対し支援を行う。	要望にすぐに応え、ほぼ目的を達成した。今後も継続して実施する。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
22405	ボランティア、サポーターの育成	(仮)文化事業ボランティア登録センターを設置する等、市の文化活動への協力者を育成する。	事業の目的は達成されている。事業効果も高く施設運営に重要な位置を占めている。今後とも支援を継続していく。	文化振興課
22406	絵本読み聞かせボランティア養成講座	来・て・こで読み聞かせ活動を行うボランティアを養成する。	平成19年度から継続して実施した読み聞かせボランティア養成事業を、今後も要望や状況に応じて実施し、運営の一端を市民との協働で行っていくくみを継続していく。	生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
22407	市民文化活動参加に対する受け皿づくり	文化団体の市民への周知と団体設立の支援を行う。	要望にすぐに応え、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も実施する。	文化振興課
22408	市民の文化活動の拠点作り	市民の文化活動のよりどころとなる拠点の整備をする。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。文化活動の拠点づくりは、文化の振興に大きな効果がえられることから今後も継続して実施する。	文化振興課
22409	互いに高めあう学びのシステムの模索	市民と企業と行政が互いに街づくりに参加するシステムの方法を模索する。	連携することは重要な施策であり、効果も高くまず出来るところから始めた。今後も継続して実施するとともに検討していく。	文化振興課

文化振興ビジョン [第1期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	2	地域性豊かな市民文化の創造				
方向	3	地域資源を活かした文化事業の充実				
方策	1	地域資源の発掘と再認識(地域資源を把握し、保護する)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		23101	地域資源の発掘・把握・保護	人材マップ作成等により、地域資源を把握し、これを保護する。 (公民館利用団体のサークルリスト作成)	個人情報保護の観点から、団体にしぼり情報提供を実施した。十分ではないが成果得られている。今後も継続して実施する(文化振興課) 各生涯学習施設で活動している文化団体(利用団体)を分類分けしたリスト(サークルリスト)を作成し、窓口にて市民に対して随時情報提供した。地域で活動する人材を発掘・把握し市民に利用しやすい形で保存・保護できる意味から、今後も現状と同じ形で実施していく(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館)
		23102	多彩な地域文化活動の基盤整備	地域資源の基である、人を育てる事業を展開する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 市所蔵品の整備と展示を今後も継続して実施する。	文化振興課
		23103	地域資源再認識事業	平野富山や竹久夢二作品等、市が収蔵する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を推進する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 本市ゆかりの美術品の展示は、効果があるので今後も継続して実施する。	文化振興課
		23104	地域資源整備事業	美術品台帳を整備する等、市が収蔵する美術品等を管理、修繕、整備し、資源を保存する事業を推進する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 今後も継続して実施する。	文化振興課
		23105	清水港お茶直輸出100周年記念事業	清水港からお茶を直接輸出して、平成18年5月13日で100年になるため、この機会に先人達の功績を顧みるとともに、本市茶業のさらなる発展をめざし記念イベントを実施する。	当該事業を契機に、「お茶のまちづくり宣言」、「お茶のまち100年構想」策定事業の実施へと展開し、後の「茶どころ日本一計画」策定の基礎とすることができたことから、「先人の功績を周知するとともに、これからの“お茶のまち静岡市”をまちぐるみで考える契機とする」とした当初の目的を果たすことができ、事業成果が得られたと評価している。	農業振興課
		23206	やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業	日本茶を代表する優良品種「やぶきた」が静岡市において選抜され、平成20年で100年を迎えるため、この偉業を顧みるとともに、伝統ある茶づくりを継承することの意義を広く市民と共有し、その魅力を紹介する記念イベントを実施する。	日本茶を代表する茶の優良品種「やぶきた」が、ここ静岡市で誕生し100周年を迎え、ふるさとが生んだ偉業を顧み、次代にむけ伝統ある茶づくりを継承することの意義を広く市民に周知し、静岡市の茶業振興に資することが出来たと評価している。	農業振興課
方策	2	地域資源の整備と活用(地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開する)				
		23201	地域資源活用事業	地域資源を活かした舞台芸術・文学事業を開催する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 郷土愛を育むことにも繋がり、成果が認められることから三保の地に限らず、地域資源をいかした事業を展開していくことが必要である。	運営委員会 (文化振興課)
		23202	地域資源紹介事業	地域資源(施設・自然・催事)を紹介する事業を行う。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も継続して実施する。	文化振興課
		23203	講座・ワークショップ開催事業	地元を知る講座の開講による意識高揚を図る。	生涯学習センターとの連携事業が充実し、参加者も増加していることから効果が認められる。今後も必要な支援を行っていく(文化振興課) 地元の歴史散策を行ったり地域資源を題材にしたりする講座を実施することで、自分が暮らす地元地域について改めて学び直し意識高揚を図る機会を提供した。今後は地域で活動する団体と協働する形でも事業を拡大していく(生涯学習推進課)	静岡科学館 生涯学習推進課 (旧中央公民館)
		23204	地元出身文化人や有識者の活用の検討	地域で活動する文化人を取り上げ、周知させ、その活用を図る。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 市の収蔵品ばかりでなく地元出身文化人・有識者の活用を検討していく。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
23205	特色ある地域づくりへの側面的支援	地域の文化活動を行う団体や個人を支援方法を検討する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。今後も継続して実施する。	文化振興課
23207	伝統工芸品首都圏PR事業	静岡市伝統工芸品展～伝統工芸技術秀士と若手後継者～の開催	首都圏において、本市各業界の伝統工芸品の素晴らしさをPRすることができた。	地域産業課
方策 3	地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化する)			
23301	地場産業との連携事業の推進	地場産業の展示会等と連携した文化事業を推進する。	計画どおり事業を実施し、地場産業の振興と地域理解に効果が認められた。今後も地域産業との連携事業を推進していく。	文化振興課
23302	駿府匠宿管理運営	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産業と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	産業の空洞化が叫ばれる昨今、このような地場産業振興施設を持っていることは他都市に負けない大きな強みと言える。今後も地場産業の振興と、ものづくりに対する啓蒙等を主眼に運営していく。	地域産業課
23303	駿府楽市地場産品展示コーナー運営	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市地場産品を展示紹介する。	本市地場産品の展示紹介を通じ、地場産品の愛用促進と販路拡大を図り、駅という立地条件を最大限に活かし、積極的に販売PRしている。市内外の人に地場産品をPRすることができる。	地域産業課
23304	クラフトマンサポート事業	地場産業界の人材育成・後継者育成のため、技術習得希望者の現場実習に係る経費を指導事業所等に支援する。	地場産業界での後継者育成や新規就業者促進等を図るうえで、大きな効果を発揮している。	地域産業課
23305	伝統工芸技術秀士顕彰・PR事業	本市伝統工芸産業に長年従事する技術者の内から、特に優秀な技術を有し、技術の伝承と発展に顕著な功績を有する者を、「静岡市伝統工芸技術秀士」として顕彰すると共にその作品を展示し、伝統工芸をPRする。	伝統工芸技術保存と、後継者の育成を図るため、秀士」として指定、顕彰している。H21には、東京池袋にて熟練職人である静岡市伝統工芸技術秀士の作品展示を実施し、好評を得た。	地域産業課
23306	伝統工芸技術保存講習会	本市伝統工業界の後継者育成と技術の保存継承を図るため、関係業界に従事している若手技術者に静岡市伝統工芸技術秀士等を講師として技術講習を行う。	各業界若手が順調に育っており、それぞれの技術レベルが向上し着実に効果をあげている。また、伝統工芸の参加者同士による異業種間での交流が図られるなど思わぬ効果も生んでいる。	地域産業課 財静岡産業振興協会
23307	街を紹介する冊子の作成	財団が作成する冊子「まちかど」発行の支援や市内タウン誌への情報提供を行う。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。今後も継続して実施する。	文化振興課
23308	商業空間やイベントと融合した文化事業の充実	商店街と音楽、飲食街と展示、など文化と商業の融合が図れる事業を行う。	地域との連携事業が充実し、目的をほぼ達成している。参加店が増加し、効果が認められることから、今後も必要な支援を行っていく。	静岡音楽館 静岡科学館 静岡アートギャラリー
23309	地元企業とのイベント共催システムの確立	地域企業と連携した文化事業の募集やメセナ事業を展開する。	地域企業との連携は重要な施策であり、効果も高くまず出来るところから始めた。今後も継続して実施する。	文化振興課 静岡科学館
23310	「ホビーのまち静岡」推進事業	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーのまち静岡」として国内外に向けシティプロモーションを展開している。静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	シティプロモーションによる静岡ブランドの確立がより重要かつ急務となっているなか、本市戦略資源であるホビーを活用し全国に情報発信を行い認知度を高めることができた。	地域産業課

文化振興ビジョン [第1期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	3	しずおか文化の発信と交流				
方向	1	全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備				
方策	1	文化情報の提供(いつでも、どこでも文化情報を受発信できる機会を提供する)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		31101	文化施設のデータベース化	市内文化施設を連携した施設紹介のデータベース化を図り公開する。	HPの充実を図り、イベントの周知に大きな効果が認められた。今後も継続して実施する。	文化振興課
		31102	文化活動拠点のネットワーク化	文化活動拠点を繋ぐ事業を展開する。	音楽館、科学館、アートギャラリー、文化会館、文化センター、生涯学習センターがそれぞれ連携事業を展開し、目的をほぼ達成している。効果も高く、今後も事業を支援していく。	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館
		31103	文化情報の充実	文化施設において各種公演チケットを販売する等、人・施設・催事の情報収集を充実させる。	音楽館、科学館、アートギャラリー、文化会館、文化センター、生涯学習センターがそれぞれ連携し、目的をほぼ達成している。効果も高く、今後も事業を支援していく(文化振興課) 来館者の求める芸術関連の情報を適切に提供することができた。(芹美)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館
		31104	駿府楽市地場産品展示コーナー運営(再掲)	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市地場産品を展示紹介する。	本市地場産品の展示紹介を通じ、地場産品の愛用促進と販路拡大を図り、駅という立地条件を最大限に活かし、積極的に販売PRしている。市内外の人に地場産品をPRすることができている。	地域産業課
		31105	ようこそ静岡推進事業	・携帯電話をツールとしたコミュニケーションシステムの構築、運用を行う ・携帯メールを活用した情報提供およびアンケートによる観光客のニーズ把握 ・登録者とのコミュニケーションによるリピーターの獲得	平成18年度から20年度については、携帯電話を利用した情報提供を行うシステムを活用した事業を実施したが、登録者数が伸び悩み、効果が見込めず廃止した。それに代わるものとして、静岡市の玄関である静岡駅の新幹線ホームに「ホビーのまち しずおか」看板を掲示し、観光資源の一つであるホビーをとおして、市外・県外から来た人に魅力を発信している。来年度については、看板を継続するか検討中であるが、静岡市を訪れた人に魅力を感じてもらえる事業を行っていきたい。	観光課・シティプロモーション課
方策	2	文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)				
		31201	文化情報の集約	分散している文化情報を整備し、文化関係施設のネットワーク化を図り集中管理を図る。	「しずおかイベントニュース」は広く市民に各イベントの周知するため、大きな効果が認められ、利便性が向上した。今後も事業を支援していく。(文化振興課) 芸術関連の誌面や行事予定表などへの情報提供により、関連施設情報の集約を図ることができた。(芹美)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
31202	地元マスコミとの連携・調整システムの確立	地元マスコミに文化情報コーナーの設置を求め、情報を発信していく。	マスコミとの連携が推進され、イベントの周知に大きな効果が認められる。今後とも推進していく(文化振興課) 地元マスコミとの連携によりスムーズに情報を発信することができた(芥美)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アート ギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館
31203	主催講座の情報提供	主催講座の案内をミニコミ誌へ情報提供する。	生涯学習施設で行う事業について、ポケタンやFM情報等に毎月情報提供し外部の情報媒体に記事を掲載することで、事業の幅広い地域・年齢層への周知や参加者の募集を図ることができた。広域的な広報の方法として特に効果的と考えられるため、今後も定期的・継続的に実施していく。	生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
31204	国内外への情報伝達拠点整備	文化情報発信拠点を整備し、事業開催告知が平等に行えるよう検討する。	HPの充実を図り、イベントの周知に大きな効果が認められた。今後も継続して実施する。	文化振興課
31205	駿府匠宿管理運営(再掲)	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産業と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	産業の空洞化が叫ばれる昨今、このような地場産業振興施設を持っていることは他都市に負けない大きな強みと言える。今後も地場産業の振興と、ものづくりに対する啓蒙等を主眼に運営していく。	地域産業課
31206	文化情報の配信方法の検討	市内文化情報の一元化方法を検討し、文化情報発信の強化を図る。	多くの課題があり、実施されていない。	文化振興課
31207	文化情報網の整備と充実	情報伝達システムやソフトを随時更新し、ホームページの充実を図る。	HPの充実を図り、イベントの周知に大きな効果が認められた。今後も継続して実施する。	文化振興課
31208	文化情報・活動の拠点となる施設作り	文化情報の発信基地設置を検討する。	それぞれの文化施設において、文化情報を発信し大きな効果が認められている。静岡市美術館を建設し、新たな拠点づくりを実施した。	文化振興課 静岡音楽館
31209	文化団体等の交流を通じた情報交換の促進	文化団体との連携を強化し、団体の事業活用と一緒に検討する。	文化財団を中心に、協力体制の強化を実施し、大きな効果が認められた。今後も継続して支援していく。	文化振興課
31210	自ら学ぶ市民の支援と情報の提供	個別に活動する文化団体への情報提供を強化する。	HP、文化施設へのちらしの設置等を実施し、大きな効果が認められた。今後も継続して実施していく。	文化振興課
31211	文化的バリアフリーの推進	障害者、高齢者、子ども等様々な年齢層が楽しめる文化事業を推進する。	各文化施設において、積極的に取り組み事業を実施しほぼ目的を達成している。効果も認められることから引き続き支援していく。	文化振興課
31212	主催講座の情報提供	主催講座の案内をミニコミ誌へ情報提供、ホームページでも公開する。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)
31213	しずおか文化発信事業	ロシアでの芹沢作品展を開催する等、市の地域資源を紹介し、情報を発信する事業を開催し、静岡の名を周知させる。	市外において実施する事業は実施しなかった。	文化振興課
31214	「ホビーのまち静岡」推進事業(再掲)	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーのまち静岡」として国内外に向けシティプロモーションを展開している。静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	シティプロモーションによる静岡ブランドの確立がより重要かつ急務となっているなか、本市戦略資源であるホビーを活用し全国に情報発信を行い認知度を高めることができた。	地域産業課

文化振興ビジョン [第1期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	3	しずおか文化の発信と交流				
方向	2	文化交流事業の推進				
方策	1	全国や世界との文化交流事業の推進(世界との文化交流を通して、「しずおか文化」を再認識する)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		32101	全国各地と文化イベントを共催するシステムの創設と推進	全国縦断公演を企画、共催できるシステムを創設する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。今後も継続して支援する。	文化振興課
		32102	国内都市との文化交流の活性化	文化交流事業を推進する。 (作品・コレクションの貸し借り)	要望に応じ随時実施し、目的を達成した。今後も継続して実施する。(文化振興課) 作品や収集品の貸借により文化交流を推進することができた。(芹美)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アート ギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館 東海道広重美術館
		32103	全国規模の文化催事の立案・開催の推進	日本・世界を対象とした大規模な文化事業を企画し、実施する。	国文祭を実施し、ほぼ目的を達成した。大きな効果が認められた。静岡市美術館の開館後、全国規模の企画実施のため準備している。今後も継続して実施していく。	文化振興課
		32104	海外との文化交流推進	ロシア写真展を開催する等、文化を通じて、海外都市との交流を活発化させる。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。今後も継続して支援する。	文化振興課
		32105	外来アーティストの積極的な招へいと交流の場の提供	音楽を通じ、世界的に活躍するアーティストを招聘し、公演を行う他関連事業を開催する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。今後も継続して支援する。	文化振興課 静岡音楽館

文化振興ビジョン [第2期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	1	しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承				
方向	1	文化財の保護、活用の推進				
方策	1	文化財に対する意識の高揚(文化財を理解し、保存への意識を高める)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		11101	指定文化財データベース作成事業	管理の実態を把握するために、市内の指定文化財をデータベース化する。	指定文化財の現状について、現在の状況を把握することができた。	文化財課
		11102	講座の開催	歴史講座等を開催する。	地域の歴史資源を題材にした講座や地元の歴史散策を行う講座を、各生涯学習施設においてそれぞれの地域の特色を生かす形で積極的に実施した。	生涯学習推進課
		11103	伝統文化体験教室等の開催	小学生を対象に伝統文化を体験するため教室等を開催する。	・「伝統芸能ワークショップ事業」を文化振興財団に委託し、夏休みに合わせて「伝統文化寺子屋」として開催することで、子どもやその保護者たちが茶道、神楽、落語などの伝統文化を理解する機会を創出することができた。(文化振興課) ・参加者に民俗文化財の価値や魅力について理解を深めてもらうことができた。また市民との交流を図ることにより、伝承者の誇りの醸成につなげることができた。(文化財課)	文化振興課 文化財課
		11104	出張解説事業	賤機山古墳の現地見学や公民館等からの歴史解説等の要請に対し職員を派遣して専門的な説明を行う。	小中学校の歴史授業に際して郷土の歴史資産である国史跡賤機山古墳や県史跡三池平古墳の活用が促進され、郷土の歴史への理解や文化財保護意識の向上を図ることができた。	文化財課
		11105	展示会・見学会等開催事業	文化財の展示会や見学会を開催する。	「文化財展」の開催においては、文化財の調査や保護への取り組みの成果を公開することで、市民の文化財に対する関心や理解の向上が図れた。 埋蔵文化財センターでの企画展や体験講座の開催においては、市民の埋蔵文化財に対する理解や親しみの向上を図ることができた。	文化財課
		11106	文化財ウォーク開催事業	宇津ノ谷峠の丸子地区や小島陣屋の小島地区などの地元と協働してウォークを開催する。	宇津ノ谷ウォークを実施することで、市民に国史跡宇津ノ谷峠について広く周知することができた。	文化財課
		11107	登呂博物館の各種事業	登呂遺跡を中心とする歴史や文化に関する常設展・企画展・特別展・教育普及活動(講座、イベント等)を実施する。	展示や各種講演会、講座等を通して、登呂遺跡を中心とする歴史や文化に関する情報を多くの方に発信することができ、それらについての関心と理解を深めてもらうことができた	登呂博物館
方策	2	文化財の継承(文化財の保存に努め、後世に残す)				
		11201	指定文化財保存修理等補助金交付事業	文化財の保存修理にかかる補助金を交付する。	保存修理を実施することにより、市民の文化財への理解に供することができた。	文化財課
		11202	史跡等保存整備事業	特別史跡登呂遺跡や史跡片山廃寺跡等を保存整備し、歴史的な遺産を保存し後世に継承する。	弥生時代の稲作文化を伝える登呂遺跡や清水平野に展開する古墳文化を伝える三池平古墳の保存整備が完了し、市内における歴史資産、観光文化財の整えの向上が図れた。	文化財課
		11203	文化財保護審議会事業	市指定文化財の指定に向けて、候補物件の調査研究を行う。	建穂観音堂千手観音立像の文化財指定を行った。	文化財課
		11204	歴史の道整備事業	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、文化財の鑑賞者に利便性を提供しその価値を伝える。	宇津ノ谷地区の東海道を整備する、景観を保全することにより、来訪者の利便性を図ることができた。	文化財課
		11205	文化財やロケーションを意識したイベントの開催	屋外事業やロケーションを意識した文化事業を展開する。	羽衣伝説発祥の地である三保松原において、毎年羽衣まつりを開催することにより、文化事業の展開に加え、三保松原の地並びに本市の知名度アップに大きく貢献した。	文化振興課
		11206	近代化遺産活用事業	「登録文化財の日」に実施される全国一斉公開などの機会を得て文化財の素晴らしさを伝える。	近代化遺産の登録文化財公開等を行った。	文化財課
方策	3	文化財の新たな活用(地域や学校と連携した文化財の活用を図る)				
		11301	文化財所有者・管理者連絡協議会事業	瀬名郷倉、エンバーソン邸などの文化財の保存・管理の関係団体と定期的に連絡協議する。	霊山寺仁王門、瀬名郷倉、小島陣屋、建穂観音堂の保存管理団体との連絡調整を行った。	文化財課



事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
11303	出張解説事業(再掲)	賤機山古墳の現地見学や公民館等からの歴史解説等の要請に対し職員を派遣して専門的な説明を行う。	小中学校の歴史授業に際して郷土の歴史資産である国史跡賤機山古墳や県史跡三池平古墳の活用が促進され、郷土の歴史への理解や文化財保護意識の向上を図ることができた。	文化財課
11304	静岡市地図編集委員会・社会科副読本改訂委員会	社会科学習に生かすため静岡市の地図を作成し、地域学習の充実を図ると共に、郷土及び地域学習に必要な社会科副読本を作成し、社会科指導の充実を図る。	平成26年度版小中学校地図及び副読本の改訂編集作業を行い、市内の全小学校3年生と中学1年生に配布した(第10版)。各学校の社会科の授業で活用されている。	学校教育課
11305	総合学習や調べ学習の援助	小中学校の総合学習や調べ学習において参考となる資料の提供、援助を行う。	各学校への『学校用図書館利用案内』、「ブック通リスト(パスファインダー)」の提供、調べ学習用の図書の貸し出しにより、効果的に調べもの学習の援助を行うことができた。	中央図書館

文化振興ビジョン [第2期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	1	しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承				
方向	2	伝統ある文化の伝承の支援				
方策	1	伝統文化に対する意識の向上(地域に根づく文化を理解し、保存・継承の意識を高める)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		12101	指定文化財データベース作成事業	指定民俗文化財について、伝承・保存の実態を把握するためにデータベース化する。	常に保存団体と情報を共有し、伝承状況の把握に努めることで、必要な対策を施すことができています。	文化財課
		12102	スペシャリスト派遣事業	本市の第一線で活躍する様々な専門家や達人を講師に招き、生き方や専門的知識・技術力に学ぶ。	各界の第一線で活躍する職業分野の専門家や達人から直接話を聞いたり、すぐれた技術に触れたりする体験的な学習は、児童生徒に夢や感動を与え、学びを広げたり深めたりすることにつながった。キャリア教育の視点からも、児童生徒達に将来の職業と今学んでいることがつながっていることを学ぶよい機会となった。	学校教育課
		12103	民間教育力活用事業	児童・生徒の必要に応じて校外の教育資源を活用する。	地域の様々な教育力を積極的に活用し、児童生徒の体験的な学習を充実させることができた。また、この事業を通して、学校と地域との連携体制が構築されてきている。	学校教育課
		12104	ふるさと文化再興事業	民俗関係の遺産について調査し映像記録を行い、伝承者の育成を援助する。	国庫補助制度を活用し、民俗文化財の映像記録化、用具整備などを進め、各保存団体の伝承活動を支援することができた。	文化財課
		12105	伝統文化財保存伝承事業	写真、文字、映像により、記録するとともに事業の冊子を作成する。	映像記録等により貴重な民俗文化財を記録するとともに、それらの成果を冊子やDVDにまとめることで、市民の文化財に対する理解の向上や教育普及の促進を図ることができた。	文化財課
		12106	伝統文化調査事業	海の民俗誌など地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	本市の文化財保護行政が抱える課題を解決するために、その基礎資料となる調査や記録事業を実施することができている。	文化財課
		12107	印刷物による記録、保存	伝統文化に関する資料を収集し、保存する。	関係資料の収集・保存により、情報の収集及び提供を行うことができた。	中央図書館
方策	2	伝統文化の継承と支援(伝統文化承継者や団体の育成と活動への支援を図る)				
		12202	ふるさと文化再興事業(再掲)	民俗関係の遺産について調査し、映像記録を行い報告書を刊行する。	国庫補助制度を活用し、民俗文化財の映像記録化、用具整備などを進め、各保存団体の伝承活動を支援することができた。	文化財課
		12203	伝統芸能公演への支援	市民文化祭等を支援し発表機会を提供する。	毎年、羽衣まつり開催時に、清水第五中学生徒による子ども能楽を披露しているほか、5月から約1ヶ月間開催している市民文化祭において、「能楽」、「詩舞」、「詩吟」、「日本舞踊」等の伝統芸能を発表する機会を提供することができた。	文化振興課
		12204	指定文化財保存活用補助金交付事業	有形・無形の市指定民俗文化財の保存団体に対して助成する。	保存団体の活動を支援することで、文化財の適切な保護を図ることができている。	文化財課
方策	3	伝統文化事業の推進(伝統芸能事業や民俗芸能事業の開催を通じて伝統文化への愛着を育む)				
		12301	日本古典伝統文化公演開催事業	日本の古典伝統文化である歌舞伎や落語の公演の開催を支援する。	・静岡市民文化会館にて「松竹大歌舞伎」、清水文化会館にて「落語公演」を実施することを通じ、日頃親しむ機会の少ない伝統文化を鑑賞する機会を提供し、伝統文化への関心を高めることに貢献した。(静岡市民文化会館、清水文化会館) ・三保羽衣薪能は平成25年度に30回目を迎え、毎年秋に開催される薪能公演として定着したことで、伝統文化への愛着が育まれている。(文化振興課)	文化振興課 静岡市民文化会館 清水文化会館
		12302	伝統文化講座や学習会の開催及び推進事業	日本の伝統文化に触れる学習会の開催を推進する。	「伝統芸能ワークショップ事業」を文化振興財団に委託し、夏休みに合わせて「伝統芸能寺子屋」として開催することで、子どもやその保護者たちが茶道、神楽、落語などの伝統文化を理解する機会を創出することができた。	文化振興課
		12303	日本古典芸能公演事前講演会開催事業	能や歌舞伎公演に付随し、より公演に親しむための講演会の開催を支援する。	・静岡市民文化会館にて開催される「松竹大歌舞伎」の事前講演会を実施することにより、伝統文化に対する関心及び理解を高めることに貢献した。(静岡市民文化会館) ・三保羽衣薪能において、公演前に演者による見どころ解説を行うことで公演のわかりやすさに努めた。また、平成25年度より羽衣まつりイベントを開催することで、羽衣まつりと能楽への普及につなげた。(文化振興課)	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
12304	講座の開催(再掲)	伝統文化の学習機会を提供する。	地域の伝統行事や文化、工芸等をテーマとして扱う講座を実施した。	生涯学習推進課
12305	伝統文化財保存伝承事業(再掲)	地域に根ざす文化行事を、市ホームページ等で広報し、冊子で紹介する。	映像記録等により貴重な民俗文化財を記録するとともに、それらの成果を冊子やDVDにまとめることで、市民の文化財に対する理解の向上や教育普及の促進を図ることができた。	文化財課
12306	民俗文化学習事業	地域に伝承されてきた民俗芸能や行事についての講座を開催する。	参加者に民俗文化財の価値や魅力について理解を深めてもらうことができた。また市民との交流を図ることにより、伝承者の誇りの醸成につなげることができた。	文化財課
12307	伝統文化調査事業(再掲)	地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	本市の文化財保護行政が抱える課題を解決するために、その基礎資料となる調査や記録事業を実施することができている。	文化財課

文化振興ビジョン [第2期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して				
目標	2	地域性豊かな市民文化の創造		
方向	1	多彩な市民文化活動の支援		
方策	1	文化活動への助成(団体・個人の活動を支援し、活性化を図る)		
事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21101	文化活動支援事業	市民による文化事業を後援し、支援する。	文化振興財団が実施する「文化振興事業費助成制度」に対して補助を行い、平成22～25年度で年間平均16団体に助成を行った。制度についても広報を工夫することで、平成25年度には助成件数が増加しており、市民文化活動を広く支援することができた。	文化振興課
21102	表彰・推薦事業	文化の振興と向上に寄与する市民の活動を奨励するための静岡市芸術文化奨励賞を設け表彰している。また国、県その他団体へ表彰等推薦を行う。	平成22年度～25年度までに、団体4組、個人4組に「静岡市芸術文化奨励賞」を授与し、市民による更なる市の文化振興への寄与を促進した。今後は、潜在的候補者の発掘等が求められる。	文化振興課
21103	活動場所確保の支援	文化活動場所確保のための支援を行う。	ふれあいホールの利用申出や、公園の使用に係る副申を行い、活動場所の確保について支援することで、市民文化活動の活性化に貢献した。	文化振興課
21104	活動拠点の提供	市が所管する文化・学習施設の貸館事業を、適正かつ安定的に行う。	・文化団体等からの利用希望に対し、抽選を基本とし、公平な申込方法をとることで、安定的に貸館事業を行った。また、利用者アンケートを実施し、利用者のニーズを把握することで管理運営に役立てた。(文化振興課) ・生涯学習施設の貸館について、例規等に従い適正に実施した。(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課
21105	文化活動発表機会提供事業	市内で文化活動を行う個人や団体の発表会を支援する。	平成23年度から「アマチュア・アンサンブルの日」を無審査、多数抽選の方法で開催し、日常的に音楽を楽しむ人たちに発表機会を提供することができた。	文化振興課 静岡音楽館
21106	文化活動補助事業	全国大会等の芸術文化活動の発表会に出場する個人又は団体に補助金を交付する。(静岡市芸術文化活動発表会参加奨励補助金)	平成24年度の交付件数より8件増加した。個人に対する交付が増え、市内周知が見受けられる。平成23年度の市民評価会議において見直された事業であり、予算の増額は見込めないことから、限られた予算の範囲内で発表会に出場する学生を補助していく。	文化振興課
21107	文化団体の充実・育成事業	市内文化団体の活動を充実させ、育成する。	静岡市文化協会に補助金を交付することにより、活動を支援し、毎年秋に「静岡市芸術祭」を開催することができた。	文化振興課
21108	ボランティア活動支援事業	竹久夢二研究会等自主的に文化活動を開催するボランティア活動を推進する。	清水区蒲原の旧五十嵐邸で開催した「竹久夢二」展において、日頃の活動の成果を発揮する機会として、会場での作品解説を蒲原夢二研究会がボランティアで実施した。	文化振興課
21109	文化事業開催支援事業	静岡市芸術祭等市民による音楽、美術、舞台芸術、科学分野の事業の開催を支援する。	静岡市文化協会が開催する静岡市芸術祭を支援することにより、市民による文化活動発表の場を設けることができた。	文化振興課
21110	音楽文化振興企画の募集	静岡音楽館における音楽文化振興の募集・開催事業を支援する。静岡県を中心に音楽活動を続けている演奏家、演奏団体からコンサート企画を募集しその企画を開催する。	静岡音楽館AOIコンサート企画募集を継続することで、静岡の演奏家をバックアップし、共同してコンサートを作り上げることができた。	静岡音楽館
21111	国・県・その他団体からの補助事業の活用推進	国・県・他団体による文化事業補助事業、助成金制度の活用と利用を呼びかけるため、情報提供の場を設ける。	施設へ情報提供した結果、文化庁助成金に応募し、採択され、自主事業に活用することができた。	文化振興課
21112	駿府本山お茶まつり事業	本市の基幹産業であるお茶の振興を図るため、地元の生産者から、流通、小売業者までが一体となって、静岡本山茶の消費拡大を図り、お茶に関する文化、歴史的考察を含めた各種イベント等を実施する。	お茶に関する文化・歴史的考察を含めた各種イベント等(茶詰めの儀・お茶壺道中行列・口切りの儀・消費拡大イベント等)を開催することにより、静岡本山茶の茶文化の継承・消費拡大を図った。	農業政策課
21113	清水お茶のまちづくり事業	地元の生産者、流通関係者及び消費者の一体的な取組みにより、新しいお茶の文化を創造しながら地産地消を軸とした清水ならではの「お茶のまちづくり」を進める活動を実施する。	ブランド茶「まちこ」「清水茶産地四撰」を軸に「市民交流イベント(地元茶でもてなす会)の開催や新たな魅力の創出(和紅茶・スイーツとのコラボ)など各種事業を実施し一体的・継続的に「清水のお茶のまちづくり」を進める活動に取り組み、産地のブランド力を高めている。	農業政策課
21114	茶手揉み保存事業	茶の製造技術の原点である手揉製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉実演などの事業を行う。	茶の製造技術の原点である手揉製茶技術について、講習会開催による後継者育成、各種イベントでの手揉実演等を実施し、手揉製茶技術の保存と向上を図った。	農業政策課
21115	市民活動センターの運営	市民活動団体に関する情報収集、情報誌の発行、相談業務、講座の開催等、市民活動を支援する施設の運営。	清水及び番町市民活動センターを指定管理で運営し、市民活動を支援した。	男女参画・市民協働推進課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21116	協働パイロット事業	新しい協働事業の創出や協働推進のためのノウハウの取得を図る。	11件の応募があり、3件の協働事業を採択・実施した。	男女参画・市民協働推進課
21118	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、市民の文化活動を支援をする。	資料の収集・保存により、市民の文化活動支援を行うことができた。	中央図書館
21119	読み聞かせボランティア養成	地域で活躍できる、読み聞かせボランティアを養成する。	講座実施により読み聞かせボランティアを養成することで、地域での活動につなげていくことができた。	中央図書館
21120	主催イベント 生涯学習施設まつり	施設祭り、地域交流会で市民が出演できる機会を提供する。	センター、交流館まつりなど、地域団体と協働で行うことによって、市民の出演機会を提供した。	生涯学習推進課
方策 2	人材・組織の育成(文化活動を担う人材・組織を育成し、活動を支援する)			
21201	芸術家・文化人の発掘と支援事業	オーディション等、市内の芸術家や文化人を発掘し、その活動を支援する事業を推進する。	「静岡の名手たちオーディション」を毎年開催することで静岡ゆかりの演奏家を発掘し、施設等での演奏の機会を設けることで支援を実施することができた。	静岡音楽館
21202	文化事業の支援	文化振興のために開催される公演等について後援名義の使用を承認し、事業を側面から支援する。	毎年、100件を超えるほどの後援名義使用承認事務を執行しており、許可された事業のポスター・チラシ等について、文化振興課窓口にて掲示等をするとともに、関係施設への設置・配布依頼等を実施し、事業を側面から支援することができた。	文化振興課
21203	地域の芸術家・文化人育成事業	市内の芸術家や文化人を育成する事業を支援する。	芸術監督による理論と実践を学ぶ、全国でも開催例が少ない「ピアニストのためのアンサンブル講座」を開催することで、アンサンブルができるピアニストを養成することができた。	静岡音楽館
21204	人材・団体のデータベース化	市内の文化人や団体の紹介を記したデータベースを作成する。 (生涯学習施設利用団体のサークルリストの作成、窓口での紹介。)	各生涯学習施設で活動する文化団体(利用団体)のサークルリストを作成し、窓口(あるいは電話対応)にて紹介した。	生涯学習推進課
21205	芸術家など文化を担う人や団体の交流場所の提供	芸術家など文化を担う人が交流する機会や場所を提供する。	「ストリートフェスティバル」「市民大音楽祭」等、市内外の芸術家や文化団体が多く参加する事業の開催を支援することで、文化を担う人々が交流する機会や場所を提供した。	文化振興課
21206	ボランティア活動推進事業	文化施設における展示物説明やイベント事業支援のためのボランティアを養成する等、文化事業開催にあたり、ボランティアを養成する。	・随時ボランティアクラブを募集することで、協働によりコンサートシリーズを開催することができた。(静岡音楽館) ・三保羽衣薪能の実施に際し、ボランティアを募集し、協働により開催することができた。(羽衣まつり) ・静岡科学館ボランティアであるサイエンスナビゲーターを募集し、来館者サービスの向上と市民参画による当館運営の推進を図った。(静岡科学館) ・ボランティアスタッフとの協議会を開催し、協力体制の協議を行うとともに、定期的なミーティングを開催し、協議、連絡調整を通じ、美術館と来館者の架け橋として活躍できる環境づくりが図れた。(東海道広重美術館)	静岡音楽館 静岡科学館 東海道広重美術館
21207	文化施設協カスタッフ養成・活用事業	市内で開催される文化事業へのボランティア参加募集やその参加者を養成する事業を実施する。	サイエンスナビゲーターが自ら事業の企画・運営にあたる「おもしろ科学フェスティバル」を開催することで、必要なスキルや指導力を身につけた。また、年2回のサイエンスナビゲーター全体研修会を開催し、スキルアップに必要な各種情報提供を行っているが、サイエンスナビゲーターの登録者数や活動実績数は増加傾向にあるものの、それに比べて研修会への参加者数が伸びない点が懸念される。(静岡科学館) ・展覧会毎に学芸員を中心とした勉強会を開催することにより、展覧会内容や展示作品について理解を深めることとなり、協カスタッフの活躍の場の提供につながった。(東海道広重美術館)	文化振興課 静岡音楽館 静岡科学館 東海道広重美術館
21208	絵本読み聞かせの会	絵本の読み聞かせボランティアグループ等が定期的に読み聞かせ会を行う。	各生涯学習施設において、市民団体による絵本の読み聞かせを実施した。	生涯学習推進課
21209	文化事業企画制作者の育成	各研修会への参加等文化事業指導者の育成支援。	毎年度、文化振興財団にて職員研修を随時実施し、指導者の育成に努めたことで、事業企画制作ができる人材の育成を図った。	文化振興課
21211	まちづくりへの提言	まちづくり等の計画策定にあたり、文化行政の視点から提言する。	これまでは、機会が少なかったこともあり、あまりまちづくりへの提言をしてこなかったが、今後は庁内で組織されるまちづくりに関する委員会等において、より積極的に関わることが望ましい。	文化振興課
21212	指定管理者制度の導入	指定管理者による施設専門事業の展開を図る。	平成22年度、5月に開館した静岡市美術館に、指定管理者制度を導入した。平成23年度、静岡市民文化会館と静岡音楽館の第2期指定管理期間が開始した。平成24年度、8月に開館した清水文化会館に指定管理者制度を導入した。平成25年度、静岡科学館の第3期指定管理期間が開始した。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21213	講座の開催(再掲)	静岡音楽館、静岡科学館や市民団体等と共催により講座を開催する。	各生涯学習施設において、NPO、市民団体、他機関等との共催事業を実施した。	生涯学習推進課
21214	茶手揉み保存事業(再掲)	茶の製造技術の原点である手揉製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉実演などの事業を実施する。	茶の製造技術の原点である手揉製茶技術について、講習会開催による後継者育成、各種イベントでの手揉実演等を実施し、手揉製茶技術の保存と向上を図った。	農業政策課
21215	人材養成塾	主体的にまちづくりに関わっていける人材を養成する。	まちづくりに主体的に関わっていける人材を養成するための「人材養成塾」を開催した。	生涯学習推進課
方策 3	生涯学習活動への支援(生涯を通じて文化と触れ合える環境をつくる)			
21301	市民が参加できる文化事業の推進	おやこ書道展や公募写真コンテスト、版画コンクールを開催し、一般市民が気軽に参加できる公募展や舞台公演開催事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年多くの親子から応募がある「親子書道展」の開催を支援し、生涯を通じて文化と触れ合える環境づくりを推進した。(文化振興課)</li> <li>・富士山世界遺産登録に併せた、写真コンテスト『GREAT MOUNTAIN FUJI/富士山「じぶん」遺産』や『第8回ゆい年賀状版画コンクール』は、一般市民が気軽に参加できるもので、応募作品への来館と合わせ、由比の知名度向上に貢献した。(東海道広重美術館)</li> <li>・浮世絵デモンストレーション&amp;ワークショップは、職人の技術を直接目にする事、手を動かすことにより、浮世絵の理解が深まった。(東海道広重美術館)</li> <li>・講座で製作した受講生の作品を生涯学習施設のイベント期間に合わせてロビーに展示するなど、学習活動の成果発表を実施した。(生涯学習推進課)</li> </ul>	文化振興課 東海道広重美術館 生涯学習推進課
21302	市民と一体となった文化事業の促進	運営から出演者まで、市民との協働で行われる文化事業を促進する。	運営委員会、ボランティア等で協働して羽衣まつりを開催し、安定的な運営ができた。	文化振興課
21303	幅広い年齢層との文化事業の連携事業の開催	主催事業において、地域の高齢者や学生と連携した事業を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢層を問わず身体表現を行うことのできる静岡コミュニティダンスプロジェクトを実施し、市民参加の公演及びワークショップを通じ、誰もが気軽に参加できる文化事業の実施及び文化活動の底辺拡大に貢献した。(静岡市民文化会館)</li> <li>・地域の大学生や高齢者と連携した事業を実施した。(生涯学習推進課)</li> </ul>	静岡市民文化会館 生涯学習推進課
21304	世代間交流事業の推進	大人のための鑑賞、科学教室を開催する等、多くの年齢層が一堂に集い、互いに刺激しあう文化事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢層を問わず身体表現を行うことのできる静岡コミュニティダンスプロジェクトを実施し、市民参加の公演及びワークショップを通じ、誰もが気軽に参加できる文化事業の実施及び文化活動の底辺拡大に貢献した。(静岡市民文化会館)</li> <li>・親子科学教室等、親子で参加できる事業を展開することにより、幼い子どもの参加を促し、科学の不思議さ、面白さを体験する機会を提供した。(静岡科学館)</li> <li>・静岡市美術館において、親子を対象とした各種ワークショップを開催し、世代間交流の推進に貢献した。(静岡市美術館)</li> </ul>	静岡市民文化会館 静岡科学館 静岡市美術館
21305	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、生涯学習活動を支援する。	資料の収集・保存により、市民の生涯学習活動支援を行うことができた。	中央図書館
21306	ワークショップなど展覧会の関連事業の開催	ワークショップなど展覧会の関連事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度に自主事業コンサート出演者によるミニコンサートと公開レッスンを開催したほか、関連講演会を開催することで、音楽文化の普及に努めた。(静岡音楽館)</li> <li>・企画展の関連事業として、様々な講師を招いた講演会やワークショップ、サイエンスショー等10事業を実施した。これにより、主要な来館者層である子どもとその保護者に加え、様々な分野の指導者や関心を持つ大人層の来館に繋がった。(静岡科学館)</li> <li>・自主事業、企画展に関連したワークショップ、講演会等を開催により、再来訪方策また、将来的に浮世絵ファンとなる可能性を探る機会となった。(東海道広重美術館)</li> <li>・小学校や中学校だけでなく、A.C.C国際交流学園等への出張ワークショップでは、工夫したプログラムを実施し、美術に親しみを持ってもらうことができた。(東海道広重美術館)</li> </ul>	静岡市民文化会館 静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館 東海道広重美術館
方策 4	豊かな心をつちかう教育への支援(教育を通じて文化と触れ合う機会を創出する)			
21401	学校と連携した文化教育プログラムの実施	学校内の音楽会や芸術祭を共催する等、音楽・美術・科学の分野で学校と連携した事業を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校との共催により校内音楽会を実施することで、教育を通じて文化と触れ合う機会を創出することができた。(静岡音楽館)</li> <li>・「しずおか環境を学ぶ会」や「理科大好き教室」等、大学との連携事業を実施することにより、科学普及に向けた裾野の広いネットワークが確立されている。(静岡科学館)</li> <li>・静岡大学等と連携し「静岡大学アートマネジメント力育成事業」を実施したことで、市内関連施設とのネットワークが強化され、また、単館では実施が困難な事業を連携することによって実施することができ、館として事業の幅が広がった。(静岡市美術館)</li> </ul>	静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21402	次代の鑑賞者の育成を図る事業の展開	子どものための音楽ひろば等、ワークショップ、教室、講座の開催を通じて、芸術文化への子供たちの意識を高める事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、「子どものための音楽ひろば」講座の実施を通じて、芸術文化への子どもたちの意識を高めることができた。また、「子どものためのコンサート」を開催することで、親子で参加できるコンサートの機会を提供することができた。(静岡音楽館)</li> <li>・「理科大好き教室」では、参加者が講座を通してまとめた自由研究論文が国内、県内の科学研究顕彰事業において多数表彰を受けるなど、「未来の科学者養成」という目的に沿った大きな成果を上げた。(静岡科学館)</li> <li>・小中学生を対象とした「オーケストラ鑑賞事業」を開催し、生演奏の楽しさを知ったり、鑑賞マナーを身につける機会を設けることができた。(文化振興課)</li> <li>・2歳以上の未就学児対象の「しずびちびっこプログラム」、小～高校生を対象とした「ミュージアム教室」ほか多様なワークショップを開催し、子どもたちが芸術文化に触れる機会を数多く提供することで、子どもたちの意識を高め、次代の鑑賞者の育成に努めた。(静岡市美術館)</li> </ul>	文化振興課 静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館
21403	こどもたちが本物の芸術に触れる機会の創設	学校独自で実施する芸術鑑賞教室、講座を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問事業「どこでもAOI」として毎年1～2校訪問演奏を行うことで、学校のピアノを使用して芸術文化に触れることができる機会を提供することができた。(静岡音楽館)</li> <li>・科学館スタッフが学校に出向いて授業の支援を行う「移動科学館」は、体験的な理科の授業実施が困難な施設にとって、児童・生徒への貴重な体験学習の機会となっており、教育施設における重要な役割を担っている。(静岡科学館)</li> <li>・小～高校生を対象とした「ミュージアム教室」を開催し、子どもたちが本物の芸術にふれる機会の創出に努めた。(静岡市美術館)</li> </ul>	静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館
21404	子どものための優れた舞台芸術体験事業	音楽劇、オーケストラ、能楽、ミュージカル鑑賞	文化庁より専門家(オーケストラ、能、演劇、バレエなど)を派遣していただいたり、学校で専門家(和太鼓、演劇など)を依頼し講師料を文化庁より支援していただいたりして、子どもたちが優れた文化芸術に触れるよい機会となっている。	学校教育課 (文化庁)
21405	芸術鑑賞機会の充実	市民が気軽に芸術文化の鑑賞ができる機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランチャイズオーケストラによるクラシック鑑賞事業を実施し、クラシック音楽に親しみやすい環境づくりに貢献した。(清水文化会館)</li> <li>・「Hotひといきコンサート」を文化振興財団に委託し、市庁舎などの公共空間で高質な生演奏を鑑賞する機会を設けることで、市民が気軽に芸術文化の鑑賞ができる機会を提供した。(文化振興課)</li> <li>・毎年15回程度開催する「コンサートシリーズ」において、22歳以下1,000円とするほか、短時間で安価な「ランチタイム・コンサート」、「オルガン500円コンサート」を設定することで、気軽に幅広い層がコンサートに行ける機会を設けることができた。(静岡音楽館)</li> <li>・平成22年の開館以来、多様なジャンルの展覧会を開催し(H25年度末:19本)、市民が気軽に芸術文化の鑑賞ができる機会の提供に努めた。(静岡市美術館)</li> <li>・魅力あるコレクションの効果的活用と、「ギャラリートーク」、「ワークショップ」等、展覧会の内容に即した関連イベントを行うことにより、従来の顧客を重視しつつ、新しい客層への芸術鑑賞機会の充実を図ることができた。(東海道広重美術館)</li> <li>・公式WEBサイトやSNSを活用して積極的に発信し、より多くの人々に広重美術館の情報に接する機会を提供することとなった。(東海道広重美術館)</li> <li>・Google Art Projectへの参加により、広重美術館の情報を世界に広く発信することに寄与した。(東海道広重美術館)</li> </ul>	文化振興課 静岡音楽館 静岡市美術館 東海道広重美術館
21406	文化・学習施設と学校との連携の支援	市内文化・学習施設と学校との連携を強化し、その推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の他施設等と連携して科学普及の機会を広げるアウトリーチ事業や、学校との連携事業を積極的に取り組み、幅広いアプローチで市民の科学への興味関心を高めた。(静岡科学館)</li> <li>・小～高校生を対象とした「ミュージアム教室」の実施を校長会等でPR、利用の促進に努めた。(静岡市美術館)</li> <li>・小中学校及びA.C.C国際交流学園等への出前講座や当課課主催の留学生モニターツアーでは、体験と共に楽しみながら浮世絵の知識や伝統木版画の制作工程を学んでもらい、将来的に浮世絵ファンになってもらう機会の創出と美術館に親しみをもってもらうことができた。(東海道広重美術館)</li> </ul>	静岡市美術館 静岡科学館 東海道広重美術館
21407	お茶の美味しい入れ方教室	小学校における総合学習の時間を利用し、お茶に対する味覚を育み、お茶を中心とした食育を図るとともに、お茶の啓蒙・消費促進を図ることを目的に、日本茶インストラクターによるお茶の入れ方教室を開催する。	小学5、6年生を対象に、日本茶インストラクターによるお茶の美味しい入れ方教室を開催し、お茶に対する味覚を育み、お茶を中心とした食育を図るとともに、お茶の啓蒙・消費促進を図った。	農業政策課
21408	小学生T-1グランプリ	市内の小学生4～6年生を対象に、お茶についての筆記クイズ、お茶の種類当て、お茶の入れ方を競い日本茶の茶(チャ)ンピオンを決めるT-1(ティーワン)グランプリを開催する。	平成24年度は、茶業青年団がT-1グランプリを開催、平成25年度は、茶業青年団の協力も得て静岡市茶業振興協議会でT-1グランプリを開催し、小学生が本市の特産であるお茶について学び、家庭でお茶の入れ方の練習をすることによりお茶を通じた団らんを増やす機会を提供した。	【静岡市茶業振興協議会(農業政策課)】
21409	講座の開催(再掲)	学校と連携した講座を開催する。	学校を会場とした家庭教育学級を実施した。	生涯学習推進課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21410	公開講座の開催	公開講座を開催する。	女性学級や家庭教育学級、高齢者学級において、講座の一部を一般にも公開する公開講座を実施した。	生涯学習推進課
21411	地場産品体験学習事業	本市の地場産産を学ぶ小学4年生が、授業の一環として駿府匠宿で体験学習を行う際に補助を行う。	静岡市内の小学4年生全児童の約6割ほどが、毎年本事業に参加できており、静岡市の地場産品・地場産産のPRや将来の後継者育成に大きく貢献した。	産業振興課



文化振興ビジョン [第2期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	2	地域性豊かな市民文化の創造				
方向	2	文化活動の環境整備				
方策	1	文化基盤整備の検討(文化を意識したまちづくりを展開する)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		22101	行政における文化的視点の導入促進	まちづくり計画等において文化的視点を盛り込む。	これまでは、情報を収集している段階で、あまりまちづくり計画等に文化的視点を盛り込むことをしてこなかったが、今後は庁内で組織されるまちづくりに関する委員会等において、より積極的に関わることが望ましい。	文化振興課
		22102	市民意見の調査	文化事業の展開や、文化施策について市民意見の調査を行う。	アンケート調査の実施を通じ、利用者ニーズの把握、職員対応の改善等に努め、より良い施設運営の参考とすることが出来た。	文化振興課
		22103	街角の芸術空間の創出	各地域の街角において、芸術文化に関する事業展開を実施する。	・「Hotひといきコンサート」を文化振興財団に委託し、市庁舎や駅前地下広場で高質な演奏を行うことで、芸術空間を創出した。 ・「ストリートフェスティバル」の開催を支援することで、市中心市街地に芸術空間と賑わいを創出した。	文化振興課
		22104	集客圏の拡大を図るための戦略の検討	文化事業と観光を一体として捉え、集客を目的とした文化事業を検討する。	「羽衣まつり」を含めたツアー企画を市内外の旅行者に依頼することで、さらなる集客増に努めることができた。	文化振興課
方策	2	文化活動拠点の整備(施設の充実・連携を通じて、文化活動を行う環境を整える)				
		22201	魅力溢れる既存文化施設改修事業	高齢者や身障者にやさしい文化施設を目指した施設整備を行う。	施設修繕を実施することで、利用者の利便性向上に貢献した。 平成25年度に、利用者の安全確保のため、静岡音楽館ホール2階席の段差部分に手すりを整備することで、より安全に訪れることができるようになった。	文化振興課
		22202	文化施設耐震化事業	静岡市民文化会館等の耐震工事改修計画を立案する。	現状調査及び関係課との協議を通じ、利用者の安心安全のための施設耐震化計画の検討を進めている。	文化振興課
		22203	充実した施設と備品提供事業	利用者の立場に立った文化施設の備品や設備を維持し充実させる。	指定管理者と情報交換を密にし、施設の修繕や備品購入を遅滞なく進め、利用者が快適に施設を利用できるようにした。	文化振興課
		22204	文化施設周辺環境整備事業	文化施設の周辺の環境を整備する。	必要に応じて施設周辺の環境整備を行い、市民の安全で快適な施設利用を図った。	文化振興課
		22205	新規文化施設建設検討事業	新規文化施設整備の検討や建設を行う。	老朽化した清水文化センターの代替施設として、清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業をPFI事業として実施し、市民による文化活動の場及び清水都心の賑わい創出を図る施設として、平成24年8月に清水文化会館を開館した。	文化振興課
		22206	文化施設の専門的な運営方法検討事業	指定管理者制度の運営方法を検討する。	年3回の指定管理業務のモニタリング及び必要に応じた指定管理者との協議を通じ、適正な施設運営の確認及び指導を実施した。	文化振興課
		22207	施設の共有化	文化施設利用申請の電算化等、施設間のシステムを共有化し、情報や利用手続きの簡便化を図る。	文化会館に、施設利用申請管理システムを導入したことで、情報や利用手続きの簡便化を図ることができた。	文化振興課
		22208	文化施設ネットワークの構築	文化施設の指定管理者内におけるネットワークの構築を推進する。	文化振興財団と連携し、文化情報誌「しずおかイベントニュース」を毎月発行し、広く市民にイベントの情報を発信するなど、文化施設の指定管理者内におけるネットワークの構築を推進することができた。	文化振興課
		22209	民間施設との連携	民間施設等と連携し、共催文化イベント開催を検討する。	清水文化会館において、周辺地域他施設及び商店街等と連携した「清水にぎわい落語まつり」を実施することにより、一施設だけでなく周辺地域全体の賑わい向上に貢献した。	静岡市美術館 清水文化会館
方策	3	芸術文化の鑑賞機会の充実(芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成する)				
		22301	質の高い事業開催の推進	指定管理者による上質な、音楽・美術・舞台芸術・科学文化の分野の事業を開催する。	指定管理者のノウハウをいかし、毎年、年15回程度の多彩なプログラムによるコンサートシリーズを開催することができた。(静岡音楽館)	文化振興課所管施設 東海道広重美術館

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
22303	親子で楽しめる事業の推進	親子のためのコンサートやイベントの開催を推進する。	・毎年コンサートシリーズ内に、「子どものためのコンサート」を企画することで、親子一緒にコンサートを聴くことができる機会を提供することができた。(静岡音楽館) ・主要な来館者層である子どもとその保護者をターゲットとしたサイエンスショーやワークショップを開催した。特に、親子で参加しやすい土日や大型連休中に重点を置いて取り組む等、来館者数増に繋げる工夫がされている。(静岡科学館) ・静岡市美術館において、親子を対象とした各種ワークショップを開催し、親子で楽しめる事業の実施に努めた。(静岡市美術館)	静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館
22304	大型文化事業の開催と招致の検討	上質な長期公演事業を誘致し、文化振興と静岡周辺商業の振興と活性化を図る。	劇団四季のロングラン公演「マンマ・ミーア！」や「キャッツ」を実施することができ、文化振興と静岡周辺商業の振興と活性化を図ることができた。	文化振興課
22305	文化事業要望調査実施事業	未来の文化事業の対策に反映させるため、アンケート調査やリサーチを継続実施する。	・利用者及び主催事業来場者に対しアンケートを実施し、今後の施設運営及び事業計画の参考とした。(文化振興課所管施設) ・「利用度満足度調査」と「年代別来館者数調査」を行い、来館者の感想や動向の把握することにより、今後の美術館運営の判断材料の一つとなった。(東海道広重美術館)	文化振興課所管施設 東海道広重美術館
22306	特色ある自主事業の実施	文化施設による芸術文化事業の開催を推進する。	・多様なジャンルの自主事業の実施を通じ、鑑賞機会の充実、文化事業への気軽な参加、人材育成等に貢献した。企画展については来館者に大変好評であった。次代を担う子供たちに芹沢銈介の偉業を伝えるため、小学校に向けての働きかけを強化し、多くの小学生の来館が実現した。(芹沢銈介美術館) ・指定管理者のノウハウをいかし、毎年、年15回程度の多彩なプログラムによるコンサートシリーズを開催することができた。(静岡音楽館) ・富士山文化遺産登録特別企画展は、浮世絵と写真の2つのメディアを題材に「ドキュメンタリー性」注目した展覧会を開催し、来館者に注目を集めるとともに、マスコミにも広く取り上げられ知名度向上につながった。(東海道広重美術館)	文化振興課所管 東海道広重美術館 芹沢銈介美術館
22307	鑑賞機会の拡大を図る	小・中学生を対象とした文化事業を支援し、鑑賞機会の拡大を図る。	・学校訪問「どこでもAOI」や、「子どものための音楽ひろば」、「子どものためのコンサート」を毎年開催することで、子ども向けの鑑賞機会を創出することができた。(静岡音楽館) ・科学館スタッフがサイエンスショーや科学工作等を提供する「科学館学習」や、学校に向いて授業を支援する「移動科学館」を行うことにより、適応指導教室や児童相談所等、通常の授業を受ける機会を持っていない児童・生徒への支援に注力した。(静岡科学館) ・「伝統芸能ワークショップ事業」を文化振興財団に委託し、夏休みに合わせて「伝統芸能寺子屋」として開催することで、子どもやその保護者たちが茶道、神楽、落語などの伝統文化を理解する機会を創出することができた。(文化振興課) ・小中学生を対象とした「オーケストラ鑑賞事業」を開催し、生演奏の楽しさを知ったり、鑑賞マナーを身につける機会を設けることができた。(文化振興課) ・2歳以上の未就学児対象の「しずびチビッコプログラム」、小～高校生を対象とした「ミュージアム教室」ほか多様なワークショップを開催し、子どもたちが芸術文化に触れる機会を数多く提供することで、子どもたちの鑑賞機会の拡大に努めた。(静岡市美術館)	文化振興課 静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館
22308	新しい文化事業の研究と開催	他都市施設及び各種文化団体の実績や文化系シンクタンクの調査結果を参考に等して、新たな文化事業を研究し、実施する。	静岡市美術館運営実施計画に基づき、新しいしずおか文化の発信を目指した企画を実施したほか、毎年、大都市文化行政会議へ参加し、文化事業の研究と開催のため情報収集を図っている。	文化振興課
22309	しずおかコンテンツパレー構想	静岡市クリエイター支援センターを拠点としたクリエイターの育成、コンテンツ産業の普及啓発及び振興。 コンテンツパレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング、国際協業、情報発信事業に対する助成、支援。	クリエイター支援センターにおいては、クリエイターの育成を行い、卒業生が市内に事務所を設けるなど一定の成果が見られた。また、クリエイター同士やクリエイターと企業とのネットワークの構築に一定の役割を果たした。コンテンツパレー推進コンソーシアムを通じた取り組みでは、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチングによる商品化がなされるなど、クリエイターのビジネス活動を後押しすることができた。	産業政策課
方策 4	協働による施設の整備と運営(市民との協働を通じた文化施設の整備と運営方法を検討する)			
22401	文化施設整備における市民・民間との協働	文化施設整備手法に市民や民間との協働を取り入れる。	民間業者である指定管理者と連携した施設運営を実施した。 清水文化会館の整備及び維持管理・運営をPFI事業として実施し、選定された民間業者と連携した施設運営を実施した。	文化振興課
22402	市民文化活動の拠点となる施設運営方法の検討	ボランティアを含む文化活動拠点の運営に市民参加を促進する。	・市民が気軽に文化活動に触れることのできるワークショップを多数実施し、文化の底辺拡大に貢献した。(静岡市民文化会館) ・ボランティアスタッフとの協議会を開催し、協力体制の協議を行うとともに、定期的なミーティングを開催し、協議、連絡調整を通じ、美術館と来館者の架け橋として活躍できる環境づくりが図れた。(21206再掲)(東海道広重美術館)	文化振興課 東海道広重美術館

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
22403	市民による文化活動の環境整備	情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、文化振興課、各文化施設、学校へのチラシ、ポスターの配布協力等を実施することで、情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行うことができた。(各施設)</li> <li>・チラシ、ポスターの配布協力や、公式WEBサイトやSNSを活用した情報提供を通じ、教育普及活動への活用や、より幅広い層への門戸を開く環境整備が図られた。(東海道広重美術館)</li> </ul>	文化振興課 東海道広重美術館
22404	ボランティア、サポーターの育成	各文化施設においてボランティア登録を実施し、市の文化活動への協力者を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイエンスナビゲーター登録者を対象に全体研修会を行い、ボランティア活動と科学コミュニケーションへの理解を深め、ボランティア同士の交流により活動意欲の向上を図った。(静岡科学館)</li> <li>・ボランティアスタッフとの協議会を開催し、協力体制の協議を行うとともに、定期的なミーティングを開催し、協議、連絡調整を通じ、美術館と来館者の架け橋として活躍できる環境づくりが図られた。(21206再掲)(東海道広重美術館)</li> </ul>	文化振興課 静岡音楽館 静岡科学館 清水文化会館 東海道広重美術館
22405	市民の文化活動の拠点作り	市民の文化活動拠点の整備をする。	老朽化した清水文化センターの代替施設として、清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業をPFI事業として実施し、市民による文化活動の場及び清水都心の賑わい創出を図る施設として、平成24年8月に清水文化会館を開館した。	文化振興課

文化振興ビジョン [第2期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	2	地域性豊かな市民文化の創造				
方向	3	地域資源を活かした文化事業の充実				
方策	1	地域資源の発掘と再認識(地域資源を把握し、保護する)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		23101	地域資源の発掘・把握・保護	人材マップ作成等により、地域資源を把握し、これを保護する。 (生涯学習施設利用団体のサークルリスト作成)	・文化振興財団、文化協会の人材マップを生涯学習施設等における文化講座・活動に活用したり、各生涯学習施設で、活動している文化団体のリストを作成し、窓口で紹介するなどしており、地域資源の発掘・把握・保護がなされている。(文化振興課) ・各生涯学習施設で活動している文化団体(利用団体)を分類分けしたリスト(サークルリスト)を作成し、窓口にて市民に情報提供した。(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課
		23102	多彩な地域文化活動の基盤整備	地域資源の基である人材育成事業を展開する。	毎年、平野富山や竹久夢二作品等、市が収蔵する美術品等を公開した。また、作家中勘助の関連資料の調査研究を実施し、その成果を発表する講演会を開催するなど、地域資源を再認識する事業を推進することができた。	文化振興課
		23103	地域資源再認識事業	平野富山や竹久夢二作品等、市が収蔵する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を支援する。	・蒲原夢二研究会と協力し、清水区蒲原の旧五十嵐邸で「竹久夢二」展を実施し、国有形文化財の旧五十嵐邸と市所有美術品の夢二作品の双方を活用することができた。(文化振興課) ・清水文化会館に平野富山作品の常設展示コーナーを設け、年3回の入替えを実施し、施設利用者等にいつでも観ていただける体制を整え、市所有美術品の活用に努めた。(文化振興課) ・作家中勘助の関連資料の調査研究成果を発表する講演会や、作品を紹介する講演会、杓子庵の茅葺屋根修繕にあわせ、古民家に関する講演会を開催し、中勘助を地域の資源として再認識する機会の提供に努めた。(文化振興課)	文化振興課
		23104	地域資源整備事業	美術品台帳を整備する等、市が収蔵する美術品等を管理、修繕、整備し、資源を保存する事業を推進する。	市所有の美術品活用のため、「静岡市美術品カード集」の作成を行うなど、市が所蔵する美術品等を管理、修繕、整備し、資源を保存する事業を推進することができた。	文化振興課
方策	2	地域資源の整備と活用(地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開する)				
		23201	地域資源活用事業	地域資源を活かした舞台芸術・文学事業を支援する。	・市民球団「清水エスパルス」と共催し、市民参加によるダンスミュージカルを製作・上演したことを通じ、地域資源の魅力を再発見し、磨き上げることに貢献した。(静岡市民文化会館) ・羽衣伝説発祥の地である三保松原において、毎年羽衣まつりを開催することにより、文化事業の展開に加え、三保松原の地並びに本市の知名度アップに大きく貢献した。(文化振興課)	文化振興課 静岡市民文化会館 清水文化会館
		23202	地域資源紹介事業	地域資源(施設・自然・催事)を紹介する事業を行う。	随時パンフレット、広報誌等で地域資源(施設・自然・催事)を紹介することができた。	文化振興課
		23203	講座・ワークショップ開催事業	地元を知る講座の開講による意識高揚を図る。	各生涯学習施設において、地域で活動している団体との協働事業や、地域の食材を活用した料理講座、地域を散策し、歴史や文化を学ぶ事業などを実施した。	生涯学習推進課
		23204	地元出身文化人や有識者の活用の検討	地域で活動する文化人を取り上げ、周知させ、その活用を図る。	清水文化会館に平野富山作品の常設展示コーナーを設け、年3回の入替えを実施し、施設利用者等にいつでも観ていただける体制を整え、地元出身の芸術家の周知に努めた。	文化振興課
		23205	特色ある地域づくりへの側面的支援	地域の文化活動を行う団体や個人を支援方法を検討する。	21101に包含	文化振興課
		23206	伝統工芸品首都圏PR事業	静岡市伝統工芸品展「駿河の手作り市 木と下駄と漆器と竹と染めと蒔絵と 静岡市の伝統工芸を受け継ぐクラフトマンたち」の開催	静岡市伝統工芸技術秀士や市内伝統工芸の若手後継者の作品を首都圏で宣伝PRすることで、秀士や本市伝統工芸業界の宣伝PRが図られている。また若手後継者の意識の高度化につながっている。	産業振興課
		23207	羽衣の松、世代交代イベントの開催	静岡市の重要な観光資源である「羽衣の松」の世代交代を全国発信するためのイベントを開催する。	当日は雨天のため、計画どおりのイベントの実施はできなかったが、新聞等の掲載もあり「羽衣の松」の世代交代を全国に向け発信することができた。	観光・シティプロモーション課
方策	3	地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化する)				
		23301	地場産業との連携事業の推進	地場産業の展示会等と連携した文化事業を推進する。	漆組合、蒔絵組合連携による作品制作を依頼し、静岡市美術館に設置することにより、本市の地場産業のPRに貢献した。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
23302	駿府匠宿管理運営	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産業と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	毎年30万人前後の来場集客と2万人前後の伝統工芸品等体験者を出しており、静岡市の産業をPRできている。また、丸子地域の自治会等とも連携を持ち地域の祭りや、丸子芸術祭などにも積極的に関わり、地域の誇る「施設」として貢献している。	産業振興課
23303	駿府楽市地場産品展示コーナー運営	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市地場産品を展示紹介する。	静岡市の多種多様な地場産品、駿河竹千筋細工、駿河漆器・蒔絵等の伝統工芸品から近代家具やホビー等を静岡市民はもとより県内外の来場者に宣伝PRすることで、静岡製品の優秀さをアピール貢献できた。	産業振興課
23305	伝統工芸技術秀士顕彰・PR事業	本市伝統工芸産業に長年従事する技術者の内から、特に優秀な技術を有し、技術の伝承と発展に顕著な功績を有する者を、「静岡市伝統工芸技術秀士」として顕彰すると共にその作品を展示し、伝統工芸をPRする。	伝統工芸の優れた技術を有する伝統工芸技術秀士を顕彰することで、優秀な技術を保持する職人の技術の高度化や業界への普及啓蒙意識が高まり、地元の伝統工芸業界の技術向上やPRにつながっている。	産業振興課
23306	伝統工芸技術保存講習会	本市伝統工芸産業界の後継者育成と技術の保存継承を図るため、関係業界に従事している若手技術者に対し、静岡市伝統工芸技術秀士等を講師として技術講習を行う。	地元につながる伝統工芸の技術を、高度な技術を保有する技術者が若手後継者に講習することで、その保存が図られている。また若手後継者同志の交流の場ともなっており連携に寄与している。	産業振興課 (財)静岡産業振興協会
23307	街を紹介する冊子の作成	市内タウン誌への情報提供を行う。	文化振興財団が作成する冊子「まちかど」発行の支援や市内タウン誌への情報提供を実施することで、街を広く紹介することができた。	文化振興課
23308	商業空間やイベントと融合した文化事業の充実	商店街と音楽、飲食街と展示、など文化と商業の融合が図れる事業を展開する。	・施設周辺の民間施設及び商店街等と定例的な情報交換の場を設置することで、新たな事業実施や連携のきっかけを作り、周辺地域の魅力及び賑わい向上に貢献した。(清水文化会館) ・静岡駅前3館(静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館)及び駅周辺店舗と連携することにより、中心市街地の活性化と回遊促進を図る重要な役割を果たした。	静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館 清水文化会館
23309	地元企業とのイベント共催システムの確立	地域企業と連携した文化事業やメセナ事業を展開する。	・「羽衣まつり」をメセナ事業として協賛することで、安定した事業を実施することができた。(文化振興課) ・地元企業や市民団体等と共催し、様々な分野から科学を発信することにより、技術者や技術者を目指す人材が、一般市民と対話する貴重な場ともなっている。(静岡科学館) ・高質な展覧会を企画し、地元企業等と共催で開催することで、連携・ネットワークの強化に努めている。(静岡市美術館)	文化振興課 静岡市美術館 静岡科学館
23310	「ホビーのまち静岡」推進事業	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーのまち静岡」として国内外に向けシティプロモーションを展開している。静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	静岡ホビーショーをはじめ、各イベントを開催することで、市内外へ「ホビーのまち静岡」を広くPRすることができた。また、展示会の開催支援を行うことにより、プラスチックモデル産業の振興にも大きく寄与した。	産業振興課
23311	東海道2峠6宿街道事業	東海道2峠6宿を活かした街道観光事業を展開し誘客を図る。東海道二峠六宿街道観光協議会、地元NPO団体等と連携し、各峠及び宿場に残る史跡、文化を活用した一元的な街道観光の推進を図る。	各宿場まつりの連携・相互PR、各宿場のスイーツを題材とした「まち歩き」、東海道二峠六宿街道観光協議会によるフォトコンテストの開催支援を行うことで2峠6宿を活かした街道観光を推進し、誘客を図った。	観光・シティプロモーション課

文化振興ビジョン [第2期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	3	しずおか文化の発信と交流				
方向	1	全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備				
方策	1	文化情報の提供(いつでも、どこでも文化情報を受発信できる機会を提供する)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		31101	文化施設のデータベース化	市内文化施設を連携した施設紹介のデータベース化を図り公開する。	静岡市HP内の文化振興課ページに、市内文化施設HPへのリンクを行い、情報を集約・提供した。	文化振興課
		31102	文化活動拠点のネットワーク化	文化活動拠点を繋ぐ事業を展開する。	・文化施設相互に情報を交換し合い、文化のネットワークづくりを継続実施することができた。(文化振興課所管施設) ・街道資料ネットワークへの参加により、全国的なネットワーク化を通じた、交流・相互協力が可能となり、美術館の知名度向上に繋がった。(東海道広重美術館) ・観光・シティプロモーション課所管の他施設と連絡協議会では、各館の情報の共有及び連携事業を企画し、今までにない交流を図り、活動の幅を広げることとなった。(東海道広重美術館)	文化振興課所管施設 東海道広重美術館
		31103	文化情報の充実	文化施設において各種公演チケットを販売する等、人・施設・催事の情報収集を充実させる。	広報誌への掲載、ホームページの運営、ソーシャルメディアの活用など、多様な広報手段で施設の催事情報を周知し、市民に多くの文化情報を発信することが出来た。(文化振興課所管施設) 展覧会開催の都度、約1800箇所定期的にリーフレットやポスターを送付すると共に、登呂遺跡の見学予約団体(約150団体)にも美術館資料を同封した案内文書を送付。多くの方に芹沢銚介や美術館の情報を発信した。(芹沢銚介美術館)	文化振興課所管施設 芹沢銚介美術館
		31104	駿府楽市地場産品展示コーナー運営(再掲)	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市地場産品を展示紹介する。	静岡市の多種多様な地場産品、駿河竹千筋細工、駿河漆器・蒔絵等の伝統工芸品から近代家具やホビー等を静岡市民はもとより県内外の来場者に宣伝PRすることで、静岡製品の優秀さをアピール貢献できた。	産業振興課
		31105	静岡駅北口情報提供コーナー管理運営事務	市民や来訪者に対し、観光施設等の情報提供及び、静岡市の地場産品・特産物であるホビー、お茶などを中心とした地域資源の積極的なPRを実施。	静岡市街地への玄関口となる静岡駅北口地下において、市民や来訪者に対し、観光施設やイベントなどの情報提供及び静岡市の地場産品・特産物であるホビー・お茶を中心とした地域資源の積極的なPRを実施し、まちの賑わい創出に貢献した。	観光・シティプロモーション課
		31106	フィルムコミッション支援事業	静岡市内にテレビや映画、CM等映像作品の撮影を誘致し、シティプロモーション推進と観光振興・地域経済の活性化を図る。	シティプロモーション推進と観光振興・地域経済の活性化を図るため、静岡市内にドラマやCM、映画など映像作品の撮影を誘致し、富士山の世界文化遺産登録を受けて多くの番組が三保松原をとりあげたことにより、静岡市の認知度向上につながった。	観光・シティプロモーション課
		31107	静岡駅北口マルチビジョン管理運営業務	市民や来訪者に対し、映像を利用した情報提供及び、静岡市の地場産品・特産物であるホビー、お茶などを中心とした地域資源の積極的なPRを実施。	静岡市まちづくり公社との協働運営により、多くの往来がある静岡駅北口地下広場において、市政情報や静岡市の様々な観光資源の紹介のみにとらわれない幅広い情報を映像で紹介し、多数の市民や来訪者など幅広い層への訴求ができた。	観光・シティプロモーション課
方策	2	文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)				
		31201	文化情報の集約	分散している文化情報を整備し、文化関係施設のネットワーク化を図り集中管理を図る。	・特に多くの芹沢作品を所有する3美術館(当美術館、東北福祉大学芹沢銚介美術工芸館、柏市郷土資料展示室)で、所蔵品情報の共有化を進めた。所蔵品の相互貸借や作品購入等の際に活用すると共に芹沢銚介に関する研究にも役立てる。(芹沢銚介美術館) ・所管施設で合同で作成する三宿観光ガイドの発行により、分散していた各施設の催事・文化情報を整理し、ネットワーク化を図り、市民に提供できるようになった。(観光・シティプロモーション課)	文化振興課所管施設 芹沢銚介美術館 東海道広重美術館
		31202	地元マスコミとの連携・調整システムの確立	地元マスコミに文化情報コーナーの設置を求め、情報を発信していく。	開催したすべての展覧会及び各種事業(呈茶・ワークショップ・芹沢工房OB座談会等)において地元マスコミの取材があり、県内の多くの方々に当美術館の情報をお伝えできた。(芹沢銚介美術館)	文化振興課所管施設 芹沢銚介美術館
		31203	主催講座の情報提供	主催講座の案内をミニコミ誌へ情報提供する。	生涯学習施設で行う事業について、タウン誌、FM情報、インターネットサイトなどへ講座情報を配信した。	生涯学習推進課
		31204	国内外への情報	市HP等により、文化情報を国内外に発信する。	静岡市HP及びイベントカレンダーの更新を随時行い、市の文化情報を国内外に発信した。	文化振興課
		31205	駿府匠宿管理運営(再掲)	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産品と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	毎年30万人前後の来場集客と2万人前後の伝統工芸品等体験者を出しており、静岡市の産業をPRできている。また、丸子地域の自治会等とも連携を持ち地域の祭りや、丸子芸術祭などにも積極的に関わり、地域の誇り「施設」として貢献している。	産業振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
31206	文化情報網の整備と充実	情報伝達システムやソフトを随時更新し、ホームページの充実を図る。	静岡市HP及びイベントカレンダーの更新を随時行い、市の文化情報の整備と充実を図った。	文化振興課
31207	文化情報・活動の拠点となる施設作り	文化情報の発信基地設置を検討する。	老朽化した清水文化センターの代替施設として、清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業をPFI事業として実施し、市民による文化活動の場及び清水都心の賑わい創出を図る施設として、平成24年8月に清水文化会館を開館した。	文化振興課
31208	文化団体等の交流を通じた情報交換の促進	文化団体との連携を強化し、団体の事業活用を検討する。	文化振興財団、文化協会との協力体制と連携の強化を図り、文化団体との交流を通じた情報交換を促進することができた。	文化振興課
31210	文化的バリアフリーの推進	障害者、高齢者、子ども等様々な年齢層が楽しめる文化事業を推進する。	静岡市民文化会館において、障害の有無や年齢層を問わず身体表現を行うことのできる静岡コミュニティダンスプロジェクトを実施し、アウトリーチを行うことで、日頃文化活動に親しむ機会の少ない人にも文化活動の魅力を伝えることに貢献した。	静岡市民文化会館
31211	しずおか文化発信事業	ロシアでの芹沢作品展を開催する等、市の地域資源を紹介し、情報を発信する事業を開催し、静岡の名を周知させる。	企画の案内を全国の文化施設へ積極的に発信することにより、静岡の名を周知させることに寄与した。	文化振興課
31212	「ホビーのまち静岡」推進事業(再掲)	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーのまち静岡」として国内外に向けシティプロモーションを展開している。 静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	静岡ホビーショーをはじめ、各イベントを開催することで、市内外へ「ホビーのまち静岡」を広くPRすることができた。また、展示会の開催支援を行うことにより、プラスチックモデル産業の振興にも大きく寄与した。	産業振興課
31213	首都圏における文化情報の発信	所管課と連携し、首都圏において、広く文化情報の発信を行う。	首都圏で開催されるイベントの支援、関係団体へのポスター・チラシの配布を通じ、久能山東照宮の国宝指定、三保松原の世界遺産登録等の、本市の文化的特長のPRに貢献した。	東京事務所
31214	国内プロモーション	首都圏をはじめとする国内において、戦略資源、観光資源、文化等静岡市の魅力の情報を発信する。	JATA旅博への出展、まるちゃんの静岡音頭の制作、普及・プロモーション活動、るるぶ静岡市特別編集の作成・配付などを通じて、首都圏をはじめとする国内を対象に、本市の戦略資源、観光資源等の魅力の発信を行ない、認知度向上につながった。	観光・シティプロモーション課

文化振興ビジョン [第2期実施計画] 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	3	しずおか文化の発信と交流				
方向	2	文化交流事業の推進				
方策	1	全国や世界との文化交流事業の推進(世界との文化交流を通して、「しずおか文化」を再認識する)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		32101	全国各地と文化イベントを共催するシステムの創設と推進	全国縦断公演を企画、共催できるシステムを創設する。	国内の美術館と実行委員会を設立し、全国各地を巡回する美術展覧会を開催し、他美術館との連携・ネットワーク強化に努めた。(静岡市美術館)	静岡市美術館 静岡科学館
		32102	国内都市との文化交流の活性化	文化交流事業を推進する。 (作品・コレクションの貸し借り)	・他都市の美術館及び博物館との所蔵品貸借を進めることにより、芹沢芸術を通しての文化交流を進めることができた。(芹沢銈介美術館) ・松戸市戸定歴史館との共同企画で、H25年度「徳川慶喜」展を開催し、双方の文化交流に努めた。(静岡市美術館) ・掛川市二の丸美術館や静岡県立美術館等へ市所有美術品の貸出を行い、文化交流に努めた。(文化振興課)	芹沢銈介美術館 静岡市美術館 文化振興課
		32103	全国規模の文化催事の立案・開催の推進	日本・世界を対象とした大規模な文化事業を企画し、実施する。	国内の美術館と実行委員会を設立し、全国各地を巡回する美術展覧会を開催し、他美術館との連携・ネットワーク強化に努めた。	静岡市美術館
		32104	海外との文化交流推進	ロシア写真展を開催する等、文化を通じて、海外都市との交流を活発化させる。	H25年度「フジタ」展など、海外の文化施設の協力による展覧会等を実施し、海外との文化交流に努めた。	静岡市美術館
		32105	外来アーティストの積極的な招へいと交流の場の提供	音楽を通じ、世界的に活躍するアーティストを招聘し、公演を行う他関連事業を開催する。	・有望な若手アーティストを招聘しコンサートを実施することを通じ、市民に高次高質な芸術文化の鑑賞機会を提供すること貢献した。(清水文化会館) ・「コンサートシリーズ」において、海外アーティストを招くことで、質の高い芸術文化鑑賞の機会を提供することができた。(静岡音楽館) ・「Hotひとときコンサート」に市内外のアーティストを招くことで、多様なジャンルの音楽を気軽に鑑賞することができる機会を提供した。(文化振興課)	文化振興課 静岡音楽館 静岡市美術館 清水文化会館
		32106	国外プロモーション	富士山静岡空港就航先である国外都市において、戦略資源、観光情報、文化等、静岡市の魅力の情報を発信する。	富士山静岡空港就航先都市である韓国、台湾のほか、訪日旅行者の伸びが著しいタイを主要ターゲット国とし、世界遺産登録された富士山の眺望をはじめとする本市ならではの地域資源を活用し、積極的な情報発信を行ない、認知度及び来静者の誘引向上につなげた。	観光・シティプロモーション課



文化振興ビジョン〔第1期実施計画〕 進捗状況調査票（111～123）

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して												
目標	1 しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承											
方向	1 文化財の保護、活用の推進											
方策	1 文化財に対する意識の高揚(文化財を理解し、保存への意識を高める)											
事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課	
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由		
11101	指定文化財データベース作成事業	管理の実態を把握するために、市内の指定文化財をデータベース化する。	×	基礎データを収集している段階。	×	基礎データを収集している段階。	○	指定文化財基礎データ収集中	○	指定文化財基礎データ収集中	文化財課	
11102	講座の開催	歴史講座等を開催する。	○		○		○	「文化財ボランティア入門講座(全5回)」「アイセル歴史講座(全10回)」など、全26事業を実施	○	「駿府歴史散歩(全1回)」「文化財ボランティア講座(全5回)」など、全29事業実施した。	生涯学習推進課(旧中央公民館)	
11103	伝統文化体験教室等の開催	小学生を対象に伝統文化を体験するため教室等を開催する。	○		○		○	①生涯学習推進課:小学生とその保護者を対象に茶道を学ぶ「ちびっこお茶会(全2回)」など全8事業を実施 ②文化財課:	○	・大人から小学生までを対象とした「有東木盆踊り体験教室」を7月～8月に実施(文化財課) ・「夏休み親子抹茶教室(全1回)」など10事業を実施した。(生涯学習推進課)	文化財課 生涯学習推進課(旧中央公民館)	
11104	出前講座開催事業	学校からの賤機山古墳現地見学や公民館からの歴史解説等の要請に基づき職員を派遣して応える。	○		○		○	小中学校の賤機山古墳への社会科見学や生涯学習センター講座などの登呂遺跡などへの現地見学の際に職員を派遣し説明した。(2月末現在53回)	○	小中学校の賤機山古墳への社会科見学や生涯学習センター講座などの登呂遺跡などへの現地見学の際に職員を派遣し説明した。(44回) 市民を対象に文化財講座を実施した。	文化財課	
11105	展示会・見学会等開催事業	文化財の展示会や見学会を開催する。	○		○		○	市民ギャラリーで「文化財展」を開催した。埋蔵文化財センターで企画展を4回実施した。	○	市民ギャラリーで「文化財展」を開催した。埋蔵文化財センターで企画展を4回実施し、子供向け体験講座を2回実施した。	文化財課	
11106	文化財ウォーク開催事業	宇津ノ谷峠の丸子地区や小島陣屋の小島地区などの地元と協働してウォークを開催する。	○		○		○	11月2日 丸子宇津ノ谷地区で地元と協働で文化財ウォークを実施した。	○	11月1日 丸子宇津ノ谷地区で地元と協働で文化財ウォークを実施した。	文化財課	
11107	登呂博物館の各種事業	登呂遺跡を中心とする歴史や文化に関する常設展・企画展・特別展・教育普及活動(講座、イベント等)を実施する。	○		○		○	博物館休館中は、登呂公園内で野外体験活動等を実施。	○	登呂遺跡を活用した火起こしなどの弥生時代の生活体験活動を実施。	教育総務課	
方策	2 文化財の継承(文化財の保存に努め、後世に残す)											
11201	指定文化財保存修理等補助金交付事業	文化財の保存修理にかかる補助金を交付する。	○		○		○	文化財の保存修理にかかる補助金10件を交付した。	○	文化財の保存修理にかかる補助金9件を交付した。	文化財課	
11202	史跡等保存整備事業	特別史跡登呂遺跡や史跡片山廃寺跡等を保存整備し、歴史的な価値を公開、保存する。	○		○		○	特別史跡登呂遺跡保存整備事業を実施した(～平成23年度まで)。県指定史跡三池平古墳の保存整備事業を実施した(～平21)。	○	特別史跡登呂遺跡保存整備事業を実施した(～平成23年度まで)。県指定史跡三池平古墳の保存整備事業を実施し、12月から一般公開を開始した。	文化財課	
11203	文化財保護審議会事業	市指定文化財の指定に向けて、候補物件の調査研究を行う。	○		○		○	旧由比町指定文化財の指定見直しを中心に調査と指定検討を行った。	○	建穂寺の仏像を中心に調査と指定を行った。	文化財課	
11204	歴史の道整備事業	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、文化財の鑑賞者に利便性を提供しその価値を伝える。	○		○		○	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、景観を保持し、鑑賞者の利便性をはかる。	○	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、景観を保持し、鑑賞者の利便性をはかる。	文化財課	
11205	文化財やロケーションを意識したイベントの開催	屋外事業やロケーションを意識した文化事業を展開する。	○		○		○	羽衣伝説発祥の地「三保」において、フランス人舞踊家エレヌ・ジュグリスの顕彰及び日仏国際交流推進のため、「羽衣まつり」を開催し、羽衣の松を鏡板に、「羽衣」などの薪能公演や「エレヌ祭り」などを実施した。	○	羽衣伝説発祥の地「三保」のロケーションを生かし、羽衣の松を鏡板に、薪能公演など「羽衣まつり」を開催した。	文化振興課	
11206	近代化遺産活用事業	「登録文化財の日」に実施される全国一斉公開などの機会を得て文化財の素晴らしさを伝える。	×	近代化遺産については、まだ指定・登録の実績がない。	○		○	近代化遺産の登録文化財公開等を行っている。	○	近代化遺産の登録文化財公開等を行っている。	文化財課	
11207	歴史映像資料アーカイブ管理事業	旧静岡・清水市の貴重な歴史映像をアーカイブとしてホームページで公開する。	○		○		○	113タイトルをホームページで公開中	○	113タイトルをホームページで公開中	中央図書館(視聴覚センター)	

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
方策 3	文化財の新たな活用(地域や学校と連携した文化財の活用を図る)										
11301	文化財所有者・管理者連絡協議会事業	瀬名郷倉、エンバーソン邸などの文化財の保存・管理の関係団体と定期的に連絡協議する。	×	各所有者や管理者との連絡調整が未了のため。	×	各所有者や管理者との連絡調整が未了のため。	○	瀬名郷倉、エンバーソン邸の管理団体と定期的に連絡協議を持った。	○	瀬名郷倉、小島陣屋の管理団体と連絡協議を持った	文化財課
11302	指定文化財保存修理等補助金交付事業	天然記念物の維持管理に対して補助金を交付するなど地域に対して支援する。	○		○		○	天然記念物の管理者に対して補助金を交付した。	○	天然記念物の管理者に対して補助金を交付した。	文化財課
11303	出前講座開催事業(再掲)	学校からの賤機山古墳現地見学や公民館からの歴史解説等の要請に基づき職員を派遣して応える。	○		○		○	11104と同じ	○	11104と同じ	文化財課
11304	静岡市地図編集委員会・社会科副読本改訂委員会	社会科学習に生かすため静岡市の地図を作成し、地域学習の充実を図ると共に、郷土及び地域学習に必要な社会科副読本を作成し、社会科指導の充実を図る。	○		○		○	静岡市内、小学校3年生、中学校1年生全児童生徒に配布した。同時に、来年度の改訂に備え、新版の企画案を作成した。	○	平成22年度版小中学校社会科地図の改訂編集を行い、市内全小3・中1児童生徒に配布した。副読本については、小学校で大改訂(初版)、中学校で小改訂(第6版)を行い、それぞれ児童生徒に配布した。	学校教育課
11305	総合学習や調べ学習の援助	小中学校の総合学習や調べ学習において参考となる資料の提供、援助を行う。	○		○		○	夏休み推薦図書等を提供。各学校を対象に調べ学習用の図書を貸し出す「学校協力貸出」を実施した。	○	『学校用図書館利用案内』を作成提供するとともに、各学校を対象に調べ学習用の図書を貸し出す「学校協力貸出」を実施した。	中央図書館
方向 2	伝統ある文化の伝承の支援										
方策 1	伝統文化に対する意識の向上(地域に根づく文化を理解し、保存・継承の意識を高める)										
12101	指定文化財データベース作成事業	指定民俗文化財について、伝承・保存の実態を把握するためにデータベース化する。	×	基礎データを収集している段階。	×	基礎データを収集している段階。	○	11101と同じ	○	11101と同じ	文化財課
12102	スペシャリスト派遣事業	本市の第一線で活躍する様々な専門家や達人を講師に招き、生き方や専門的知識・技術力に学ぶ。	○		○		○	小中学校にスペシャリストとして登録されている能や駿河竹千筋細工などの伝統芸能や伝統工芸士などの講師を派遣し、特別授業を実施した。	○	41校で50件実施した。本市の第一線で活躍する伝統文化の達人等から生き方や専門的知識・技術力に学ぶ機会は、児童生徒に夢を与え、学ぶことの意味や楽しさを実感させることに効果を上げている。	学校教育課
12103	民間教育力活用事業	児童・生徒の必要に応じて校外の教育資源を活用する。	○		○		○	小中学校が、地域の人を昔の遊びや戦争体験などの講師として招くなど、民間の教育力を積極的に活用するための支援を行った。	○	市立小中学校でのべ約2500人の民間教育力が活用された。地域の文化を継承している人々の技に触れたり、指導を受けたりする体験は子どもたちに大きな感動を与え、学びを広げ深めることに効果を上げている。	学校教育課
12104	ふるさと文化再興事業	民俗関係の遺産について調査し映像記録を行い、伝承者の育成を援助する。	○		○		×	国庫補助事業・・・申請したが採択されなかった。	○	該当する民俗文化財の基礎資料収集にあたっている。	文化財課
12105	伝統文化財保存伝承事業	写真、文字、映像により、記録するとともに事業の冊子を作成する。	○		○		○	伝統文化ガイドブック「藁科川流域の民俗行事」発行	○	伝統文化ガイドブックのデジタル化を実施	文化財課
12106	伝統文化調査事業	海の民俗誌など地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	×	予算化されなかったため。	○		○	海岸部緊急歴史民俗調査事業の一環として資料収集中(5年事業の2年目)	○	海岸部緊急歴史民俗調査事業の一環として資料収集中	文化財課
12107	印刷物による記録、保存の推進	伝統文化に関する資料を収集し、保存する。	○		○		○	全館で伝統文化に関する資料を収集し、保存した。	○	伝統文化に関する資料を収集し、保存した。	中央図書館
方策 2	伝統文化の継承と支援(伝統文化継承者や団体の育成と活動への支援を図る)										
12201	文化財保護審議会事業(再掲)	民俗・伝統文化継承者にかかる指定候補物件の調査を行う。	○		○		×	20年度では民俗・伝統文化継承者に該当する指定候補がなかった。	×	21年度では民俗・伝統文化継承者に該当する指定候補がなかった。	文化財課
12202	ふるさと文化再興事業(再掲)	民俗関係の遺産について調査し、映像記録を行い報告書を刊行する。	○		○		○	12105、12106と同じ	○	12105、12106と同じ	文化財課
12203	伝統芸能公演への支援	市主催の発表機会を提供する。	○		○		○	市主催ではないが、「羽衣まつり」開催に補助金を交付することにより、地元保存会による「羽衣の舞」の奉納や、清水第五中学生徒による能の発表といった、伝統芸能の発表機会を支援している。	○	「羽衣まつり」開催時に地元保存会による「羽衣の舞」の奉納や、清水第五中学生徒による謡や舞を披露した。	文化振興課
12204	指定文化財保存活用補助金交付事業	有形・無形の市指定民俗文化財の保存団体に対して助成する。	○		○		○	7件の指定民俗文化財保存団体に助成を行った。	○	7件の指定民俗文化財保存団体に助成を行った。	文化財課

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
方策 3	伝統文化事業の推進(伝統芸能事業や民俗芸能事業の開催を通じて伝統文化への愛着を育む)										
12301	日本古典伝統文化公演開催事業	日本の古典伝統文化である能や歌舞伎の公演を開催、支援する。	○		○		○	静岡市民文化会館にて松竹大歌舞伎を、清水区三保にて三保羽衣薪能を開催した。	○	文化会館にて松竹大歌舞伎を、清水区三保にて三保羽衣薪能を開催した。	文化会館 文化振興課
12302	伝統文化講座や学習会の開催及び推進事業	日本の伝統文化である茶道や能楽に触れる学習会の開催を推進する。	○		○		○	「伝統文化寺子屋」を文化振興財団へ委託実施し、小中学生とその保護者を対象に、茶道、能楽、謡等の伝統文化に触れる学習会を実施した。	○	「伝統文化寺子屋」を文化振興財団へ委託し、小中学生とその保護者を対象に、茶道、能楽、謡等の学習会を実施した。	文化振興課
12303	日本古典芸能公演事前講演会開催事業	能や歌舞伎公演に付随し、より公演に親しむための講演会を開催する。	○		○		○	松竹大歌舞伎では事前講演会を開催、三保羽衣薪能では能楽教室を開催した。	○	松竹大歌舞伎、三保羽衣薪能において、事前講演会を開催した。	文化会館 運営委員会
12304	講座の開催(再掲)	伝統文化の学習機会を提供する。	○		○		○	小学生を対象に寄席を学ぶ「夏休み親子演芸 三太と遊ぼうスズメの唄」など、全16事業を実施	○	「歌舞伎を楽しむ為の入門講座」など、全7事業を実施した。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
12305	伝統文化財保存伝承事業(再掲)	地域に根ざす文化行事を、市ホームページ等で広報し、冊子で紹介する。	○		○		○	12105と同じ	○	12105と同じ	文化財課
12306	民俗文化学習事業	地域に伝承されてきた民俗芸能や行事についての講座を開催する。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	×	事業予算が予算化されなかった。	○	11103と同じ	文化財課
12307	伝統文化調査事業(再掲)	地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	○		○		○	12106と同じ	○	12106と同じ	文化財課

文化振興ビジョン〔第1期実施計画〕 進捗状況調査票(211~214)

個性あるしずおか文化の創造と継承囚が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して												
目標	2 地域性豊かな市民文化の創造											
方向	1 多彩な市民文化活動の支援											
方策	1 文化活動への助成(団体・個人の活動を支援し、活性化を図る)											
事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課	
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由		
21101	文化活動支援事業	市民による文化事業を共催、後援し、支援する。	○		○		○	静岡音楽館で「第13期リコーダーアンサンブル講座」を共催した他、様々な文化事業の後援名義使用を許可し、広報活動等の支援をした。	○	静岡音楽館:「リコーダーアンサンブル講座」を共催した。文化振興課:様々な文化事業の後援名義使用を許可し、活動の支援に努めた。	静岡音楽館 文化振興課	
21102	表彰事業	芸術家の発掘や紹介するための芸術文化奨励賞等の顕彰事業や国、県への表彰推薦事業を行う。	○		○		○	広報しずおか、市ホームページ等含む各文化施設等へ推薦募集を行い、候補者を募り、審査の結果、受賞者を決定。市長室にて授賞式を開催し、報道周知を実施。平成20年度は、華道部門、音楽・太鼓部門の2名が受賞。	○	広報、市ホームページ等への掲載や、各文化施設等への推薦募集を行い、候補者を募り、審査の結果、受賞者を決定。市長室にて授賞式を開催し、報道周知を実施。平成21年度は音楽部門【チェンバロ】1名が受賞	文化振興課	
21103	活動場所確保の支援	文化活動場所確保のための支援を行う。	○		○		○	市民文化活動に伴う公園等施設の使用希望に対し所管部署への協力を依頼した。	○	市民文化活動に伴うふれあいホールや公園等の利用が行えるよう副申を行った。	文化振興課	
21104	活動拠点の提供	市が所管する文化・学習施設の貸館事業を、適正かつ安定的に行う。	○		○		○	①文化振興課:各文化施設において、文化団体等の利用希望に対し、一年前から抽選等により公平な利用方法を実施している。 ②生涯学習推進課:生涯学習施設について、例規等及び事務マニュアルに従い適正に実施。	○	・各文化施設において、文化団体等の利用希望に対し、一年前から抽選等により公平な利用方法を実施している(文化振興課) ・生涯学習施設について、例規等及び事務マニュアルに従い適正に実施している(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館、旧生涯学習課)	
21105	文化活動発表機会提供事業	市内で文化活動を行う個人や団体の発表会を開催する。	○		○		○	第6回静岡市民文化祭を開催した。	○	第7回静岡市民文化祭を開催した。	文化振興課(委託)	
21106	文化活動補助事業	全国大会等に出場する個人・団体や市民が主催する文化活動への補助金を交付する。	○		○		○	静岡市民または静岡市を活動の拠点とする団体で、東海大会以上の出場者1名につき2,000円、全国大会出場者1名につき3,000円を予算の範囲内で交付した。平成20年度実績は、34団体、855人に交付。	○	静岡市民または静岡市を活動の拠点とする団体で、東海大会以上の出場者1名につき3,000円を予算の範囲内で交付した。平成21年度実績は19団体、727名に交付。	文化振興課	
21107	文化団体の充実・育成事業	静岡市文化協会と蒲原町文化協会の融合を支援する等市内文化団体の活動を充実させ、団体を育成する。	○		○		○	平成18年、旧蒲原町文化協会は静岡市文化協会に加入し、静岡市文化協会を引き続き支援している。	○	融合をめざし、平成18年に旧蒲原町文化協会は静岡市文化協会に加入した。その活動を引き続き支援した。	文化振興課	
21108	ボランティア活動支援事業	竹久夢二研究会等自主的に文化活動開催するボランティア活動を推進する。	○		○		○	竹久夢二研究会と協力し、年2回(4月・11月)、清水区蒲原の旧五十嵐邸にて竹久夢二展を開催した。	○	竹久夢二研究会と協力し、年2回(4月・11月)、清水区蒲原の旧五十嵐邸にて竹久夢二展を開催した。	文化振興課	
21109	文化事業開催支援事業	静岡市民芸術祭等市民による音楽、美術、舞台芸術、科学分野の事業の開催を支援する。	○		○		○	第4回静岡市民芸術祭を開催した。	○	第5回静岡市民芸術祭を開催した。	文化振興課	
21110	市民文化の日創設事業	(仮)市民文化の日を創設し、市内文化事業を集中開催し、これに参加し楽しみ・学び・夢を描く場を意図的に作り、静岡の文化を市民が考え受け止める場を創る。	×	文化振興ビジョンで謳っている「主体別の役割と協働」の達成をもって創設としたい。	×	文化振興ビジョンで謳っている「主体別の役割と協働」の達成をもって創設としたい。	×	文化振興ビジョンで謳っている「主体別の役割と協働」の達成をもって、創設したいと考えている。	×	文化振興ビジョンで謳っている「主体別の役割と協働」の達成をもって、創設したいと考えている。	文化振興課	
21111	音楽文化振興企画の募集	静岡県を中心に音楽活動を続けている演奏家、演奏団体からコンサート企画を募集、それを選考委員会が審査をし、合格者の企画を開催する。	○		○		○	第10回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」で合格した、「大木麻里オルガン・リサイタル」「柴山晴美ソプラノ・リサイタル」の2企画を実施。また、21年度同事業に応募させた企画の審査を行った。	○	第11回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」で合格した、「横山靖代・小森輝彦ジョイント・リサイタル」「中村真紀子・ヴァイオリン・リサイタル」の2企画を実施した。また、22年度同事業に応募させた企画の審査を行った。	静岡音楽館	
21112	国・県の文化補助事業の活用推進	国・県・他団体による文化事業補助事業の活用と利用を呼びかけるため、情報コーナーを設ける等周知する制度を推進する。	○		○		○	平成18年度より、政令指定都市移行に伴う新規事業として、文化庁への「新進芸術家海外留学制度」の候補者推薦を実施。平成20年度は、1人推薦。	×	平成18年度より、政令指定都市移行に伴う新規事業として、文化庁への「新進芸術家海外留学制度」の候補者推薦を実施。平成21年度は申込者なし。	文化振興課	

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
21113	駿府本山お茶まつり事業	本市の基幹産業であるお茶の振興を図るため、地元の生産者から、流通、小売業者までが一体となって、静岡本山茶の消費拡大を図り、お茶に関する文化、歴史的考察を含めた各種イベント等を実施する。	○		○		○	茶詰めの際、お茶づくり体験教室、消費拡大イベント、口切りの儀等計画どおりの事業を実施し、お茶の振興を図った。	○	春のお茶づくり体験教室(4月)、茶詰の儀(5月)、秋のお茶づくり体験教室(9月)お茶壺道中行列・口切りの儀(10月)、お茶まつり(11月)等のイベントを実施し、本山茶の消費拡大、文化の伝承等を図った。	農業振興課
21114	清水お茶のまちづくり事業	地元の生産者、流通関係者及び消費者の一体的な取組みにより、新しいお茶の文化を創造しながら地産地消を軸とした清水ならではの「お茶のまちづくり」を進める活動を実施する。	○		○		○	「地元茶でもてなす会」を開催し、市民を対象に地元茶の紹介や呈茶、茶歌舞伎等を行った。また、地域ブランド茶「まちこを最初に味わう集い」や茶摘み体験イベントを実施した。	○	まちこ畑での茶摘み、まちこを最初に味わう集い、清水茶産地巡り、地元茶でもてなす会など、会員・市民向けの活動の他、ブランディングのための「まちこプロジェクト」、FOODEX JAPANへの出展など、清水のお茶のブランド化、お茶のまち清水のPRを行った。	農業振興課
21115	茶手揉み保存事業	茶の製造技術の原点である手揉製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉実演などの事業を行う。	○		○		○	やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業や新茶初取引等各種イベントでの手揉実演を実施した。	○	手揉競技会への参加や講習会の実施等により手揉製茶の保存と向上を図り後継者を育成するとともに、茶会や学校・イベントでの手揉実演などの事業を行った。	農業振興課
21116	市民活動センターの運営	市民活動団体に関する情報収集、情報誌の発行、相談業務、講座の開催等、市民活動を支援する施設の運営。	○		○		○	◎番町市民活動センターは整備中。 ◎清水市民活動センターは継続。	○	番町市民活動センターは平成21年10月に開館。清水市民活動センターは平成22年度からの指定管理者を募集選定。	市民生活課
21117	協働パイロット事業	新しい協働事業の創出や協働推進のためのノウハウの取得を図る。	○		○		○	12事業の応募があり、4事業を採用・実施。	○	10事業の応募があり、4事業を採用。3事業を実施。	市民生活課
21118	市民活動協働市場事業	市民活動団体と市の双方が相互に提案を行う「協働市場」を通じて協働事業を創出する。	○		○		○	2事業の応募があったが、採用なしの予定。	×	募集は行っていたが、応募がなかったため未実施。	市民生活課
21119	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、市民の文化活動の支援をする。	○		○		○	選書基準により図書を購入・配架し、市民への情報の提供を行った。	○	図書館資料を収集・保存し、貸出・レファレンスサービス等とおして、市民の文化活動の支援を行った。	中央図書館
21120	読み聞かせボランティア養成講座	地域で活躍できる、読み聞かせボランティアを養成する(全5回)。	○		○		○	南部図書館において5回実施した。	○	読み聞かせボランティア養成講座を実施した。	中央図書館
21121	パソコンボランティア養成	視聴覚センターパソコン講座のボランティアの活動を支援する。	○		○		○	16名のボランティアに講座等の講師補助をお願いしている。	○	視聴覚センターで開催するパソコン講座において、講師補助として活動していただいた。	中央図書館(視聴覚センター)
21122	視聴覚センター貸館業務	活動をするサークル・団体に視聴覚ホールや研修室の貸出をする。	○		○		○	1月末時点で191件の貸出しを行った。	○	文化活動を行うサークル・団体等に視聴覚ホールや研修室の貸出しをした。	中央図書館(視聴覚センター)
21123	視聴覚機材・教材貸出業務	16ミリ映写機、フィルム等の視聴覚機材・教材の団体貸出をする。	○		○		○	1月末時点で10件の貸出しを行った。	○	16ミリ映写機、フィルム等の視聴覚機材・教材の団体貸出しを行った。	中央図書館(視聴覚センター)
21124	主催イベント ロビーコンサート	主催イベント時にロビーコンサートに市民が出演できる機会を提供する。	○		○		○	竜爪中学校吹奏楽部による「西奈音楽館 サマーコンサート」など、全25講座を開催。	○	各生涯学習施設において、地域団体等と協働で行うことにより出演機会を提供している。	生涯学習推進課(旧生涯学習課)
方策 2	人材・組織の育成(文化活動を担う人材・組織を育成し、活動を支援する)										
21201	芸術家・文化人の発掘と支援事業	オーディションを開催し、市内の芸術家や文化人を発掘し、その活動を支援する。	○		○		○	第13回「静岡の名手たち」オーディションを開催、合格者たち7組によるコンサートを実施した。合格者には、その後もHotひといきコンサート等、他事業への出演機会を与えている。	○	第14回「静岡の名手たち」オーディションを実施した。また、オーディション合格者7組によるコンサートを行った。	静岡音楽館
21202	文化事業の推進・運営を利用者自身で行うシステムの導入	助成金制度活用を促進するほか、後援名義申請のご案内により事業推進を支援する。	×	市民ニーズの把握に努めていく必要があるため。	×	市民ニーズの把握に努めていく必要があるため。	○	各種助成金のお知らせをカウンターに設置するなどし、助成金制度活用を促進するほか、後援名義申請のご案内をし、事業推進を支援した。	○	各種助成金のお知らせをカウンターに設置するなどし、助成金制度活用を促進するほか、後援名義申請のご案内をし、事業推進を支援した。	文化振興課
21203	地域の芸術家・文化人育成事業	市民による実行委員会形式の文化事業の自立促進を目指すため、市内の芸術家や文化人を育成する事業を実施する。	○		○		○	実行委員会と共催で「第13期リコーダーアンサンブル講座」を開催。自主事業「ピアノ伴奏法講座」では、聴講生も含めた育成事業を実施した。	○	聴講生も含め、「リコーダーアンサンブル講座」、「ピアノ伴奏法講座」等育成に努めた。	静岡音楽館

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
21204	人材・団体のデータベース化	市内の文化人や団体の紹介を記したデータベースを作成する。 (生涯学習施設利用団体のサークルリストの作成、窓口での紹介。)	×	基礎データを収集している段階。	×	基礎データを収集している段階。 (文化振興課) 現在保有している人材情報が個人情報保護条例に則った情報収集に基づいたものではないため、そのままではデータの表示が困難なため。 (生涯学習課)	×	①文化振興課:基礎データを収集している段階。 ②生涯学習推進課:各生涯学習施設で活動している、文化団体のリストを作成し、窓口にて紹介する。	×	・基礎データを収集している段階(文化振興課) ・各生涯学習施設で活動している、文化団体のリストを作成し、窓口にて紹介する。	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館、旧生涯学習課)
21205	芸術家など文化を担う人や団体の交流場所の提供	芸術家など文化を担う人が交流する機会や場所を提供する。	○		○		○	ストリートフェスティバル等イベントの開催及び市民大音楽祭等の開催に対する支援を実施した。	○	「ストリートフェスティバル」「市民大音楽祭」等の開催を支援した。	文化振興課
21206	ボランティア活動推進事業	科学館の展示物説明やイベント事業支援のためのサイエンス・ナビゲーターを養成する等、文化事業開催にあたり、ボランティアを養成する。	○		○		○	科学館の展示物説明やイベント事業支援のためのサイエンス・ナビゲーターを募集し継続した養成活動を実施した。	○	静岡科学館の展示物説明やイベント事業支援のためのサイエンス・ナビゲーターを募集し、養成した。	静岡科学館
21207	文化施設協力スタッフ養成・活用事業	市内で開催される文化事業へのボランティア参加募集やその参加者を養成する事業を実施する。	○		○		○	静岡科学館での「サイエンスナビゲーター」の募集、養成 静岡音楽館での「静岡音楽館AOIボランティア」の募集 あれあい音楽事業「歓喜の歌大演奏会」のボランティアの募集	○	・「サイエンスナビゲーター」を募集し、養成した(静岡科学館) ・「静岡音楽館AOIボランティア」を募集し、養成した(静岡音楽館) ・「歓喜の歌大演奏会」:ボランティアを募集し活動した(ふれあい音楽事業)	静岡科学館 静岡音楽館 文化振興課
21208	来・て・こ絵本の部屋	主催講座で学んだ絵本の読み聞かせボランティアが毎月読み聞かせ会を行う。	○		○		○	毎月第4月曜日に10:30～11:40までおはなし会を開催している。	○	毎月1回午前中、おはなし会を開催している。	生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
21209	文化事業企画制作者の育成	指導者養成講座を開催し、文化事業を企画する個人、団体、指導者を育成する。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	○	文化振興財団において、職員を随時研修し、指導者の育成に努めた。	文化振興課
21210	学芸員実習の受け入れ	大学等で学芸員資格取得を目指す学生に対し、現場での実習の機会を提供する。	×	学芸員実習の受け入れ要望が無かったため。	○		○	静岡科学館では全国の大学からの要望に答え、積極的に受け入れて現場実習を行った。	○	静岡科学館において、全国の大学からの要望に答え、積極的に受け入れて現場実習を行った。	静岡科学館
21211	まちづくりへの意識改革	文化事業等によるまちづくりを意識するシンポジウムを開催する。	○		○		○	文化事業等への参加を通してまちづくりを意識してもらった。	○	文化事業への参加、清水文化センターの建替えをとおしてまちづくりを意識してもらった。	文化振興課
21212	指定管理者制度の導入	指定管理者による文化施設専門事業の展開を図る。	○		○		○	本市所管の文化施設については、市民ギャラリーを除き指定管理者制度を導入済み。	○	文化振興課所管の文化施設について、市民ギャラリーを除き指定管理者制度を引き続き導入した。	文化振興課
21213	講座の開催(再掲)	静岡音楽館、静岡アートギャラリーや市民団体等と共催により講座を開催する。	○		○		○	「アイセルアートサロン 美術館を楽しもう(全4回)」など、全20事業を実施。	○	NPO、市民団体、他機関との共催事業を実施している。276講座	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
21214	茶手揉み保存事業(再掲)	茶の製造技術の原点である手揉製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉実演などの事業を実施する。	○		○		○	やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業や新茶初取引等各種イベントでの手揉実演を実施した。	○	手揉競技会への参加や講習会の実施等により手揉製茶の保存と向上を図り後継者を育成するとともに、茶会や学校・イベントでの手揉実演などの事業を行った。	農業振興課
21215	人材養成塾	主体的にまちづくりに関わっていける人材を養成する。	○		○		○	社会的な問題を解決しながら生計を立てる「社会企業家」を育成する地域シゴトの学校を実施。全26回、31人受講し、27人修了した。	○	社会起業家の視点とスキルを持ち、「まちや社会を変えよう、という情熱をもって自ら行動する人」を育成する地域シゴト学校を実施。28人受講し、26人修了した。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
方策 3	生涯学習活動への支援(生涯を通じて文化と触れ合える環境をつくる)										
21301	市民が参加できる文化事業の推進	おやこ書道展や公募写真コンテストを開催し、一般市民が気軽に参加できる公募展や舞台公演開催事業を推進する。	○		○		○	①文化振興課:「親子書道展」の開催に対して補助金を交付した。静岡科学館で「自然ふれあい写真展」を開催し、500点を超える応募があり3,000人もの来場者があった。 ②生涯学習推進課:生涯学習施設のロビー展等展示スペースでの作品展や、生涯学習施設まつり等での学習活動の発表を行った。	○	・「親子書道展」の開催を支援した(文化振興課) ・「自然ふれあい写真展」を開催した(静岡科学館) ・生涯学習施設のロビー、展示スペースでの作品展や、生涯学習施設まつり等での学習活動の発表を行った(生涯学習推進課)	文化振興課 静岡科学館 生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
21302	市民と一体となった文化事業の促進	運営から出演者まで、市民との協働で行われる文化事業を促進する。	○		○		○	「羽衣まつり」やふれあい音楽事業で「音楽の祭典」「市民による歓喜の歌大演奏会」等を開催した。	○	「羽衣まつり」や、ふれあい音楽事業で「音楽の祭典」「市民による歓喜の歌大演奏会」等を開催した。	文化振興課
21303	幅広い年齢層との文化事業の連携事業の開催	主催事業において、老人や地域学生と連携した事業を開催する。	○		○		○	①文化振興課:静岡アートギャラリーにおいて、地域学生との連携を図り、展覧会関連事業「エキパディスプレイ」を実施した。 ②生涯学習推進課:大里生涯学習センターと大里中学校の連携による活動発表会「フィエスタ大里」など全15事業を開催。	○	・地域学生との連携を図り、展覧会関連事業「エキパディスプレイ」を実施した(静岡アートギャラリー) ・地域大学生との連携による体験学習講座など11事業を開催した(生涯学習推進課)	静岡アートギャラリー 生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
21304	世代間交流事業の推進	大人のための鑑賞、科学教室を開催する等、多くの年齢層が一堂に集い、互いに刺激あう文化事業を推進する。	○		○		○	静岡科学館において、「大人の科学教室」を行った。(対象15歳以上) 静岡アートギャラリーにおいて、展覧会関連事業「あなたとここでみるツアー」により、世代を超えた交流を行った。	○	・「あなたとここでみる展示会」を開催した(静岡アートギャラリー) ・「大人の科学教室」を実施した(静岡科学館)	静岡アートギャラリー 静岡科学館
21305	教員の在住地域での活動の奨励と推進	教員が在住している地域の公民館や学校で、子どものための各種講座を教員が公民館と連携してコンソーシアムを形成し、実施する。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	○	教員OBが教え子とジョイントコンサートを実施し、母校の生徒が参加し、合唱した。	文化振興課
21306	市民主体の情報発信、受信のシステムづくり	文化団体間や文化団体と個人の情報交換のシステムを創出する。	×	事業の条件整備、個人情報の保護等、再検討の必要性があるため。	×	事業の条件整備、個人情報の保護等、再検討の必要性があるため。	×	事業の条件整備、個人情報の保護等、再検討の必要性があるため。	×	事業の条件整備、個人情報の保護等、検討の必要性があるため。	文化振興課
21307	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、生涯学習活動を支援する。	○		○		○	図書の閲覧・貸出により情報提供を行った。また、生涯学習交流館図書室への支援について所管課と協議を進めた。	○	図書館資料を収集・保存し、貸出・レファレンスサービス等とおして、市民の生涯学習活動の支援を行った。	中央図書館
21308	各種講座、映画会の開催	視聴覚機器の利用指導講座、パソコン講座、その他文化講座、映画会等を実施する。	○		○		○	45事業、286コース実施中	○	視聴覚機器の利用指導講座、パソコン講座、その他文化講座、映画会等を実施した。	中央図書館 (視聴覚センター)
21309	ワークショップなど展覧会の関連事業の開催	ワークショップなど展覧会の関連事業を実施する。	○		○		○	年間を通して、ミュージアム教室、ワークショップなど展覧会の多様な関連事業を積極的に実施した。	○	年間を通して、ミュージアム教室、ワークショップなど展覧会の多様な関連事業を積極的に実施した。	静岡アートギャラリー
方策 4	豊かな心をつちかう教育への支援(教育を通じて文化と触れ合う機会を創出する)										
21401	学校と連携した文化教育プログラムの実施	学校内の音楽会や合唱祭を共催する等、音楽・美術・舞台芸術・科学の分野で学校と連携した事業を展開する。	○		○		○	静岡音楽館:校内音楽会の共催 静岡アートギャラリー:学校と美術館とのネットワークの充実。ティーチャーズレクチャーとしてのミュージアム教室開催 静岡科学館:静岡大学等との連携事業を実施	○	・学校と校内音楽会を共催した(静岡音楽館) ・ティーチャーズレクチャーとしてのミュージアム教室を開催した(静岡アートギャラリー) ・静岡大学等との連携事業を実施した(静岡科学館)	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館
21402	次代の鑑賞者の育成を図る事業の展開	子どものための音楽ひろば等、ワークショップ、教室、講座の開催を通じて、芸術文化への子供たちの意識を高める事業を行う。	○		○		○	静岡音楽館での「子どものための音楽ひろば」の開催 静岡アートギャラリーでの「ミュージアム教室」の開催 静岡科学館での「サイエンスショー」の開催	○	・「子どものための音楽ひろば」を開催した(静岡音楽館) ・「ミュージアム教室」を開催した(静岡アートギャラリー) ・「サイエンスショー」を開催した(静岡科学館)	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
21403	こどもたちが本物の芸術に触れる機会の創設	学校独自で実施する芸術鑑賞教室、講座を支援する。	○		○		○	科学館：学校に訪問し「移動科学館」を開催 音楽館：学校に訪問し、コンサートの開催	○	・学校に訪問し「移動科学館」を開催した(静岡科学館) ・学校に訪問し、コンサートを開催した(静岡音楽館)	文化振興課
21404	本物の舞台芸術体験事業	プロの舞台芸術家との連携による発声や演技の指導講座を開催する。	○		○		○	静岡市内6校の小中学校で実施した。我が国の文化のすばらしさを感じ取り舞台芸術への関心を高めることができた。	○	・南藁科小(音楽劇鑑賞) ・清水和田島小、久能小、足久保小(オーケストラ) ・梅ヶ島中(能楽) ・清水小河内小(ミュージカル)	学校教育課(文化庁)
21405	芸術鑑賞機会の充実	出張コンサートやほっとひといきコンサートを開催し、いつでも、どこでも気軽に芸術文化の鑑賞ができる機会を提供する。	○		○		○	静岡音楽館による「どこでもAOI出張コンサート」の開催 静岡アートギャラリーによる「ギャラリートーク、ワークショップ」の開催 「Hotひといきコンサート」の開催	○	・「どこでもAOI出張コンサート」を開催した(静岡音楽館) ・「ギャラリートーク」、「ワークショップ」を開催した(静岡アートギャラリー) ・「Hotひといきコンサート」を開催した(文化振興課)	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 文化振興課
21406	文化・学習施設と学校との連携の支援	市内文化・学習施設と学校との連携を強化し、その推進を図る。	○		○		○	アートギャラリー：ミュージアム教室の実施。学校単位の鑑賞の際、学芸員による解説案内。 科学館：学校単位のサイエンスショーの開催	○	・学校単位の鑑賞の際に、学芸員による解説案内を実施した(静岡アートギャラリー) ・サイエンスショーを学校単位の開催した(静岡科学館)	静岡アートギャラリー 静岡科学館
21407	お茶の美味しい入れ方教室	小学校における総合学習の時間を利用し、本当のお茶の味を覚え葉っぱで飲むお茶習慣を養わせることを目的に日本茶インストラクターによるお茶の入れ方教室を開催する。	○		○		○	計画どおりの内容で実施した。 実施校：48校、実施時限数：122時限、実施人数：3,752人	○	日本茶インストラクターを講師として平成21年9月～22年1月に実施し、49校の3932人がお茶の入れ方を学んだ。	農業振興課
21408	小学生「闘茶キング」選手権大会	次代を担う子どもたちに本市の特産であるお茶への関心を感化することを狙いに市内小学校や公民館を会場に実施する闘茶体験講座や闘茶大会を開催する。	○		○		○	小学生の闘茶大会を開催し、子供のころから茶文化にも触れ、本市の特産であるお茶への関心を高めた。	○	生涯学習施設等と共催で年10回計170人を対象に闘茶体験教室を開催するとともに、11月8日に小学生闘茶キング選手権を開催し93人が参加した。	農業振興課
21409	講座の開催(再掲)	学校と連携した講座を開催する。	○		○		○	学校を会場とした家庭教育学級を全8学級実施。	○	学校を会場とした家庭教育学級を7学級実施。	生涯学習推進課(旧中央公民館)
21410	公開講座の開催	公開講座を開催する。	○		○		○	女性学級や高齢者学級で実施している事業を一般にも公開する。「みのり大学公開講座 劇団あしたばによる演劇公演」ほか全18講座実施。	○	女性学級、高齢者学級で実施している事業を一部一般にも公開している。	生涯学習推進課(旧中央公民館)
21411	地場産品体験学習事業	本市の地場産産を学ぶ小学4年生が、授業の一環として駿府匠宿で体験学習を行う際に補助を行う。	○		○		○	実施状況 54校 4,576人 (葵 22校 1,344人) (駿河 17校 1,858人) (清水 15校 1,374人) 補助金額 7,210,743円	○	・実施状況 52校 4,109人	地域産業課
21412	小学生スタジオ番組制作事業	小学生が企画した番組をスタジオを利用して制作する体験をする。	○		○		○	7月26、28、29、30日、8月1日の5日間で実施。6名参加。	○	小学生スタジオ番組制作体験講座を開催した。	中央図書館(視聴覚センター)



文化振興ビジョン〔第1期実施計画〕 進捗状況調査票(221~224)

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して												
目標	2 地域性豊かな市民文化の創造											
方向	2 文化活動の環境整備											
方策	1 文化基盤整備の検討(文化を意識したまちづくりを展開する)											
事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課	
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由		
22101	目的別文化施設(施設の差別化)の検討	(仮)文化施設建設検討委員会等を設置し、文化施設の目的を整理し、役割を明確にし、今後の施設建設を検討する。	○		○		○	①静岡市新美術館準備検討委員会 ②静岡市民文化会館運営委員会にて検討した。	○	静岡市民文化会館運営委員会にて検討した。	文化振興課	
22102	行政における文化的視点の導入促進	庁内組織に文化的視点を盛り込んだまちづくりが図れる体制を設ける検討を行う。	×	他市情報を収集している段階。	×	情報を収集している段階。	×	情報を収集している段階。	×	情報を収集している段階	文化振興課	
22103	住民意見の反映による文化事業の展開	市民の意見を反映した文化施策が展開できる体制を整える。	○		○		○	①静岡市新美術館準備検討委員会 ②清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業実施方針を公表、利用者団体説明会の実施 ③静岡市民文化会館運営委員会 ④各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	○	・清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業利用者団体説明会の実施 ・静岡市民文化会館運営委員会 ・各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	文化振興課	
22104	多様な市民意識の把握システムの構築	定期的にアンケート調査を行う等、市民の文化施策への意見を把握する方法を検討する。	○		○		○	①静岡市新美術館準備検討委員会 ②清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業実施方針を公表、利用者団体説明会の実施 ③静岡市民文化会館運営委員会 ④各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	○	・清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業実施方針を公表、利用者団体説明会の実施 ・静岡市民文化会館運営委員会 ・各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	文化振興課	
22105	街角の芸術空間の創出	各地域の街角において、芸術文化に関する事業展開を実施する。	○		○		○	①清水文化センター:音楽の祭典②清水三保:羽衣まつり③各区役所ロビー等:HOTひといきコンサート④葵区青葉シンボルロード:ストリートフェスティバル等。	○	・清水文化センター:音楽の祭典 ・清水三保:羽衣まつり ・各区役所ロビー等:HOTひといきコンサート④葵区青葉シンボルロード:ストリートフェスティバル等。	文化振興課	
22106	集客圏の拡大を図るための戦略の検討	文化事業と観光を一体として捉え、集客を目的とした文化事業を検討する。	○		○		○	各文化施設運営の指定管理者事業と連携して検討。平成20年度は、劇団四季ミュージカル「美女と野獣」をロングラン公演。JR東海さわやかウォーキングのコース中に東海道広重美術館が組み込まれた。	○	・各文化施設運営の指定管理者事業と連携して検討。 ・JR東海さわやかウォーキングのコース中に東海道広重美術館が組み込まれた。 ・国民文化祭の開催	文化振興課	
方策	2 文化活動拠点の整備(施設の充実・連携を通じて、文化活動を行う環境を整える)											
22201	魅力溢れる既存文化施設改修事業	高齢者や身障者にやさしい文化施設を目指した施設整備を行う。	×	耐震工事にあわせて、施設のバリアフリー化への改修を実施したいと考えているが、耐震工事自体が二次総に見送られたため。	×	耐震工事にあわせて、施設のバリアフリー化への改修を実施したいと考えているが、耐震工事自体が二次総に見送られたため。	×	市民文化会館耐震工事にあわせて施設のバリアフリー化への改修を実施したいと考えていたが、耐震工事自体が二次総に見送られたため。	○	バリアフリー化に向けて、現状を調査した。	文化振興課	
22202	文化施設耐震化事業	静岡市民文化会館等の耐震工事改修計画を立案する。	×	耐震工事自体が二次総に見送られたため。	×	耐震工事自体が二次総に見送られたため。	×	市民文化会館の耐震工事が二次総に見送られたため。	○	所管の文化施設を一体的に、効率的効果的な修繕計画を立てるため、現状調査を行った。	文化振興課	
22203	充実した施設と備品提供事業	利用者の立場に立った文化施設の備品や設備を充実させる。	○		○		○	各施設について、時代に則した備品の購入及び消耗、老朽化した施設の改修等を実施した。	○	一体的に管理し、効率的効果的に備品の購入及び改修等を実施した。	文化振興課	
22204	文化施設周辺環境整備事業	文化施設の周辺や駐車場や駐輪場等付帯施設の環境を整備する。	○		○		○	静岡市民文化会館及び清水文化センターの駐車場・駐輪場について整備を実施した。	○	文化会館及び清水文化センターの駐車場・駐輪場を整備した。	文化振興課	

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
22205	市民団体の受け皿づくり	市内の文化活動を続けている団体等と連携し、市民中心となる活動の場を整備していく。	×	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	×	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	×	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	×	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	文化振興課
22206	新規文化施設建設検討事業	(仮)静岡市立美術館等の新規文化施設整備の検討や建設を行う。	○		○		○	①(仮)静岡市立美術館整備事業 平成18年度に基本計画策定を実施。 平成19年度に運営実施計画策定を実施。 平成20年度は内装設計を実施。 平成21年度は保留床購入、建築工事着手。 ○清水駅東地区文化施設整備事業 平成18年度に基本構想策定・PFI導入可能性調査を実施。 平成19年度にPFIアドバイザー業務委託・設計・建設・開館を計画。 平成20年度は施設整備及び維持管理・運営事業を実施する民間事業者と事業仮契約を締結。 平成21年度PFI事業契約の締結、モニタリング業務実施	○	①(仮)静岡市立美術館整備事業 平成18年度に基本計画策定を実施。 平成19年度に運営実施計画策定を実施。 平成20年度は内装設計を実施。 平成21年度は保留床購入、建築工事着手。 ②清水駅東地区文化施設整備事業 平成18年度に基本構想策定・PFI導入可能性調査を実施。 平成19年度にPFIアドバイザー業務委託・設計・建設・開館を計画。 平成20年度は施設整備及び維持管理・運営事業を実施する民間事業者と事業仮契約を締結。 平成21年度PFI事業契約の締結、モニタリング業務実施	文化振興課
22207	文化施設の専門的な運営方法検討事業	指定管理者制度の導入や各施設の運営方法を検討する。	○		○		○	静岡市民文化会館、清水文化センター、静岡音楽館、静岡アートギャラリー、静岡科学館において、指定管理者制度を導入しており、年3回モニタリングという形で、運営状況の聞き取り調査、指導を行っている。 静岡市民文化会館及び清水文化センターにおいては、文化会館運営委員会(市民委員在籍)を設置し、運営方法について意見をいただいている。 静岡市民文化会館、清水文化センター、静岡音楽館については、指定管理期間の更新が近づいているため、運営形態の検討、準備を行っている。	○	文化会館・文化センター、静岡音楽館、静岡アートギャラリー、静岡科学館に指定管理者制度を引き続き導入した。新規に静岡市美術館、広重美術館も指定管理制度を導入の準備を進めた。また、本年度より静岡科学館に利用料金制を導入した。 各施設とも年3回モニタリングを行い、運営状況の聞き取り調査や指導を実施した。	文化振興課
22208	施設の共有化	文化施設利用申請の電算化等、施設間のシステムを共有化し、情報や利用手続きの簡便化を図る。	○		○		○	・市民文化会館について、施設利用申請管理システムを整備した。 ・清水文化センターについて、ホームページをリニューアルし情報量を増やした。	○	平成20年度に文化会館に、施設利用申請管理システムを導入済み。	文化振興課
22209	文化施設ネットワークの構築	当課所管文化施設の指定管理者内におけるネットワークの構築を指導している。	○		○		○	駅前3館連携事業を実施した。	○	文化振興財団と連携し、文化情報誌「しずおかイベントニュース」を毎月発行し、広く市民にイベントの情報を発信した。	文化振興課
22210	民間施設との連携	民間施設等と連携し、共催文化イベント開催を検討する。	×	現時点では各当課所管文化施設間の連携を図ることに努力しているため、現況では民間施設との連携には至っていない。	○		○	静岡アートギャラリーで開催されたヨーロッパ油彩画展に合わせ、隣接のホテルがティララウンジでバロックから19世紀の時代にまつわる菓子を提供した。	○	静岡アートギャラリーでの企画展に合わせたメニューを隣接のホテルが提供した。	文化振興課
方策 3	芸術文化の鑑賞機会の充実(芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成する)										
22301	質の高い事業開催の推進	指定管理者制度を導入し、より上質な、音楽・美術・舞台芸術・文学の分野の事業を開催する。	○		○		○	各館において、前年以上に上質な自主事業を実施している。	○	各館において、ノウハウを生かし、上質な自主事業を展開した。また、静岡音楽館においては、新作を委託・演奏し、しずおか文化を発信した。	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
22302	気軽に会える事業の推進	ほっとひといきコンサートの開催等、場所を選ばない文化事業を開催する。	○		○		○	昼休みに静岡庁舎1階ラウンジ等を会場に、クラシック、ジャズ等様々なジャンルの音楽を取り上げ、市民が生演奏の素晴らしさにふれる機会を提供。平成20年度は、静岡駅北口地下広場イベントスペースでも開催した。	○	昼休みに静岡庁舎1階ラウンジ等を会場に、クラシック、ジャズ等様々なジャンルの音楽を取り上げるとともに、静岡駅北口地下広場イベントスペースでも開催した。	文化振興課 静岡音楽館
22303	親子で楽しめる事業の推進	親子のためのコンサートの開催等、年齢を問わない文化事業を開催する。	○		○		○	自主事業に年齢による入場制限を設けない他、「子どものためのコンサート」「子どものための音楽ひろば」など、子どもを対象とした事業を実施。平成20年度は平日の昼間に「ランチタイムコンサート」を開催するなど、様々な年齢層を対象とした事業を開催している。	○	「子どものためのコンサート」「子どものための音楽ひろば」など、親子を対象とした事業を実施した。気軽に参加できる「ランチタイムコンサート」を開催し、鑑賞年齢の拡大に努めた。	静岡音楽館
22304	大型文化事業の開催と招致の検討	上質で長期公演が行える事業を誘致し、文化振興と静岡周辺商業の振興と活性化を図り、市のステータス向上を図る。	×	ロングラン専用劇場を所有していないこと、ロングラン公演に最も適している静岡市民文化会館は一般利用率が多い為、長期間貸し出すことよって一般利用者に弊害がでるため、記念となる事業のみ実施する	×	ロングラン専用劇場を所有していないこと、ロングラン公演に最も適している静岡市民文化会館は一般利用率が多い為、長期間貸し出すことよって一般利用者に弊害がでるため、記念となる事業のみ実施する	○	静岡市民文化会館30周年記念事業として劇団四季ミュージカル「美女と野獣」のロングラン公演を実施した。	○	平成22年度に政令指定都市移行5周年記念事業として劇団四季ロングラン公演「マンマ・ミーア」を実施するよう連絡調整を行った。	文化振興課
22305	文化事業要望調査実施事業	未来の文化事業の対策に反映させるため、アンケート調査やリサーチを継続実施する。	○		○		○	①静岡市新美術館準備検討委員会 ②清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業実施方針を公表、利用者団体説明会の実施 ③静岡市民文化会館運営委員会 ④各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	○	・清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業実施方針を公表、利用者団体説明会の実施 ・静岡市民文化会館運営委員会 ・各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	文化振興課
22306	特色ある自主事業の実施	文化施設による芸術文化事業の開催を推進する。	○		○		○	①文化振興課:各館において、多彩で特色ある自主事業を実施している。 ②芹沢美術館:年間3回の企画展の開催と、各種講演会、生涯学習センターと共催での講座の開催、「美術館でお茶を」等のイベントを実施した	○	・各館の指定管理者が、多彩な芸術文化事業を実施している。(文化振興課) ・年3回の企画展を実施した。(芹沢美術館)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館
22307	鑑賞機会の拡大を図る	小・中学生を対象とした文化事業を企画し、鑑賞機会の拡大を図る。	○		○		○	文化振興課:伝統文化寺子屋の開催 アートギャラリー:各企画展示毎にミュージアム教室開催 音楽館:どこでもAOI出張コンサート、子どものための音楽ひろば開催。 科学館:るくる教室、科学館学習等開催 文化センター:子供向けミュージカルへの児童招待	○	・伝統文化寺子屋を開催した(文化振興課) ・各企画展示毎にミュージアム教室開催した(静岡アートギャラリー) ・どこでもAOI出張コンサート、子どものための音楽ひろばを開催した(静岡音楽館) ・「るくる教室」等学習会を開催した。(静岡科学館) ・子供向けミュージカルへ児童を招待した(文化センター)	文化振興課
22308	新しい文化事業の研究と開催	他都市施設及び各種文化団体の実績や文化系シンクタンクの調査結果を参考にすると、新たな文化事業を研究し、実施する。	○		○		○	アートギャラリー:「木のぬくもり展」では、優れた「木」造形技術を持つ本市の特色を生かし、様々な木造形作品を展示し、木の可能性を示すと共に、心豊かな暮らしの提案を行った。また、展覧会をより広い視野で鑑賞できるよう、市内に残る原生林をガイドの案内により探検するワークショップを実施した。	○	静岡市美術館運営実施計画を策定し、新しいしずおか文化の発信を目指した企画の具体的な準備に取り掛かった。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課	
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由		
22309	しずおかコンテンツバレー構想	静岡市クリエイター支援センターを拠点としたクリエイターの育成、コンテンツ産業の普及啓発及び振興。コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング、国際協業、情報発信事業に対する助成、支援。						○	○	○	○	産業政策課
方策 4	協働による施設の整備と運営(市民との協働を通じた文化施設の整備と運営方法を検討する)											
22401	文化施設整備における市民・民間との協働	文化施設整備手法に市民や民間との協働を取り入れる。	○		○		○	①指定管理者との協働運営 ②文化情報の提供と広報 ③清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業を実施する民間事業者と事業仮契約を締結。	○	・指定管理者との協働運営 ・文化情報の提供と広報 ・清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業を実施する民間事業者とPFI事業契約を締結。		文化振興課
22402	市民文化活動の拠点となる施設運営方法の検討	ボランティアを含む文化活動拠点の運営に市民参加を促進する。	○		○		○	・静岡科学館、静岡音楽館、静岡アートギャラリー関連事業への参加推進	○	・静岡科学館、静岡音楽館、静岡アートギャラリー関連事業への参加推進		文化振興課 静岡科学館
22403	市民による文化活動の環境整備	情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行う。	○		○		○	情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行う。文化振興課、各文化施設、学校へのチラシ、ポスターの配布協力。 事業番号=21101 文化活動支援事業後援名義使用承認等(包含)	○	情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行う。文化振興課、各文化施設、学校へのチラシ、ポスターの配布協力。 事業番号=21101 文化活動支援事業後援名義使用承認等(包含)		文化振興課
22404	市民主体の文化活動施設の提供	眠っている公共施設のフリースペースを生かした文化事業の開催等、新たな文化活動拠点を発掘する市民に対し支援を行う。	○		○		○	市民の問い合わせに対し、文化活動可能な公共施設の紹介や案内を行った。	○	市民の問い合わせに対し、文化活動可能な公共施設の紹介や案内を行った。		文化振興課
22405	ボランティア、サポーターの育成	(仮)文化事業ボランティア登録センターを設置する等、市の文化活動への協力者を育成する。	○		○		○	事業番号=21206 ボランティア活動推進事業(包含) 各文化施設において、自主事業開催に伴い、ボランティア・サポーター募集及び育成を実施。	○	事業番号=21206 ボランティア活動推進事業(包含) 各文化施設において、自主事業開催に伴い、ボランティア・サポーター募集及び育成を実施。		文化振興課
22406	絵本読み聞かせボランティア養成講座	来・て・こで読み聞かせ活動を行うボランティアを養成する。	×	平成17年度に養成したボランティアがグループを結成して活動し始めたため、目的を達したとして事業を終了した。なお、現在の人員以上の受け入れが難しいため、今後の開講については、当分の間、実施しない。		○		○	「子育てやボランティアに生かす～読み語り講座～(全5回)」など全8講座実施。	○	「薬科おはなしボランティア募集(全2回)」など、全5事業を実施した。	生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
22407	市民文化活動参加に対する受け皿づくり	文化団体の市民への周知と団体設立の支援を行う。	○		○		○	市民からの問合せに対し静岡市文化協会や(財)静岡市文化振興財団を紹介。市文化振興課カウンター等に、文化協会が作成した「文化の風」や各種事業のチラシ等を設置し周知をはかった。	○	市民からの問合せに対し静岡市文化協会や(財)静岡市文化振興財団を紹介。市文化振興課カウンター等に、文化協会が作成した「文化の風」や各種事業のチラシ等を設置し周知をはかった。		文化振興課
22408	市民の文化活動の拠点作り	市民の文化活動のよりどころとなる拠点の整備をする。	○		○		○	①(仮称)静岡市立美術館整備事業 ②清水駅東地区文化施設整備事業 ③市民への施設利用募集広報 を実施	○	・(仮称)静岡市立美術館整備事業 ・清水駅東地区文化施設整備事業 ・市民への施設利用募集広報 を実施		文化振興課
22409	互いに高めあう学びのシステムの模索	市民と企業と行政が互いに街づくりに参加するシステムの方法を模索する。	○		○		○	①メセナ活動企業との連携 ②パブリックコメントの実施	○	・メセナ活動企業との連携 ・パブリックコメントの実施		文化振興課

文化振興ビジョン〔第1期実施計画〕 進捗状況調査票(231~233)

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して												
目標	2 地域性豊かな市民文化の創造											
方向	3 地域資源を活かした文化事業の充実											
方策	1 地域資源の発掘と再認識(地域資源を把握し、保護する)											
事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課	
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由		
23101	地域資源の発掘・把握・保護	人材マップ作成等により、地域資源を把握し、これを保護する。(公民館利用団体のサークルリスト作成)	×	音楽館、アートギャラリー等の芸術文化関係の情報について、公民館の人材マップと共有化したいが、個人情報保護の観点からも、実施に至っていない。	×	(文振)	×	(文振)	①文化振興課:音楽館、アートギャラリー等の芸術文化関係の情報について、公民館の人材マップと共有化したいが、個人情報保護の観点からも、実施に至っていない。 ②生涯学習推進課:各生涯学習施設で活動している、文化団体のリストを作成し、窓口にて紹介する。	○	・文化振興財団、文化協会の人材マップを公民館における文化講座・活動に活用した(文化振興課)。 ・各生涯学習施設で活動している市民団体のリストを作成し、窓口にて紹介する(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館)
23102	多彩な地域文化活動の基盤整備	地域資源の基である、人を育てる事業を展開する。	○		○		○	事業番号=23103 地域資源再認識事業(包含) 平野富山や竹久夢二作品等、市が収蔵する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を推進	○	事業番号=23103 地域資源再認識事業(包含) 平野富山や竹久夢二作品等、市が収蔵する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を推進	文化振興課	
23103	地域資源再認識事業	平野富山や竹久夢二作品等、市が収蔵する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を推進する。	○		○		○	4月・11月に旧五十嵐邸にて竹久夢二展を開催。1月末から2月初めに清水文化センターにて平野富山寄贈作品展を開催した。	○	・4月・11月に旧五十嵐邸にて竹久夢二展を開催。 ・1月末に清水文化センターにて平野富山寄贈作品展を開催した。	文化振興課	
23104	地域資源整備事業	美術品台帳を整備する等、市が収蔵する美術品等を管理、修繕、整備し、資源を保存する事業を推進する。	○		○		○	D51型蒸気機関車清掃管理;D51保存会に委託 清水文化センター収蔵庫害虫駆除(平野富山作品);委託 竹久夢二作品収蔵	○	・D51型蒸気機関車清掃管理をD51保存会に、平野富山作品を清水文化センターに管理を委託した。 ・竹久夢二作品の他、静岡市収蔵品を静岡アートギャラリーに管理委託した。	文化振興課	
23105	清水港お茶直輸出100周年記念事業	清水港からお茶を直接輸出して、平成18年5月13日で100年になるため、この機会に先人達の功績を顧みるとともに、本市茶業のさらなる発展をめざし記念イベントを実施する。	○		×		○	当事業は、平成18年5月13日に清水港お茶直輸出100周年を迎える記念事業として実施された。平成18年度の単年度事業であるため、平成19年以降の実施はない。	○	平成18年度に実施済み。	平成18年度事業(実施済)	農業振興課
23206	やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業	日本茶を代表する優良品種「やぶきた」が静岡市において選抜され、平成20年で100年を迎えるため、この偉業を顧みるとともに、伝統ある茶づくりを継承することの意義を広く市民と共有し、その魅力を紹介する記念イベントを実施する。	○		○		○	やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業において献上茶を謹製したほか、お茶の魅力を紹介する記念イベントを実施した。	○	平成19・20年度事業(実施済)	農業振興課	
方策	2 地域資源の整備と活用(地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開する)											
23201	地域資源活用事業	地域資源を活かした舞台芸術・文学事業を開催する。	○		○		○	「羽衣まつり」の一環で、羽衣薪能や羽衣の松や三保の松原を句の題材として募集する「俳句コンペティション」の実施について支援する。	○	「羽衣まつり」の一環として、まつりの内容や三保を句の題材としての「俳句コンペティション」を実施した。	運営委員会 (文化振興課)	
23202	地域資源紹介事業	地域資源(施設・自然・催事)を紹介する事業を行う。	○		○		○		○	随時パンフレット、広報誌等で紹介した。	文化振興課	

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
23203	講座・ワークショップ開催事業	地元を知る講座の開講による意識高揚を図る。	○		○		○	①文化振興課:静岡科学館では、創作教室、ロボット教室、アート教室、科学教室、大人の科学教室等の開催のほか、郷土の科学者講演会等を実施した。 ②生涯学習推進課:地域で活動している団体との協働事業や、地域の散策をし歴史などを学ぶ事業を実施。	○	・創作教室、ロボット教室、アート教室、科学教室、大人の科学教室等の開催のほか、郷土の科学者講演会等を実施した(静岡科学館)	静岡科学館 生涯学習推進課 (旧中央公民館)
23204	地元出身文化人や有識者の活用の検討	地域で活動する文化人を取り上げ、周知させ、その活用を図る。	○		○		○	平野富山寄贈作品展の開催 前田守一作品を「羽衣まつり」ポスター、チラシに活用	○	平野富山寄贈作品展を開催した。また、前田守一作品を「羽衣まつり」ポスター、チラシに活用した。	文化振興課
23205	特色ある地域づくりへの側面的支援	地域の文化活動を行う団体や個人を支援方法を検討する。	○		○		○	事業番号=21101 文化活動支援事業(包含) 事業番号=22403 市民による文化活動の環境整備(包含)	○	事業番号=21101 文化活動支援事業(包含) 事業番号=22403 市民による文化活動の環境整備(包含)	文化振興課
23207	伝統工芸品首都圏PR事業	静岡市伝統工芸品展～伝統工芸技術秀士と若手後継者～の開催					×	平成21年度から実施予定	○	<会期>平成21年6月25日～7月7日 <場所>全国伝統的工芸品センター ・出展者数 秀士33名、若手17名 ・来場者数 7,246人	地域産業課
方策 3	地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化する)										
23301	地場産業との連携事業の推進	地場産業の展示会等と連携した文化事業を推進する。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての、具体的検討がなされないため。	○	各文化施設において農業振興課とお茶会の実施を検討した。また、静岡美術館へ漆組合、蒔絵組合連携による作品の制作を依頼した。	文化振興課
23302	駿府匠宿管理運営	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産業と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	○		○		○	【見込】 ギャラリー企画展 23回 来場者数 320,000人	○	・来場者数 293,180人	地域産業課
23303	駿府楽市地場産品展示コーナー運営	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市地場産品を展示紹介する。	○		○		○	【見込】 特別企画展 29回 来店者数 842,000人	○	・企画展 28回 ・来場者数 632,580人	地域産業課
23304	クラフトマンサポート事業	地場産業界の人材育成・後継者育成のため、技術習得希望者の現場実習に係る経費を指導事業所等に支援する。	○		○		○	短期現場実習支援対象者 3名 長期現場実習支援対象者 4名 独立支援補助金交付対象者 2名	○	・短期現場実習支援者 3名 ・長期現場実習支援者 3名 ・独立支援支援対象者 0名	地域産業課
23305	伝統工芸技術秀士顕彰・PR事業	本市伝統工芸産業に長年従事する技術者の内から、特に優秀な技術を有し、技術の伝承と発展に顕著な功績を有する者を、「静岡市伝統工芸技術秀士」として顕彰すると共にその作品を展示し、伝統工芸を	○		○		○	伝統工芸技術秀士 1名指定 松島 富蔵(指物職人)	○	・顕彰事業 該当者なし ・PR事業 静岡市伝統工芸品展開催	地域産業課
23306	伝統工芸技術保存講習会	本市伝統工芸業界の後継者育成と技術の保存継承を図るため、関係業界に従事している若手技術者に静岡市伝統工芸技術秀士等を講師として技術講習を行う。	○		○		○	講習会5部門実施 延べ日数 漆器 20日、竹工 11日、指物 13日 蒔絵 20日、拭漆 7日	○	・実施状況 5部門 計38名 (漆器7名、拭漆7名、竹工5名、木工10名、蒔絵9名)	地域産業課 (財)静岡産業振興協会
23307	街を紹介する冊子の作成	財団が作成する冊子「まちかど」発行の支援や市内タウン誌への情報提供を行う。	○		○		○	財団が作成する冊子「まちかど」発行の支援や市内タウン誌への情報提供を行っている。	○	財団が作成する冊子「まちかど」発行の支援や市内タウン誌への情報提供を実施した。	文化振興課
23308	商業空間やイベントと融合した文化事業の充実	商店街と音楽、飲食街と展示、など文化と商業の融合が図れる事業を行う。	○		○		○	(財)静岡市文化振興財団が平成19年度からの取り組んでいる「駅前文化ゾーン形成活動」の支援。事業内容は、音楽館、科学館、アートギャラリー利用者、レストラン等の駅周辺の協力店にて割引を可能とし、相互の活性化を図る。	○	静岡音楽館、静岡科学館、静岡アートギャラリー利用者、レストラン等の駅周辺の協力店にて割引を可能とし、相互の活性化を図った。	静岡音楽館 静岡科学館 静岡アートギャラリー
23309	地元企業とのイベント共催システムの確立	地域企業と連携した文化事業の募集やメセナ事業を展開する。	○		○		○	科学館:静岡新聞社と共催による「科学特捜隊」を実施。 文化会館:劇団四季「美女と野獣」ロングラン、NHK交響楽団誘致等実施。	○	・市民文化祭において、静岡フィルハーモニーをふれあい音楽祭において、清水フィルハーモニー、清水ウインドオーケストラの演奏を実施した(文化振興課) ・静岡新聞社と共催し、「科学特捜隊」を実施した(静岡科学館)	文化振興課 静岡科学館

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
23310	「ホビーマチ静岡」推進事業	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーマチ静岡」として国内外に向けシティプロモーションを展開している。 静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	○		○		○	●「ホビーマチ静岡inサマー」開催 日時：平成20年8月2日～3日 場所：ツインメッセ静岡、清水マリンパーク プラモデル工作教室・体験コーナーの設置、模型の歴史展示やスタンプラリーの実施。 ●首都圏をはじめ内外に向けPR事業を展開。	○	<開催助成> ・静岡ホビーウィーク2009（5月10～17日） ※来場者数 124,000人以上 ・第48回静岡ホビーショー（5月14～17日） ※来場者数 約81,000人 ・クリスマスフェスタ09（12月12日～13日） ※来場者数 約35,000人 <出展助成> ・2009プラモデル・ラジコンショー（10月8～11日） ※来場者数 約38,000人	地域産業課

文化振興ビジョン〔第1期実施計画〕 進捗状況調査票(311~321)

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して												
目標	3 しずおか文化の発信と交流											
方向	1 全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備											
方策	1 文化情報の提供(いつでも、どこでも文化情報を受発信できる機会を提供する)											
事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課	
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由		
31101	文化施設のデータベース化	市内文化施設を連携した施設紹介のデータベース化を図り公開する。	○		○		○	静岡市HP内の文化振興課ページに、市内文化施設HPへのリンクを作成した。	○	静岡市HP内の文化振興課ページに、市内文化施設HPへのリンクを引き続き行った。	文化振興課	
31102	文化活動拠点のネットワーク化	文化活動拠点を繋ぐ事業を展開する。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	○	相互に情報を交換し合い、文化のネットワークづくりを継続実施した。	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館	
31103	文化情報の充実	文化施設において各種公演チケットを販売する等、人・施設・催事の情報収集を充実させる。	○		○		○	①文化振興課:アートギャラリーと科学館、文化会館と文化センター等の間で、他施設の公演チケットを相互に販売している。 ②芹沢美術館:美術館のミュージアムショップにおいて、各施設のリーフレットを提供したり、ポスターを貼ってPRにつとめている。	○	・アートギャラリーと科学館、文化会館と文化センター等の間で、他施設の公演チケットを相互に販売している(文化振興課) ・館:美術館のミュージアムショップにおいて、各施設のリーフレットを提供したり、ポスターを貼ってPRにつとめている(文化振興課) ・他美術館のポスター掲示、リーフレット配布(芹沢美術館)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館	
31104	駿府楽市地場産品展示コーナー運営(再掲)	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市地場産品を展示紹介する。	○		○		○		○	・企画展 28回 ・来場者数 632,580人	地域産業課	
31105	ようこそ静岡推進事業	・携帯電話をツールとしたコミュニケーションシステムの構築、運用を行う ・携帯メールを活用した情報提供およびアンケートによる観光客のニーズ把握 ・登録者とのコミュニケーションによるリピーターの獲得	○		○		○	イベントがある毎に、観光客の増加につなげるため、携帯システムで情報提供を行った。	×	平成17年度より事業を開始したが、平成20年度末の登録者数が4,267人、内市外、県外登録者が約4割と登録者数が伸び悩み、費用対効果が低いと判断し、H21年7月事業廃止手続きを行った。今後、新たな情報発信の手法を検討する。	観光課	
方策	2 文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)											
31201	文化情報の集約	分散している文化情報を整備し、文化関係施設のネットワーク化を図り集中管理を図る。	○		○		○	①文化振興課:各館の催事情報を集約した「イベントニュース」を発行している。 ②芹沢美術館:他の美術館等の施設と、連絡を取り合い、必要な情報の共有をしている。	○	・各館の催事情報を集約した「イベントニュース」を発行した(文化振興課) ・他の美術館等の施設と、連絡を取り合い、必要な情報の共有をしている。	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館	
31202	地元マスコミとの連携・調整システムの確立	地元マスコミに文化情報コーナーの設置を求め、情報を発信していく。	○		○		○	①文化振興課:FM-Hiの「昼ラジ! 静岡情報館」という番組(月~金 11:00~14:00)の、毎週火曜日の13:10~13:20に文化情報を伝えるコーナーを設け、毎週館ごと職員が出演し、イベント情報等を発信している。 ②芹沢美術館:企画展開催のお知らせや、講座の開催などについて、新聞社やテレビ局に資料の提供をし、取材等の対応をしている。	○	ケーブルテレビ「ドリームTV」で「シリーズ鮭介」として2008年から番組放映をしている。(芹沢美術館)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館	
31203	主催講座の情報提供	主催講座の案内をミニコミ誌へ情報提供する。	○		○		○	生涯学習施設で行う事業を、リビング静岡やポケタンなどに情報提供を行った。	○	タウン紙、FM情報、インターネットサイトなどへ、講座情報を配信している。	生涯学習推進課 (旧生涯学習課)	



事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
31204	国内外への情報伝達拠点整備	文化情報発信拠点を整備し、事業開催告知が平等に行えるよう検討する。	○		○		○	事業番号=31207 文化情報網の整備と充実(包含) 静岡市ホームページでイベントカレンダーを掲載(広報課)	○	事業番号=31207 文化情報網の整備と充実(包含) 静岡市ホームページでイベントカレンダーを掲載(広報課)	文化振興課
31205	駿府匠宿管理運営(再掲)	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産業と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	○		○		○		○	・来場者数 293,180人	地域産業課
31206	文化情報の配信方法の検討	市内文化情報の一元化方法を検討し、文化情報発信の強化を図る。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	文化振興課
31207	文化情報網の整備と充実	情報伝達システムやソフトを随時更新し、ホームページの充実を図る。	○		○		○	平成20年度にシステムをALAYAIに更新。新しく所管になった東海道広重美術館のページ新設を始め、随時課ホームページの更新及びイベントカレンダーへの登録を行っている。	○	随時課ホームページの更新及びイベントカレンダーへの登録を行った。	文化振興課
31208	文化情報・活動の拠点となる施設作り	文化情報の発信基地設置を検討する。	○	施設を新たに設置するのは、困難であるが、静岡市が出資し、静岡市の文化事業の振興に供するため設立した。(財)静岡市文化振興財団に文化情報の発信基地となるよう、協議している。	○			施設の設置には、物的及び人的に多大なコストを要するため、他の手法による同様な機能の実現可能性について検討したい。	○	・新たなしずおか文化の創造・発信の拠点として静岡美術館を建設整備した(文化振興課) ・新作を委託、演奏を実施し、しずおか文化を発信した(静岡音楽館)	文化振興課 静岡音楽館
31209	文化団体等の交流を通じた情報交換の促進	文化団体との連携を強化し、団体の事業活用と一緒に検討する。	○		○		○	引続き静岡市文化振興財団・静岡市文化協会との協力体制と連携の強化を図っている。	○	静岡市文化振興財団・静岡市文化協会との協力体制と連携の強化を図っている。	文化振興課
31210	自ら学ぶ市民の支援と情報の提供	個別に活動する文化団体への情報提供を強化する。	○		○		○	静岡市文化振興課、各文化施設、各生涯学習施設へのチラシ等の設置。問合せへの対応。	○	静岡市文化振興課、各文化施設、各生涯学習施設へのチラシ等の設置。問合せへの対応。	文化振興課
31211	文化的バリアフリーの推進	障害者、高齢者、子ども等様々な年齢層が楽しめる文化事業を推進する。	○		○		○	晴眼者と視覚障害者とで言葉によるコミュニケーションを通して共に作品を鑑賞する「あなたとこころでみるツアー」や様々な年齢層を対象にしたミュージアム教室等多岐に渡る関連事業を実施した。	○	指定管理者が、自主事業として事業を実施した。	文化振興課
31212	主催講座の情報提供	主催講座の案内をミニコミ誌へ情報提供、ホームページでも公開する。	○		○		○	21308と同じ	○	主催講座について、ミニコミ誌、ホームページ等を使って情報提供を行った。	中央図書館 (視聴覚センター)
31213	しずおか文化発信事業	ロシアでの芹沢作品展を開催する等、市の地域資源を紹介し、情報を発信する事業を開催し、静岡の名を周知させる。	○		○		○	ロシアでの芹沢作品展を開催する等、市の地域資源を紹介し、情報を発信する事業を開催し、静岡の名を周知させる。	×	対象事業無し	文化振興課
31214	「ホビーのまち静岡」推進事業(再掲)	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーのまち静岡」として国内外に向けシティプロモーションを展開している。 静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	○		○		○	●「ホビーのまち静岡inサマー」開催日時:平成20年8月2日～3日 場所:ツインッセ静岡、清水マリンパーク プラモデル工作教室・体験コーナーの設置、模型の歴史展示やスタンプラリーの実施。 ●首都圏をはじめ内外に向けPR事業を展開。	○	<開催助成> ・静岡ホビーウィーク2009(5月10～17日) ※来場者数 124,000人以上 ・第48回静岡ホビーショー(5月14～17日) ※来場者数 約81,000人 ・クリスマスフェスタ09(12月12日～13日) ※来場者数 約35,000人 <出展助成> ・2009プラモデル・ラジコンショー(10月8～11日) ※来場者数 約38,000人	地域産業課

	事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
				実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
方向	2	文化交流事業の推進										
方策	1	全国や世界との文化交流事業の推進(世界との文化交流を通して、「しずおか文化」を再認識する)										
	32101	全国各地と文化イベントを共催するシステムの創設と推進	全国縦断公演を企画、共催できるシステムを創設する。	○		○		○	静岡アートギャラリー・静岡科学館のソフト事業として全国巡回企画展等の開催。	○	静岡アートギャラリー・静岡科学館のソフト事業として全国巡回企画展等の開催。	文化振興課
	32102	国内都市との文化交流の活性化	文化交流事業を推進する。 (作品・コレクションの貸し借り)	○		○		○	①文化振興課:「竹久夢二」作品の貸し出し 平成20年に「静岡市東海道広重美術館」は、恵那市の「中山道広重美術館」と姉妹館提携を結び、今後、作品の貸借も含め、交流を図っていく。 ②芹沢美術館:芹沢作品と芹沢コレクションについて、国内7か所の美術館に対して、97点(のべ124点)を貸出した。	○	・「竹久夢二」作品をはじめ、静岡市所蔵の作品を貸し出した(文化振興課) ・ジャパソサエティ(ニューヨーク)、岡山県立美術館など5館に対し294点の貸出し(芹沢美術館) ・東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館、柏市教育委員会など3か所から111件の作品を借用(芹沢美術館)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館 東海道広重美術館
	32103	全国規模の文化催事の立案・開催の推進	日本・世界を対象とした大規模な文化事業を企画し、実施する。	○		○		○	静岡科学館において、指定管理者である静岡市文化振興財団が「青少年のための科学の祭典」を開催した。	○	静岡市美術館の開館にあわせ、全国規模の企画展を立案し、平成22年度に実施予定。	文化振興課
	32104	海外との文化交流推進	ロシア写真展を開催する等、文化を通じて、海外都市との交流を活発化させる。	○		○		○	11月に全米最優秀教師が来日、静岡市内の中学校や静岡科学館を訪問した。また、科学館職員が「オーストラリア・日本サイエンスパフォーマー交流プログラム」の日本代表の1員に選ばれた。	○	全国・世界各地の子ども達の参加の絵画コンクールから本県児童らの作品を中心に入選作690点を展示した。	文化振興課
	32105	外来アーティストの積極的な招へいと交流の場の提供	音楽を通じ、世界的に活躍するアーティストを招聘し、公演を行う他関連事業を開催する。	○		○		○	静岡音楽館自主事業「コンサートシリーズ」へのアーティスト招聘 「Hotひといきコンサート」へのアーティスト招聘	○	・「Hotひといきコンサート」へのアーティスト招聘した(文化振興課) ・自主事業「コンサートシリーズ」へのアーティストを招聘した(静岡音楽館)	文化振興課 静岡音楽館

文化振興ビジョン〔第2期実施計画〕 進捗状況調査票（111～123）

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して													
目標	1 しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承												
方向	1 文化財の保護、活用の推進												
方策	1 文化財に対する意識の高揚(文化財を理解し、保存への意識を高める)												
事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
11101	指定文化財データベース作成事業	管理の実態を把握するために、市内の指定文化財をデータベース化する。	○		○		○	指定文化財基礎データ収集中。	○	指定文化財基礎データ収集中。	○	指定文化財基礎データについてエクセルファイルに入力完了した	文化財課
11102	講座の開催	歴史講座等を開催する。	○		○		○	各生涯学習施設において、静岡の歴史をテーマにした講座、歴史散策等の講座を実施した。	○	各生涯学習施設において、静岡の歴史をテーマにした講座、歴史散策等の講座を実施した。	○	生涯学習施設において、静岡の歴史をテーマにした講座、歴史散策等の講座を実施した。	生涯学習推進課
11103	伝統文化体験教室等の開催	小学生を対象に伝統文化を体験するため教室等を開催する。	○		○		○	「伝統文化寺子屋」を文化振興財団へ委託し、茶道、神楽を体験する教室を開催した。(文化振興課) ・大人から小学生までを対象とした「有東木盆踊り体験教室」を7月～8月に実施した。また民俗芸能の鑑賞ツアーを2回実施した。(文化財課)	○	「伝統文化寺子屋」を文化振興財団へ委託し、茶道、神楽、落語を体験する教室を開催した。参加者数:187人(文化振興課) ・大人から小学生までを対象とした「有東木盆踊り体験教室」を7月～8月に実施した。また民俗芸能の鑑賞ツアーを3回実施した。(文化財課)	○	・「伝統文化寺子屋」事業において、茶道(抹茶・煎茶)、祭囃子を体験する教室を開催した。参加者数:197人(文化振興課) ・大人から小学生までを対象とした「有東木盆踊り体験教室」を7月～8月に実施した。また民俗芸能の鑑賞ツアーを2回実施した。(文化財課)	文化振興課 文化財課
11104	出張解説事業	賤機山古墳の現地見学や公民館等からの歴史解説等の要請に対し職員を派遣して専門的な説明を行う。	○		○		○	小中学校の賤機山古墳や三池平古墳の見学に対し職員を派遣し説明を行った。(賤機山古墳、55団体)	○	小中学校の賤機山古墳や三池平古墳の見学に対し職員を派遣し説明を行った。(賤機山古墳、55団体)	○	小中学校の賤機山古墳や三池平古墳の見学に対し職員を派遣し説明を行った。(賤機山古墳、54団体)	文化財課
11105	展示会・見学会等開催事業	文化財の展示会や見学会を開催する。	○		○		○	・市民ギャラリーで「文化財展」を開催した。 ・埋蔵文化財センターで企画展を3回実施し、子供向け体験講座を2回実施した。	○	・市民ギャラリーで「文化財展」を開催した。 ・埋蔵文化財センターで企画展を3回実施し、子供向け体験講座を2回実施した。	○	・埋蔵文化財センター、市民ギャラリー、登呂博物館で「文化財展」を巡回、開催した。 ・埋蔵文化財センターで企画展を2回実施し、体験講座を1回実施した。	文化財課
11106	文化財ウォーク開催事業	宇津ノ谷峠の丸子地区や小島陣屋の小島地区などの地元と協働してウォークを開催する。	○		○		○	11月11日 宇津ノ谷地区で地元と協働で文化財ウォークを実施した。	○	11月11日 宇津ノ谷地区で地元と協働で文化財ウォークを実施した。	○	11月9日に地元と藤枝市と協働で宇津ノ谷地区でウォークを計画していたが、当日悪天候のため中止となった。	文化財課
11107	登呂博物館の各種事業	登呂遺跡を中心とする歴史や文化に関する常設展・企画展・特別展・教育普及活動(講座、イベント等)を実施する。	○		○		○	特別展1回、企画展3回開催した。各種講座、体験学習も実施した。総入館者数 189,866人	○	特別展1回、企画展2回を開催した。各種講座、体験学習の実施総入館者数 183,127人	○	特別展1回、企画展3回、屋外体験、各種講座・イベントを開催した。総入館者数:160,439人(1月末)	登呂博物館
方策	2 文化財の継承(文化財の保存に努め、後世に残す)												
11201	指定文化財保存修理等補助金交付事業	文化財の保存修理にかかる補助金を交付する。	○		○		○	文化財の保存修理にかかる補助金11件を交付した。	○	文化財の保存修理にかかる補助金11件を交付した。	○	文化財の保存修理にかかる補助金13件を交付した。	文化財課
11202	史跡等保存整備事業	特別史跡登呂遺跡や史跡片山廃寺跡等を保存整備し、歴史的な遺産を保存し後世に継承する。	○		○		○	登呂遺跡、三池平古墳ともに整備は完了済	○	登呂遺跡、三池平古墳ともに整備は完了済	○	史跡小島陣屋跡の公有地化を実施した。	文化財課
11203	文化財保護審議会事業	市指定文化財の指定に向けて、候補物件の調査研究を行う。	○		○		○	清水寺の仏像を中心に調査と指定を行った。	○	清水寺の仏像を中心に調査と指定を行った。	○	善然寺の仏像他2件を新たに指定した。小坂熊野神社のイチョウの指定を解除した。	文化財課
11204	歴史の道整備事業	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、文化財の鑑賞者に利便性を提供しその価値を伝える。	○		○		○	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、景観を保持し、鑑賞者の利便性を図った。	○	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、景観を保持し、鑑賞者の利便性を図った。	○	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、景観を保持し、鑑賞者の利便性を図った。	文化財課
11205	文化財やロケーションを意識したイベントの開催	屋外事業やロケーションを意識した文化事業を展開する。	○		○		○	羽衣伝説発祥の地「三保」のロケーションを生かし、羽衣の松を鏡板に、薪能公演などを開催する「羽衣まつり」を支援した。	○	羽衣伝説発祥の地「三保」のロケーションを生かし、羽衣の松を鏡板に、薪能公演などを開催する「羽衣まつり」を支援した。薪能入場者数:792人	○	羽衣伝説発祥の地「三保」のロケーションを生かし、羽衣の松を鏡板に、薪能公演などを開催する「羽衣まつり」を支援した。薪能入場者数:525人	文化振興課
11206	近代化遺産活用事業	「登録文化財の日」に実施される全国一斉公開などの機会を得て文化財の素晴らしさを伝える。	○		○		○	近代化遺産の登録文化財公開等を行った。	○	近代化遺産の登録文化財公開等を行った。	○	近代化遺産の登録文化財公開等を行った。	文化財課
方策	3 文化財の新たな活用(地域や学校と連携した文化財の活用を図る)												
11301	文化財所有者・管理者連絡協議会事業	瀬名郷倉、エンバーソン邸などの文化財の保存・管理の関係団体と定期的に連絡協議する。	○		○		○	瀬名郷倉、小島陣屋の管理団体と連絡協議を持った。	○	瀬名郷倉、小島陣屋の管理団体と連絡協議を行った。	○	瀬名郷倉、小島陣屋の管理団体と連絡協議を行った。	文化財課
11303	出張解説事業(再掲)	賤機山古墳の現地見学や公民館等からの歴史解説等の要請に対し職員を派遣して専門的な説明を行う。	○		○		○		○	小中学校の賤機山古墳や三池平古墳の見学に対し職員を派遣し説明を行った。(賤機山古墳、55団体)	○	小中学校の賤機山古墳や三池平古墳の見学に対し職員を派遣し説明を行った。(賤機山古墳、54団体)	文化財課
11304	静岡市地図編集委員会・社会科副読本改訂委員会	社会科学習に生かすため静岡市の地図を作成し、地域学習の充実を図ると共に、郷土及び地域学習に必要な社会科副読本を作成し、社会科指導の充実を図る。	○		○		○	平成24年度版小中学校社会科地図の改訂編集を行い、市内全小3・中1児童生徒に配布した(第9版)。副読本については、小・中学校ともに小改訂を行い、年度末に平成25年度版(小学校は第4版、中学校は第3版)を各校へ配布した。	○	平成26年度版小中学校社会科地図の改訂編集を行い、市内全小3・中1児童生徒に配布した(第10版)。副読本については、小・中学校ともに小改訂を行い、年度末に平成26年度版(小学校は第4版、中学校は第3版)を各校に配布した。	○	平成27年度版小中学校社会科地図の改訂編集を行い、市内全小3・中1児童生徒に配布した(第11版)。副読本については、小・中学校ともに小改訂を行い、年度末に平成27年度版(小学校は第5版、中学校は第4版)を各校に配布した。	学校教育課

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
11305	総合学習や調べ学習の援助	小中学校の総合学習や調べ学習において参考となる資料の提供、援助を行う。	○		○		○	『学校用図書館利用案内』を作成提供するとともに、各学校を対象に調べ学習用の図書を出し出す「学校協力貸出」を実施した。 ○平成24年度学校協力貸出実施校72校、貸出冊数8,503冊	○	『学校用図書館利用案内』、「ブック通リスト(バスファインダー)」を作成、提供するとともに、各学校を対象に調べ学習用の図書を出し出す「学校協力貸出」を実施した。 ○平成25年度学校協力貸出実施校77校、貸出冊数10,781冊	○	『学校用図書館利用案内』、「ブック通リスト(バスファインダー)」を作成、提供するとともに、各学校を対象に調べ学習用の図書を出し出す「学校協力貸出」を実施した。 ○平成26年度学校協力貸出(1月末)実施校82校、貸出冊数9,468冊	中央図書館
方向 2	伝統ある文化の伝承の支援												
方策 1	伝統文化に対する意識の向上(地域に根づく文化を理解し、保存・継承の意識を高める)												
12101	指定文化財データベース作成事業	指定民俗文化財について、伝承・保存の実態を把握するためにデータベース化する。	○		○		○	指定文化財基礎データ収集中。	○	指定文化財基礎データ収集中。	○	指定文化財基礎データ収集中。	文化財課
12102	スペシャリスト派遣事業	本市の第一線で活躍する様々な専門家や達人を講師に招き、生き方や専門的知識・技術力に学ぶ。	○		○		○	全体で53校、56件の実施。特に異文化交流やコミュニケーション・スキルのトレーニング、箏曲、朗読等の講師依頼が多く寄せられた。	×	平成24年度をもって事業廃止(平成25年度事業を民間教育力活用事業へ継承)			学校教育課
12103	民間教育力活用事業	児童・生徒の必要に応じて校外の教育資源を活用する。	○		○		○	1年間で小中学校で476件の実施があり、総計で約2,200名の外部講師を学校に招いた。各校の教育課程の充実に向けて、多岐にわたり活用された。	○	1年間で小中学校で445件の実施があり、延べ約2,200名の外部講師を学校に招いた。各校の教育課程の充実に向けて、多岐にわたり活用された。	○	1年間で小中学校で445件の実施があり、延べ約2,200名の外部講師を学校に招いた。各校の教育課程の充実に向けて、多岐にわたり活用された。	学校教育課
12104	ふるさと文化再興事業	民俗関係の遺産について調査し映像記録を行い、伝承者の育成を援助する。	○		○		○	該当する民俗文化財の基礎資料収集にあたった。	○	地域文化の担い手育成と伝承事業として民俗文化財の基礎資料収集にあたった。	○	「由比北田の天王船流し」「井川の食文化」など民俗文化財の基礎資料収集にあたった。	文化財課
12105	伝統文化財保存伝承事業	写真、文字、映像により、記録するとともに事業の冊子を作成する。	○		○		○	山村文化ガイドブックを作成した。	○	静岡市文化財協会と連携し、文化財プロモーションビデオを制作した。	○	「由比北田の天王船流し」「井川の食文化」など民俗文化財の基礎資料収集にあたった。	文化財課
12106	伝統文化調査事業	海の民俗誌など地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	○		○		○	緊急歴史民俗調査事業の一環として資料収集中。	○	文化財課ホームページを新規に開設した。	○	「由比北田の天王船流し」「井川の食文化」など民俗文化財の基礎資料収集にあたった。また、文化財課ホームページを活用し、伝統行事の情報を発信した。	文化財課
12107	印刷物による記録、保存	伝統文化に関する資料を収集し、保存する。	○		○		○	伝統文化に関する資料を収集し、保存した。	○	伝統文化に関する資料を収集し、保存した。	○	伝統文化に関する資料を収集し、保存した。	中央図書館
方策 2	伝統文化の継承と支援(伝統文化継承者や団体の育成と活動への支援を図る)												
12202	ふるさと文化再興事業(再掲)	民俗関係の遺産について調査し、映像記録を行い報告書を刊行する。	○		○		○	・山村文化ガイドブックを作成した。 ・海岸部緊急歴史民俗調査事業の一環として資料収集中。	○	緊急歴史民俗調査事業の一環として資料収集中。	○	「由比北田の天王船流し」「井川の食文化」など民俗文化財の基礎資料収集にあたった。	文化財課
12203	伝統芸能公演への支援	市民文化祭等を支援し発表機会を提供する。	○		○		○	「能楽」「詩舞」「詩吟」「日本舞踊」等の伝統芸能を発表する機会として、市民文化祭を開催した。	○	「詩舞」「詩吟」「日本舞踊」等の伝統芸能を発表する機会として、市民文化祭を開催した。入場者数:20,934人	○	「詩舞」「詩吟」「日本舞踊」等の伝統芸能を発表する機会として、市民文化祭を開催した。入場者数:16,698人	文化振興課
12204	指定文化財保存活用補助金交付事業	有形・無形の市指定民俗文化財の保存団体に対して助成する。	○		○		○	8件の指定民俗文化財保存団体に助成を行った。	○	8件の指定民俗文化財保存団体に助成を行った。	○	8件の指定民俗文化財保存団体に助成を行った。	文化財課
方策 3	伝統文化事業の推進(伝統芸能事業や民俗芸能事業の開催を通じて伝統文化への愛着を育む)												
12301	日本古典伝統文化公演開催事業	日本の古典伝統文化である歌舞伎や落語の公演の開催を支援する。	○		○		○	文化会館にて松竹大歌舞伎、文化センターにて、「落語公演」、清水区三保にて三保羽衣薪能をそれぞれ開催した。	○	静岡市民文化会館にて「松竹大歌舞伎」、清水文化会館にて、「落語公演」、清水区三保にて「三保羽衣薪能」をそれぞれ開催した。	○	静岡市民文化会館にて「松竹大歌舞伎」(入場者数2,155人)、清水文化会館及び周辺施設にて、「清水にぎわい落語まつり」(入場者数:1,885人)、清水区三保にて「三保羽衣薪能」(入場者数:525人)をそれぞれ開催した。	文化振興課 静岡市民文化会館 清水文化会館
12302	伝統文化講座や学習会の開催及び推進事業	日本の伝統文化に触れる学習会の開催を推進する。	○		○		○	「伝統文化寺子屋」を文化振興財団へ委託し、小中学生とその保護者を対象に、茶道、神楽を体験する教室を実施した。	○	「伝統文化寺子屋」を文化振興財団へ委託し、小中学生とその保護者を対象に、茶道、神楽、落語を体験する教室を実施した。参加者数:187人	○	「伝統文化寺子屋」事業において、小学生とその保護者を対象に、茶道(抹茶・煎茶)、祭囃子を体験する教室を実施した。参加者数:197人	文化振興課
12303	日本古典芸能公演事前講演会開催事業	能や歌舞伎公演に付随し、より公演に親しむための講演会の開催を支援する。	○		○		○	・松竹大歌舞伎において、事前講座を開催した。 ・三保羽衣薪能において、演者による見どころ解説を行った。	○	・松竹大歌舞伎において、事前講座を開催した。 ・三保羽衣薪能において、演者による見どころ解説を行った。 ・羽衣まつりの広報と能への理解を深めるため、イベント「伝統芸能のつどい」を開催した。申込者:203人	○	・静岡市民文化会館にて「松竹大歌舞伎」の、事前講座を開催した。(参加者数:255人) ・三保羽衣薪能において、演者による見どころ解説を行った。 ・羽衣まつりの広報と能への理解を深めるため、イベント「みんなで体験!能・狂言」を開催した。申込者:148人	文化振興課 静岡市民文化会館
12304	講座の開催(再掲)	伝統文化の学習機会を提供する。	○		○		○	各生涯学習施設において、駿河竹千筋細工や漆塗り工芸品など、地域の伝統工芸の講座を実施した。	○	各生涯学習施設において、地域の伝統工芸の講座を実施した。	○	生涯学習施設において、地域の伝統工芸の講座を実施した。	生涯学習推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
12305	伝統文化財保存伝承事業(再掲)	地域に根ざす文化行事を、市ホームページ等で広報し、冊子で紹介する。	○		○		○	伝統文化ガイドブックを作成した。	○	文化財課ホームページを新規に開設した。	○	文化財課ホームページを活用し、伝統行事の情報を発信した。	文化財課
12306	民俗文化学習事業	地域に伝承されてきた民俗芸能や行事についての講座を開催する。	○		○		○	大人から小学生までを対象とした「有東木盆踊り体験教室」を7月～8月に実施した。また、民俗芸能鑑賞ツアーを2回実施し、1月には静岡市民俗文化財展を開催した。	○	大人から小学生までを対象とした「有東木盆踊り体験教室」を7月～8月に実施した。また、民俗芸能鑑賞ツアーを3回実施した。	○	大人から小学生までを対象とした「有東木盆踊り体験教室」を7月～8月に実施した。また、民俗芸能鑑賞ツアーを2回実施した。	文化財課
12307	伝統文化調査事業(再掲)	地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	○		○		○	海岸部緊急歴史民俗調査事業の一環として資料収集中。	○	文化財課ホームページを新規に開設した。	○	文化財課ホームページを活用し、伝統行事の情報を発信した。	文化財課

文化振興ビジョン〔第2期実施計画〕 進捗状況調査票(211~214)

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して													
目標	2 地域性豊かな市民文化の創造												
方向	1 多彩な市民文化活動の支援												
方策	1 文化活動への助成(団体・個人の活動を支援し、活性化を図る)												
事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容及びも実施理由	
21101	文化活動支援事業	市民による文化事業を後援し、支援する。	○		○		○	文化振興財団を通じ、公共性のある文化事業を実施する団体に対して、助成金を交付した。	○	文化振興財団を通じ、公共性のある文化事業を実施する団体に対して、助成金を交付した。	○	文化振興財団を通じ、公共性のある文化事業を実施する団体に対して、助成金を交付した。	文化振興課
21102	表彰・推薦事業	文化の振興と向上に寄与する市民の活動を奨励するための静岡市芸術文化奨励賞を設け表彰している。また国、県その他団体へ表彰等推薦を行う。	○		○		○	広報、市ホームページ等への掲載や、各文化施設等への推薦募集を行い、候補者を募り、審査の結果、受賞者を決定。市長室にて授賞式を開催し、報道周知を実施した。 ○平成24年度 書道部門 1人、音楽部門(チェロ) 1人、バレエ部門 1人受賞	○	広報、市ホームページ等への掲載や、各文化施設等への推薦募集を行い、候補者を募り、審査の結果、受賞者を決定。市長室にて授賞式を開催し、報道周知を実施した。 ○平成25年度 コンテンポラリーダンス 1団体受賞	○	広報、市ホームページ等への掲載や、各文化施設等への推薦募集を行い、候補者を募り、審査の結果、受賞者を決定。市長室にて授賞式を開催し、報道周知を実施した。 ○平成26年度 合唱指揮部門1名、能楽部門1団体受賞	文化振興課
21103	活動場所確保の支援	文化活動場所確保のための支援を行う。	○		○		○	市民文化活動の開催場所として、ふれあいホールや公園等を利用できるよう副申を行った。	○	市民文化活動の開催場所として、ふれあいホールや公園等を利用できるよう副申を行った。	○	市民文化活動の開催場所として、ふれあいホールや公園等を利用できるよう副申を行った。	文化振興課
21104	活動拠点の提供	市が所管する文化・学習施設の貸館事業を、適正かつ安定的に行う。	○		○		○	・各文化施設において、文化団体等からの利用希望に対し、抽選等により公平な利用方法を実施した。(文化振興課) ・生涯学習施設について、例規等や利用許可マニュアルに従い、適正に実施した。(生涯学習推進課)	○	・各文化施設において、文化団体等からの利用希望に対し、抽選等により公平な利用方法を実施した。(文化振興課) ・生涯学習施設について、例規等や利用許可マニュアルに従い適正に実施した。(生涯学習推進課)	○	・各文化施設において、文化団体等からの利用希望に対し、抽選等により公平な利用方法を実施した。(文化振興課) ・生涯学習施設について、例規等や利用許可マニュアルに従い、適正に実施した。(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課
21105	文化活動発表機会提供事業	市内で文化活動を行う個人や団体の発表会を支援する。	○		○		○	・27文化団体が参加して市民文化祭を開催した。(文化振興課) ・市民芸能発表会を開催し、発表の機会を提供した。(文化振興課) ・「アマチュア・アンサンブルの日」を開催し、静岡音楽館ホールでの演奏機会を提供した。(音楽館)	○	・26文化団体が参加して市民文化祭を開催した。(文化振興課) ・市民芸能発表会を開催し、発表の機会を提供した。参加団体数:112団体(1,303人)(文化振興課) ・「アマチュア・アンサンブルの日」を開催し、静岡音楽館ホールでの演奏機会を提供した。参加者数:24組、入場者数:698人(音楽館)	○	・17文化団体が参加して市民文化祭を開催した。入場者数:16,698人(文化振興課) ・市民芸能発表会を開催し、発表の機会を提供した。参加団体数:141団体(1,374人)(文化振興課) ・「アマチュア・アンサンブルの日」を開催し、静岡音楽館ホールでの演奏機会を提供した。参加者数:24組、入場者数:696人(音楽館)	文化振興課 静岡音楽館
21106	文化活動補助事業	全国大会等の芸術文化活動の発表会に出場する個人又は団体に補助金を交付する。(静岡市芸術文化活動発表会参加奨励補助金)	○		○		○	芸術文化活動の成果を発表する大会に参加する学生等又は学生等により構成される団体に対し、中部地方にまたがる規模の大会の出場者1人につき2,000円、全国規模の大会出場者1人につき3,000円を予算の範囲内で交付した。 ○平成24年度 29件 495人に交付	○	芸術文化活動の成果を発表する大会に参加する学生等又は学生等により構成される団体に対し、中部地方にまたがる規模の大会の出場者1人につき2,000円、全国規模の大会出場者1人につき3,000円を予算の範囲内で交付した。 ○平成25年度 37件 464人に交付	○	芸術文化活動の成果を発表する大会に参加する学生等又は学生等により構成される団体に対し、中部地方にまたがる規模の大会の出場者1人につき2,000円、全国規模の大会出場者1人につき3,000円を予算の範囲内で交付した。 ○平成26年度 38件 524人に交付(1月末)	文化振興課
21107	文化団体の充実・育成事業	市内文化団体の活動を充実させ、育成する。	○		○		○	静岡市文化協会の活動を引き続き支援した。	○	静岡市文化協会の活動を引き続き支援した。	○	静岡市文化協会の活動を引き続き支援した。	文化振興課
21108	ボランティア活動支援事業	竹久夢二研究会等自主的に文化活動を開催するボランティア活動を推進する。	○		○		○	竹久夢二研究会と協力し、清水区蒲原の旧五十嵐邸にて竹久夢二展を開催した。	○	蒲原夢二研究会と協力し、清水区蒲原の旧五十嵐邸にて「竹久夢二」展を開催した。来場者数:356人	○	蒲原夢二研究会と協力し、清水区蒲原の旧五十嵐邸にて「竹久夢二」展を開催した。来場者数:371人	文化振興課
21109	文化事業開催支援事業	静岡市芸術祭等市民による音楽、美術、舞台芸術、科学分野の事業の開催を支援する。	○		○		○	静岡市文化協会が開催する静岡市民芸術祭を支援した。	○	静岡市文化協会が開催する静岡市芸術祭を支援した。入場者数:20,066人、出演・出品者数:4,032人	○	静岡市文化協会が開催する静岡市芸術祭を支援した。入場者数:19,886人、出演・出品者数:4,759人	文化振興課
21110	音楽文化振興企画の募集	静岡音楽館における音楽文化振興の募集・開催事業を支援する。静岡県を中心に音楽活動を続けている演奏家、演奏団体からコンサート企画を募集しその企画を開催する。	○		○		○	「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業として、ピアノリサイタルを開催した。	○	「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業を継続して実施した。	○	「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業を継続して実施した。	静岡音楽館
21111	国・県・その他団体からの補助事業の活用推進	国・県・他団体による文化事業補助事業、助成金制度の活用と利用を呼びかけるため、情報提供の場を設ける。	○		○		○	情報を精査し、該当団体へ情報提供した結果、「静岡市民文化会館」においては、(財)地域創造助成金、「静岡音楽館AOI」においては、文化庁助成金、「静岡科学館くるる」においては、JST事業に採択された。	○	情報を精査し、該当団体へ情報提供した結果、「静岡市民文化会館」においては、(一財)地域創造助成金、「静岡音楽館AOI」においては、文化庁助成金、「静岡科学館くるる」においては、JST事業に採択された。	○	情報を精査し、該当団体へ情報提供した結果、「静岡市民文化会館」においては、(一財)地域創造助成金、「静岡音楽館AOI」においては、文化庁助成金、「静岡科学館くるる」においては、JST事業に採択された。	文化振興課
21112	駿府本山お茶まつり事業	本市の基幹産業であるお茶の振興を図るため、地元の生産者から、流通、小売業者までが一体となって、静岡本山茶の消費拡大を図り、お茶に関する文化、歴史的考察を含めた各種イベント等を実施する。	○		○		○	主催:駿府本山お茶まつり委員会 実施事業:静岡本山新茶フェスタ2012(茶詰めのみ)、駿府お茶壺道中行列、口切りの儀、駿府本山秋のお茶まつり、駿府お茶姫2013コンテスト	○	主催:駿府本山お茶まつり委員会 事業:静岡本山新茶フェスタ2013(茶詰めのみ)、駿府本山お茶壺道中行列、口切りの儀、駿府本山秋のお茶まつり、記念誌作成	○	主催:駿府本山お茶まつり委員会 事業:茶詰めのみ、駿府本山お茶壺道中行列・口切りの儀、駿府本山秋のお茶まつり	農業政策課

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容及びも実施理由	
21113	清水お茶のまちづくり事業	地元の生産者、流通関係者及び消費者の一体的な取組みにより、新しいお茶の文化を創造しながら地産地消を軸とした清水ならではの「お茶のまちづくり」を進める活動を実施する。	○		○		○	広報紙「茶の街だより」年3回発行、お茶の入れ方教室や、地元茶でもてなす会等消費者との交流イベントを実施した。	○	主催：清水みんなのお茶をつくる会 事業：市民交流イベント(地元茶でもてなす会)の開催、新しい商品の企画・開発、地域独自の新品種の選抜・普及、茶産地に関わる情報発信(HP・広報紙)	○	主催：清水お茶のまちづくり実行委員会 事業：市民交流イベント(地元茶でもてなす会)の開催、産地に関わる情報発信(HP・広報紙)、新しい商品の企画・開発、地域独自の新品種の選抜・普及	農業政策課
21114	茶手揉み保存事業	茶の製造技術の原点である手揉み製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉み実演などの事業を行う。	○		○		○	手揉み講習会の実施等により、手揉み製茶技術の保存と向上を図り、後継者を育成するとともに、イベントや学校での手揉みの実演を行った。	○	手揉み講習会の実施等により、手揉み製茶技術の保存と向上を図り、後継者を育成するとともに、イベントや学校での手揉みの実演を行った。	○	手揉み講習会の実施等により、手揉み製茶技術の保存と向上を図り、後継者を育成するとともに、イベントや学校での手揉みの実演を行った。	農業政策課
21115	市民活動センターの運営	市民活動団体に関する情報収集、情報誌の発行、相談業務、講座の開催等、市民活動を支援する施設の運営。	○		○		○	清水市民活動センター及び番町市民活動センターを指定管理により運営した。	○	清水市民活動センター及び番町市民活動センターを指定管理により運営した。	○	清水市民活動センター及び番町市民活動センターを指定管理により運営した	男女参画・市民協働推進課
21116	協働パイロット事業	新しい協働事業の創出や協働推進のためのノウハウの取得を図る。	○		○		○	6事業の応募があり、4事業を採用・実施した。	○	11事業の募集があり、3事業を採用、実施した。協働パイロット事業について事業採択方法等の見直しを行った。	○	9事業の提案があり、4事業を採用、実施した。	男女参画・市民協働推進課
21118	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、市民の文化活動を支援をする。	○		○		○	図書館資料を収集・保存し、貸出・レファレンスサービス等とおして、市民の文化活動の支援を行った。 ○平成24年度 個人貸出点数・・・4,494,969点 レファレンス数・・・43,921件 コピーサービス・・・68,256枚	○	図書館資料を収集・保存し、貸出・レファレンスサービス等とおして、市民の文化活動の支援を行った。 ○平成25年度 個人貸出点数・・・4,496,934点 レファレンス数・・・40,397件 コピーサービス・・・64,124枚	○	図書館資料を収集・保存し、貸出・レファレンスサービス等とおして、市民の文化活動の支援を行った。 ○平成26年度(1月末) 個人貸出点数・・・3,681,370点 レファレンス数・・・33,639件 コピーサービス・・・53,255枚	中央図書館
21119	読み聞かせボランティア養成	地域で活躍できる、読み聞かせボランティアを養成する。	○		○		○	読み聞かせボランティア養成講座を実施した。 ○平成24年度 ボランティア講座 6回開催 受講者22人	○	読み聞かせボランティア養成講座を実施した。 ○平成25年度 ボランティア講座 6回開催 受講者21人	○	音訳研修会を実施した。 ○平成26年度 音訳研修会 5回開催 受講者38人	中央図書館
21120	主催イベント 生涯学習施設まつり	施設祭り、地域交流会で市民が出演できる機会を提供する。	○		○		○	センター、交流館まつりなど、地域団体と協働で行うことにより、出演機会を提供した。	○	センター、交流館まつりなど、地域団体と協働で行うことにより、出演機会を提供した。	○	センター、交流館まつりなど、地域団体と協働で行うことにより、出演機会を提供した。	生涯学習推進課
方策 2	人材・組織の育成(文化活動を担う人材・組織を育成し、活動を支援する)												
21201	芸術家・文化人の発掘と支援事業	オーディション等、市内の芸術家や文化人を発掘し、その活動を支援する事業を推進する。	○		○		○	「静岡の名手たち」オーディションを実施し、合格者によるコンサートや、施設等での演奏機会をコーディネートした。	○	「静岡の名手たち」オーディションを実施し、合格者によるコンサートや、施設等での演奏機会をコーディネートした。	○	「静岡の名手たち」オーディションを実施し、合格者によるコンサートや、施設等での演奏機会をコーディネートした。	静岡音楽館
21202	文化事業の支援	文化振興のために開催される公演等について後援名義の使用を承認し、事業を側面から支援する。	○		○		○	後援名義使用承認事務を執行し、許可された事業のポスター・チラシ等について、文化振興課窓口にて掲示等をする とともに、関係施設への設置・配布依頼等を実施し、事業を支援した。 ○平成24年度 90件承認	○	後援名義使用承認事務を執行し、許可された事業のポスター・チラシ等について、文化振興課窓口にて掲示等をする とともに、関係施設への設置・配布依頼等を実施し、事業を支援した。 ○平成25年度 114件承認	○	後援名義使用承認事務を執行し、許可された事業のポスター・チラシ等について、文化振興課窓口にて掲示等をする とともに、関係施設への設置・配布依頼等を実施し、事業を支援した。 ○平成26年度 98件承認(1月末)	文化振興課
21203	地域の芸術家・文化人育成事業	市内の芸術家や文化人を育成する事業を支援する。	○		○		○	「ピアノ伴奏法講座」を開催し、聴講生も含め若手芸術家の育成に努めた。	○	「ピアニストのためのアンサンブル講座」を全10回開催し、聴講生も含め若手芸術家の育成に努めた。	○	「ピアニストのためのアンサンブル講座」を全10回開催し、聴講生も含め若手芸術家の育成に努めた。	静岡音楽館
21204	人材・団体のデータベース化	市内の文化人や団体の紹介を記したデータベースを作成する。 (生涯学習施設利用団体のサークルリストの作成、窓口での紹介。)	○		○		○	各生涯学習施設で、活動している文化団体のリストを作成し、窓口で紹介した。	○	各生涯学習施設で、活動している文化団体のリストを作成し、窓口で紹介した。	○	生涯学習施設で、活動している文化団体のリストを作成し、窓口で紹介した。	生涯学習推進課
21205	芸術家など文化を担う人や団体の交流場所の提供	芸術家など文化を担う人が交流する機会や場所を提供する。	○		○		○	「ストリートフェスティバル」「市民大音楽祭」等の開催を支援した。	○	「ストリートフェスティバル」「市民大音楽祭」等の開催を支援した。	○	「ストリートフェスティバル」「市民大音楽祭」等の開催を支援した。	文化振興課
21206	ボランティア活動推進事業	文化施設における展示物説明やイベント事業支援のためのボランティアを養成する等、文化事業開催にあたり、ボランティアを養成する。	○		○		○	展示物説明やイベント事業支援のためのボランティアを募集し、養成した。	○	展示物説明やイベント事業支援のためのボランティアを募集し、養成した。(各施設)	○	展示物説明やイベント事業支援のためのボランティアを募集し、養成した。(各施設)	静岡音楽館 静岡科学館 東海道広重美術館
21207	文化施設協働スタッフ養成・活用事業	市内で開催される文化事業へのボランティア参加募集やその参加者を養成する事業を実施する。	○		○		○	・ボランティアを募集し、「歓喜の歌大演奏会」「羽衣まつり」を実施した。(文化振興課) ・展示物説明やイベント事業支援のためのボランティアを募集し、養成した(各施設)	○	・ボランティアを募集し、「羽衣まつり」を実施した。(文化振興課) ・展示物説明やイベント事業支援のためのボランティアを募集し、養成した(各施設)	○	・ボランティアを募集し、「羽衣まつり」を実施した。(文化振興課) ・展示物説明やイベント事業支援のためのボランティアを募集し、養成した(各施設)	文化振興課 静岡音楽館 静岡科学館 東海道広重美術館
21208	絵本読み聞かせの会	絵本の読み聞かせボランティアグループ等が定期的に読み聞かせ会を行う。	○		○		○	各生涯学習施設において、市民団体による絵本の読み聞かせ講座を実施した。	○	各生涯学習施設において、市民団体による絵本の読み聞かせ講座を実施した。	○	生涯学習施設において、市民団体による絵本の読み聞かせ講座を実施した。	生涯学習推進課
21209	文化事業企画制作者の育成	各研修会への参加等文化事業指導者の育成支援。	○		○		○	文化振興財団において、職員を随時研修し、指導者の育成に努めた。	○	文化振興財団において、職員を随時研修し、指導者の育成に努めた。	○	文化振興財団において、職員を随時研修し、指導者の育成に努めた。	文化振興課
21211	まちづくりへの提言	まちづくり等の計画策定にあたり、文化行政の視点から提言する。	△	情報を収集している段階	△	提言の機会なし	△	提言の機会なし	○	総合計画や各種計画会議において、文化振興の視点から、まちづくりに文化の力を取り入れるべく提案を行った。	○	総合計画や各種計画会議において、文化振興の視点から、まちづくりに文化の力を取り入れるべく提案を行った。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容及びも実施理由	
21212	指定管理者制度の導入	指定管理者による施設専門事業の展開を図る。	○		○		○	文化振興課所管の文化施設について、市民ギャラリー中勤助文学記念館を除き指定管理者制度を引き続き導入した。	○	文化振興課所管の文化施設について、市民ギャラリー中勤助文学記念館を除き指定管理者制度を引き続き導入した。	○	文化振興課所管の文化施設について、市民ギャラリー、中勤助文学記念館、芹沢銈介美術館を除き指定管理者制度を引き続き導入した。	文化振興課
21213	講座の開催(再掲)	静岡音楽館、静岡科学館や市民団体等と共催により講座を開催する。	○		○		○	各生涯学習施設において、NPO、市民団体、他機関との共催事業を実施した。	○	各生涯学習施設において、NPO、市民団体、他機関との共催事業を実施した。	○	生涯学習施設において、NPO、市民団体、他機関との共催事業を実施した。	生涯学習推進課
21214	茶手揉み保存事業(再掲)	茶の製造技術の原点である手揉み製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉み実演などの事業を実施する。	○		○		○	手揉み講習会の実施等により手揉み製茶技術の保存と向上を図り、後継者を育成するとともに、イベントや学校での手揉みの実演を行った。	○	手揉み講習会の実施等により手揉み製茶技術の保存と向上を図り、後継者を育成するとともに、イベントや学校での手揉みの実演を行った。	○	手揉み講習会の実施等により、手揉み製茶技術の保存と向上を図り、後継者を育成するとともに、イベントや学校での手揉みの実演を行った。	農業政策課
21215	人材養成塾	主体的にまちづくりに関わっていける人材を養成する。	○		○		○	講座の企画運営をプロポーザルで募集し事業を実施。キックオフイベントの開催、全16日(21コマ)の講座を実施した。	○	講座の企画運営をプロポーザルで募集し事業を実施。一般コース、専門コースを実施した。	○	講座の企画運営をプロポーザルで募集し事業を実施。一般コース、専門コースを実施した。	生涯学習推進課
方策 3	生涯学習活動への支援(生涯を通じて文化と触れ合える環境をつくる)												
21301	市民が参加できる文化事業の推進	おやこ書道展や公募写真コンテスト、版画コンクールを開催し、一般市民が気軽に参加できる公募展や舞台公演開催事業を推進する。	○		○		○	・「親子書道展」の開催を支援した(文化振興課) ・市民文化祭において、「写真」「花」「書道」「美術」「クラフト」「川柳」の公募を行い、優秀作品を表彰した。(文化振興課) ・「版画コンクール」を実施した。(広重) ・生涯学習施設のロビー、展示スペースでの作品展や、生涯学習施設まつり等での学習活動の発表など、市民が参加できる文化事業の推進を行った。(生涯学習推進課)	○	・「親子書道展」の開催を支援した(文化振興課) ・市民文化祭において、「写真」「花」「書道」「美術」「クラフト」「川柳」の公募を行い、優秀作品を表彰した。市長賞6人、奨励賞46人(文化振興課) ・富士山世界遺産登録に併せて、写真コンテスト『GREAT MOUNTAIN FUJI/富士山「じぶん」遺産』を開催し、多くの市民からの作品を募集、入賞作品を展示した。(広重美術館) ・『ゆい年賀状版画コンクール』を開催し、多くの市民からの作品を募集、同一敷地内の東海道由比宿交流館で入賞作品を展示した。(広重美術館) ・生涯学習施設のロビー、展示スペースでの作品展や、生涯学習施設まつり等での学習活動の発表など、市民が参加できる文化事業の推進を行った。(生涯学習推進課)	○	・「親子書道展」の開催を支援した(文化振興課) ・市民文化祭において、「写真」「花」「書道」「美術」「クラフト」「川柳」の公募を行い、優秀作品を表彰した。市長賞6人、奨励賞49人(文化振興課) ・カール・ランダルによるワークショップを実施し、小学生とアーティストが一緒に作成した作品を美術館内に展示した。(広重美術館) ・『ゆい年賀状版画コンクール』を開催し、多くの市民からの作品を募集、同一敷地内の東海道由比宿交流館で入賞作品を展示した。(広重美術館) ・生涯学習施設のロビー、展示スペースでの作品展や、生涯学習施設まつり等での学習活動の発表など、市民が参加できる文化事業の推進を行った。(生涯学習推進課)	文化振興課 東海道広重美術館 生涯学習推進課
21302	市民と一体となった文化事業の促進	運営から出演者まで、市民との協働で行われる文化事業を促進する。	○		○		○	「羽衣まつり」「市民による歓喜の歌大演奏会」等を市民と協働で開催した。	○	「羽衣まつり」「市民による歓喜の歌大演奏会」等を市民と協働で開催した。	○	「羽衣まつり」「市民による歓喜の歌大演奏会」等を市民と協働で開催した。	文化振興課
21303	幅広い年齢層との文化事業の連携事業の開催	主催事業において、地域の高齢者や学生と連携した事業を開催する。	○		○		○	・静岡コミュニティダンスプロジェクト等を開催した(市民文化会館) ・各生涯学習施設において、地域大学生や高齢者との連携による体験学習講座を実施した。(生涯学習推進課)	○	・静岡コミュニティダンスプロジェクト等を開催した(静岡市民文化会館) ・各生涯学習施設において、地域大学生や高齢者との連携による体験学習講座を実施した。(生涯学習推進課)	○	・静岡コミュニティダンスプロジェクト等を開催した(静岡市民文化会館) ・生涯学習施設において、地域大学生や高齢者との連携による体験学習講座を実施した。(生涯学習推進課)	静岡市民文化会館 生涯学習推進課
21304	世代間交流事業の推進	大人のための鑑賞、科学教室を開催する等、多くの年齢層が一堂に集い、互いに刺激しあう文化事業を推進する。	○		○		○	・静岡コミュニティダンスプロジェクト等を開催した(静岡市民文化会館) ・サイエンスカフェ、科学教室など、大人から子どもまで参加できる事業を展開した。(科学館) ・「プレゼントワークショップ」や「暦とあそびワークショップ」など親子を対象としたワークショップを開催した。(美術館)	○	・静岡コミュニティダンスプロジェクト等を開催した(静岡市民文化会館) ・サイエンスカフェ、科学教室など、大人から子どもまで参加できる事業を展開した。(科学館) ・「プレゼントワークショップ」や「暦とあそびワークショップ」など親子を対象としたワークショップを開催した。(美術館)	○	・静岡コミュニティダンスプロジェクト等を開催した(静岡市民文化会館) ・サイエンスカフェ、科学教室など、大人から子どもまで参加できる事業を展開した。(科学館) ・「プレゼントワークショップ」や「暦とあそびワークショップ」など親子を対象としたワークショップを開催した。(美術館)	静岡市民文化会館 静岡科学館 静岡市美術館
21305	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、生涯学習活動を支援する。	○		○		○	図書館資料を収集・保存し、貸出・レファレンスサービス等をおして、市民の生涯学習活動の支援を行った。 ○平成24年度 個人貸出点数・・・4,494,969点 レファレンス数・・・43,921件 コピーサービス・・・68,256枚	○	図書館資料を収集・保存し、貸出・レファレンスサービス等をおして、市民の文化活動の支援を行った。 ○平成25年度 個人貸出点数・・・4,496,934点 レファレンス数・・・40,397件 コピーサービス・・・64,124枚	○	図書館資料を収集・保存し、貸出・レファレンスサービス等をおして、市民の文化活動の支援を行った。 ○平成26年度(1月末) 個人貸出点数・・・3,681,370点 レファレンス数・・・33,639件 コピーサービス・・・53,255枚	中央図書館
21306	ワークショップなど展覧会の関連事業の開催	ワークショップなど展覧会の関連事業を実施する。	○		○		○	・自主事業、企画展に関連したワークショップ、講演会等を開催した。	○	・自主事業、企画展に関連したワークショップ、講演会等を開催した。 ・『ゆい年賀状版画コンクール』に併せて年賀状版画教室を行うなど、展覧会に併せてワークショップや講演会を行った。(広重美術館) ・小学校や中学校だけでなく、A.C.C国際交流学園等へと出張し、出張ワークショップを行った。(広重美術館)	○	・自主事業、企画展に関連したワークショップ、講演会等を開催した。 ・『ゆい年賀状版画コンクール』に併せて年賀状版画教室を行うなど、展覧会に併せてワークショップや講演会を行った。(広重美術館) ・小学校や中学校だけでなく、A.C.C国際交流学園等へと出張し、出張ワークショップを行った。(広重美術館)	静岡市民文化会館 静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館 東海道広重美術館



事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容及びも実施理由	
方策 4	豊かな心をつちかう教育への支援(教育を通じて文化と触れ合う機会を創出する)												
21401	学校と連携した文化教育プログラムの実施	学校内の音楽会や芸術祭を共催する等、音楽・美術・科学の分野で学校と連携した事業を展開する。	○		○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と校内音楽会を共催した。(音楽館)</li> <li>県立大学等市内の学校との連携事業を実施した。(美術館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と校内音楽会を共催した(音楽館)</li> <li>「しずおかの環境を学ぶ会」(入場者数:123人)、「理科大好き教室」(全11回、入場者数:258人)等大学との連携事業を実施した。(科学館)</li> <li>静岡大学等と連携し、「静岡大学アートマネジメント力育成事業」を実施した。(美術館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と校内音楽会を共催した(音楽館)</li> <li>「理科大好き教室」(全10回、入場者数:274人)等大学との連携事業を実施した。(科学館)</li> <li>静岡大学等と協力し、「静岡大学アートマネジメント力育成事業」を実施した。(美術館)</li> <li>「高校生吹奏楽フェスティバル」(入場者数:1,119人)を実施した。(静岡市民文化会館)</li> </ul>	静岡市民文化会館 清水文化会館 静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館		
21402	次代の鑑賞者の育成を図る事業の展開	子どものための音楽ひろば等、ワークショップ、教室、講座の開催を通じて、芸術文化への子供たちの意識を高める事業を行う。	○		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学生を対象とした「オーケストラ鑑賞事業」を開催した。(文化振興課)</li> <li>「子どもたちのための見学会」、「子どものためのコンサート」を開催した(音楽館)</li> <li>「理数大好き教室」、「自由研究相談会」を開催した(科学館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学生を対象とした「オーケストラ鑑賞事業」を開催した。(文化振興課)</li> <li>「理数大好き教室」(全11回、入場者数:258人)、「自由研究相談会」(全5回、入場者数:222人)を開催した(科学館)</li> <li>小～高校生を対象とした展覧会鑑賞教室「ミュージアム教室」を開催した。(美術館)</li> <li>2歳以上の未就学児を対象としたワークショップ「しずびちびこプログラム」や小学生以上を対象とした「しずびオープンアトリエ」等年齢に応じた多様なワークショップを開催した(美術館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学生を対象とした「オーケストラ鑑賞事業」を開催した。(文化振興課)</li> <li>「特別支援学校・学級の子どものための見学会」、「子どものためのコンサート」を開催した(音楽館)</li> <li>「理数大好き教室」(全10回、入場者数:274人)、「自由研究相談会」(全5回、入場者数:167人)を開催した(科学館)</li> <li>小～高校生を対象とした展覧会鑑賞教室「ミュージアム教室」を開催した。(美術館)</li> <li>2歳以上の未就学児を対象としたワークショップ「しずびちびこプログラム」や小学生以上を対象とした「しずびオープンアトリエ」等年齢に応じた多様なワークショップを開催した(美術館)</li> </ul>	文化振興課 静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館			
21403	こどもたちが本物の芸術に触れる機会の創設	学校独自で実施する芸術鑑賞教室、講座を支援する。	○		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校を訪問し、コンサートを開催した(音楽館)</li> <li>学校を訪問し「移動科学館」を開催した(科学館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校を訪問し、コンサートを開催した(音楽館)</li> <li>学校を訪問し「移動科学館」を開催した(科学館)</li> <li>小～高校生を対象とした展覧会鑑賞教室「ミュージアム教室」を開催した(美術館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校を訪問し、ピアノミニコンサート「どこでもAOI」を開催した(音楽館)</li> <li>学校を訪問し「移動科学館」を開催した(科学館)</li> <li>小～高校生を対象とした展覧会鑑賞教室「ミュージアム教室」を開催した(美術館)</li> </ul>	静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館			
21404	子どものための優れた舞台芸術体験事業	音楽劇、オーケストラ、能楽、ミュージカル鑑賞	○		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回公演事業に8校、派遣事業に1校が採択され、実施した。派遣では伝統芸能の指導を、巡回では、箏の演奏やマジック、演劇をしていただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回公演事業に6校、派遣事業に3校が採択され、実施した。派遣では伝統芸能の指導を、巡回では、箏の演奏やマジック、演劇をしていただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回公演事業に7校、派遣事業に7校が採択され、実施した。派遣では伝統芸能の指導を、巡回では、箏の演奏やマジック、演劇をしていただいた。</li> </ul>	学校教育課(文化庁)			
21405	芸術鑑賞機会の充実	市民が気軽に芸術文化の鑑賞ができる機会を提供する。	○		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>「Hotひといきコンサート」を開催した。(文化振興課)</li> <li>コンサートシリーズにおいて、「22歳以下1000円」とし鑑賞機会を促進した。また、主婦や高齢者の声に答え短時間で安価な「ランチタイムコンサート」を開催した。(音楽館)</li> <li>「ギャラリートーク」、「ワークショップ」を開催した(美術館)</li> <li>「Hotひといきコンサート」を開催した。(文化振興課)</li> <li>コンサートシリーズにおいて、「22歳以下1000円」とし鑑賞機会を促進した。また、主婦や高齢者の声に答え短時間で安価な「ランチタイムコンサート」を開催した。(音楽館)</li> <li>「ギャラリートーク」、「ワークショップ」を開催した(美術館)</li> <li>「レオナルド・フジタとパリ 1913-1931」展等多様なジャンルの展覧会を5本開催した。(美術館)</li> <li>展覧会関連事業として、講演会や学芸員による「ギャラリートーク」等を開催した。(美術館)</li> <li>小～高校生を対象とした展覧会鑑賞教室「ミュージアム教室」を開催した。(美術館)</li> <li>Facebookを利用し、より多くの人々が広重美術館の情報を接する機会を提供した。(広重美術館)</li> <li>インターネット上で世界に広く広重美術館の情報を発信することを目的とし、Google Art Projectに参加した。(広重美術館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Hotひといきコンサート」を開催した。来場者数:延べ7,129人(文化振興課)</li> <li>コンサートシリーズにおいて、「22歳以下1000円」とし鑑賞機会を促進した。また、短時間で安価な「ランチタイムコンサート」や「オルガン500円コンサート」を開催した。(音楽館)</li> <li>「ギャラリートーク」、「ワークショップ」を開催した(美術館)</li> <li>FCオケと「超・名曲クラシック」を共催実施し、クラシック鑑賞機会を提供した。(清水文化会館)</li> <li>「レオナルド・フジタとパリ 1913-1931」展等多様なジャンルの展覧会を5本開催した。(美術館)</li> <li>展覧会関連事業として、講演会や学芸員による「ギャラリートーク」等を開催した。(美術館)</li> <li>小～高校生を対象とした展覧会鑑賞教室「ミュージアム教室」を開催した。(美術館)</li> <li>Facebookを利用し、より多くの人々が広重美術館の情報を接する機会を提供した。(広重美術館)</li> <li>インターネット上で世界に広く広重美術館の情報を発信することを目的とし、Google Art Projectに参加した。(広重美術館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Hotひといきコンサート」を開催した。来場者数:延べ6,492人(1月末)(文化振興課)</li> <li>コンサートシリーズにおいて、「22歳以下1000円」とし鑑賞機会を促進した。また、短時間で安価な「ランチタイムコンサート」や「オルガン500円コンサート」を開催した。(音楽館)</li> <li>「佐渡裕×シエナ・ウインド・オーケストラ」など音楽及び演劇の鑑賞事業を実施した。(清水文化会館)</li> <li>「ギャラリートーク」、「ワークショップ」を開催した(美術館)</li> <li>「巨匠の眼 川端康成と東山魁夷」展等多様なジャンルの展覧会を6本開催した。(美術館)</li> <li>展覧会関連事業として、講演会や学芸員による「ギャラリートーク」等を開催した。(美術館)</li> <li>小～高校生を対象とした展覧会鑑賞教室「ミュージアム教室」を開催した。(美術館)</li> <li>Facebookを利用し、より多くの人々が広重美術館の情報を接する機会を提供した。(広重美術館)</li> <li>清水港に客船が入港した際、客船を見に訪れた市民や客船の乗客に対して摺り絵体験をしてみようなど、PR活動を行った。(広重美術館)</li> </ul>	文化振興課 清水文化会館 静岡音楽館 静岡市美術館 東海道広重美術館			

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容及び未実施理由	
21406	文化・学習施設と学校との連携の支援	市内文化・学習施設と学校との連携を強化し、その推進を図る。	○		○		○	・「ギャラリートーク」、「ワークショップ」を開催した(美術館) ・「科学館学習」、「移動科学館」を実施した(科学館) ・小中学校への出前講座を実施した(広重)	○	・小～高校生を対象とした展覧会鑑賞教室「ミュージアム教室」を開催した。(美術館) ・「科学館学習」、「移動科学館」を実施した。実施日数計:51日、入場者数:1,892人(科学館) ・小中学校及びA.C.C国際交流学園等への出前講座を実施した(広重美術館)	○	・小～高校生を対象とした展覧会鑑賞教室「ミュージアム教室」を開催した。(美術館) ・「科学館学習」、「移動科学館」を実施した。実施日数計:29日、入場者数:1,478人(1月末)(科学館) ・学校の社会科見学等に対応するスクールプログラムを企画した。(広重美術館)	静岡市美術館 静岡科学館 東海道広重美術館
21407	お茶の美味しい入れ方教室	小学校における総合学習の時間を利用し、お茶に対する味覚を育み、お茶を中心とした食育を図るとともに、お茶の啓蒙・消費促進を図ることを目的に、日本茶インストラクターによるお茶の入れ方教室を開催する。	○		○		○	実施期間:H24.9.20～H25.2.14 実施校数:63校(市立61、国立1、私立1) 時限数:164時限 児童数:4,820人	○	実施期間:H25.9.18～H26.2.12 実施校数:68校(市立66、国立1、私立1) 時限数:191時限 児童数:5,449人	○	実施期間:H26.6.18～H27.2.13 実施校数:72校(市立70、国立1、私立1) 教室数:196教室 児童数:5,614人(1月末)	農業政策課
21408	小学生T-1グランプリ	市内の小学生4～6年生を対象に、お茶についての筆記クイズ、お茶の種類当て、お茶の入れ方を競い日本茶の茶(チャ)ンピオンを決めるT-1(ティーワン)グランプリを開催する。	○		○		○	茶業青年団がT-1グランプリを開催。 実施日:H25.2.10 参加者数:60人	○	茶業青年団の協力を得て、静岡市茶業振興協議会がT-1グランプリを開催。 実施日:H26.2.8 参加者:69人	○	市内の小学生3～6年生を対象に、お茶についての筆記クイズ、お茶の種類当て、お茶の入れ方を競うT-1グランプリを開催 実施日:H27.2.7(土) 場所:JA静岡市本店	【静岡市茶業振興協議会(農業政策課)】
21409	講座の開催(再掲)	学校と連携した講座を開催する。	○		○		○	学校を会場とした家庭教育学級を16学級実施した。	○	学校を会場とした家庭教育学級を実施した。	○	学校を会場とした家庭教育学級を実施した。	生涯学習推進課
21410	公開講座の開催	公開講座を開催する。	○		○		○	女性学級、高齢者学級で実施している事業を一部一般にも公開した。	○	家庭教育学級、高齢者学級で実施している事業を一部一般にも公開した。	○	家庭教育学級、高齢者学級で実施している事業を一部一般にも公開した。	生涯学習推進課
21411	地場産品体験学習事業	本市の地場産産を学ぶ小学4年生が、授業の一環として駿府匠宿で体験学習を行う際に補助を行う。	○		○		○	52校3,836人実施	○	50校3,295人実施	○	46校3,614人実施予定の内、1月末で36校2,969人の実施	産業振興課

文化振興ビジョン〔第2期実施計画〕 進捗状況調査票(221~224)

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して													
目標	2	地域性豊かな市民文化の創造											
方向	2	文化活動の環境整備											
方策	1	文化基盤整備の検討(文化を意識したまちづくりを展開する)											
事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
22101	行政における文化的視点の導入促進	まちづくり計画等において文化的視点を盛り込む。	△	情報を収集している段階。	△	情報を収集している段階。	△	情報を収集している段階。	○	総合計画や各種計画会議において、文化振興の視点から、まちづくりに文化の力を取り入れるべく提案を行った。	○	総合計画や各種計画会議において、文化振興の視点から、まちづくりに文化の力を取り入れるべく提案を行った。	文化振興課
22102	市民意見の調査	文化事業の展開や、文化施策について市民意見の調査を行う。	○		○		○	各文化施設での事業に対するアンケート調査を実施した(指定管理者)	○	各文化施設での事業に対するアンケート調査を実施した(指定管理者)	○	各文化施設での事業に対するアンケート調査を実施した(指定管理者)	文化振興課
22103	街角の芸術空間の創出	各地域の街角において、芸術文化に関する事業展開を実施する。	○		○		○	各区分所ロビー等:HOTひといきコンサート等 ・ストリートフェスティバルの開催支援	○	各区分所ロビー等:HOTひといきコンサート等 ・ストリートフェスティバルの開催支援	○	各区分所ロビー等:HOTひといきコンサート等 ・ストリートフェスティバルの開催支援	文化振興課
22104	集客圏の拡大を図るための戦略の検討	文化事業と観光を一体として捉え、集客を目的とした文化事業を検討する。	○		○		○	「羽衣まつり」を含めたツアーの企画を市内外の旅行社に依頼し、受入を行った。	○	「羽衣まつり」を含めたツアーの企画を市内外の旅行社に依頼し、受入を行った。	○	「羽衣まつり」を含めたツアーの企画を市内外の旅行社に依頼し、受入を行った。	文化振興課
方策	2	文化活動拠点の整備(施設の充実・連携を通じて、文化活動を行う環境を整える)											
22201	魅力溢れる既存文化施設改修事業	高齢者や身障者にやさしい文化施設を目指した施設整備を行う。	○		×		○	静岡市民文化会館のトイレを洋式に変えるなどの修繕を実施した。	○	利用者の安全確保のため、静岡音楽館ホール2階席の段差部分に手すりを整備した。	○	利用者の安全確保のため、静岡音楽館ホール親子室に手すりや照明を整備した。	文化振興課
22202	文化施設耐震化事業	静岡市民文化会館等の耐震工事改修計画を立案する。	○		○		○	所管の文化施設を一体的に、効率的効果的な修繕計画を立てるため、現状調査を行った。	○	所管の文化施設を一体的に、効率的効果的な修繕計画を立てるため、現状調査を行った。	○	音楽館、清水文化会館の吊天井の改修に向け、設計業務を開始した。	文化振興課
22203	充実した施設と備品提供事業	利用者の立場に立った文化施設の備品や設備を維持し充実させる。	○		○		○	一体的に管理し、効率的効果的に備品の購入及び改修等を実施した。	○	一体的に管理し、効率的効果的に備品の購入及び改修等を実施した。	○	一体的に管理し、効率的効果的に備品の購入及び改修等を実施した。	文化振興課
22204	文化施設周辺環境整備事業	文化施設の周辺の環境を整備する。	○		○		×	対象事業なし	×	対象事業なし	×	対象事業なし	文化振興課
22205	新規文化施設建設検討事業	新規文化施設整備の検討や建設を行う。	○		○		○	清水駅東地区文化施設整備事業として、PFI事業により整備を進めてきた「清水文化会館『マリナート』」が完成し、平成24年8月1日に開館した。	○	平成24年度清水文化会館建設完了・開館			文化振興課
22206	文化施設の専門的な運営方法検討事業	指定管理者制度の運営方法を検討する。	○		○		○	各施設とも年3回モニタリングを行い、運営状況の確認・指導を実施した。	○	各施設とも年3回モニタリングを行い、運営状況の確認・指導を実施した。	○	各施設とも年3回モニタリングを行い、運営状況の確認・指導を実施した。	文化振興課
22207	施設の共有化	文化施設利用申請の電算化等、施設間のシステムを共有化し、情報や利用手続きの簡便化を図る。	○					事業削除					文化振興課
22208	文化施設ネットワークの構築	文化施設の指定管理者内におけるネットワークの構築を推進する。	○		○		○	文化振興財団と連携し、文化情報誌「しずおかイベントニュース」を毎月発行し、広く市民にイベントの情報を発信した。	○	文化振興財団と連携し、文化情報誌「しずおかイベントニュース」を毎月発行し、広く市民にイベントの情報を発信した。	○	文化振興財団と連携し、文化情報誌「しずおかイベントニュース」を毎月発行し、広く市民にイベントの情報を発信した。	文化振興課
22209	民間施設との連携	民間施設等と連携し、共催文化イベント開催を検討する。	○		○		×		○	民間施設及び商店街と協力し「清水にぎわい落語まつり」を開催した。(清水文化会館)	○	民間施設及び商店街と協力し「清水にぎわい落語まつり」を開催した。(入場者数:1,885人)(清水文化会館)	清水文化会館
方策	3	芸術文化の鑑賞機会の充実(芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成する)											
22301	質の高い事業開催の推進	指定管理者による上質な、音楽・美術・舞台芸術・科学文化の分野の事業を開催する。	○		○		○	各館において、指定管理者のノウハウを生かし上質な自主事業を展開した。	○	各館において、指定管理者のノウハウを生かし、上質な自主事業を展開した。(文化振興課所管施設) ・指定管理者が専門知識を持った外部協力者と連携し、より魅力的な企画を提供した。(広重美術館)	○	各館において、指定管理者のノウハウを生かし、上質な自主事業を展開した。(文化振興課所管施設) ・指定管理者が専門知識を持った外部協力者と連携し、より魅力的な企画を提供した。(広重美術館)	文化振興課所管施設 東海道広重美術館
22303	親子で楽しめる事業の推進	親子のためのコンサートやイベントの開催を推進する。	○		○		○	・「子どものためのコンサート」など、親子を対象とした事業を実施した(音楽館) ・親子向けギャラリートーク、親子向けのワークショップを開催した。(美術館) ・親子向けのサイエンスショー、ワークショップを開催した(科学館)	○	・「子どものためのコンサート」など、親子を対象とした事業を実施した(音楽館) ・「プレゼントワークショップ」や「暦とあそびワークショップ」など親子を対象としたワークショップを開催した。(美術館) ・親子向けのサイエンスショー、ワークショップを開催した(科学館)	○	・「子どものためのコンサート」など、親子を対象とした事業を実施した(音楽館) ・「プレゼントワークショップ」や「暦とあそびワークショップ」など親子を対象としたワークショップを開催した。(美術館) ・親子向けのサイエンスショー、ワークショップを開催した(科学館)	静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館
22304	大型文化事業の開催と招致の検討	上質な長期公演事業を誘致し、文化振興と静岡周辺商業の振興と活性化を図る。	○		○		○	平成25年度のロングラン公演実施に向けて協議を進めた。	○	劇団四季のミュージカル「キャッツ」のロングラン公演を実施した。チケット販売枚数:91,074枚	○	・平成27年度事業として、「レ・ミゼラブル静岡公演」の誘致開催が決定した。(清水文化会館) ・平成27年度事業として、『美女と野獣』静岡公演の開催が決定した。(文化振興課)	文化振興課 清水文化会館

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
22305	文化事業要望調査実施事業	未来の文化事業の対策に反映させるため、アンケート調査やリサーチを継続実施する。	○		○		○	・各施設で運営委員会を実施した。(各施設) ・各文化施設で、利用に関するアンケート調査を実施した。(各施設) ・静岡科学館において「る・く・るキッズミーティング」を実施した。(科学館)	○	・各施設で運営委員会を実施した。(各施設) ・各文化施設で、利用に関するアンケート調査を実施した。(各施設) ・利用者懇話会を実施した。(清水文化会館)	○	・各施設で運営委員会を実施した。(各施設) ・各文化施設で、利用に関するアンケート調査を実施した。(各施設) ・利用者懇話会を実施した。(清水文化会館)	文化振興課所管施設 東海道広重美術館
22306	特色ある自主事業の実施	文化施設による芸術文化事業の開催を推進する。	○		○		○	・各館の指定管理者が、多彩な芸術文化事業を実施した。(文化振興課、各施設) ・年3回の企画展を実施した。(芹美) 観覧者数19,106人 呈茶事業、型絵染講座などの教育普及事業も実施した。	○	・各館の指定管理者が、多彩な芸術文化事業を実施した。(文化振興課所管施設) ・年4回の企画展を実施した。観覧者数17,045人。また、呈茶事業、型絵染講座、ワークショップなどの教育普及事業も実施した。(芹沢銈介美術館) ・富士山の世界遺産登録にあわせ、富士山文化遺産登録特別企画展を行った。(広重美術館)	○	・各館の指定管理者が、多彩な芸術文化事業を実施した。(文化振興課所管施設) ・年4回の企画展を実施した。観覧者数16,379人(1月末)。また、呈茶事業、型絵染講座、ワークショップなどの教育普及事業も実施した。(芹沢銈介美術館) ・広重美術館がある由比本陣公園開設20周年にあわせた事業を行った。(広重美術館) ・徳川家康公顕彰四百年記念事業として、企画展「大御所様の東海道」を実施した。(広重美術館)	文化振興課所管 東海道広重美術館
22307	鑑賞機会の拡大を図る	小・中学生を対象とした文化事業を支援し、鑑賞機会の拡大を図る。	○		○		○	・伝統文化寺子屋、オーケストラ鑑賞事業を開催した。(文化振興課) ・「どこでもAOI」出張コンサート、「子どものための音楽ひろば」、「子どものためのコンサート」を開催した。(音楽館) ・各企画展示毎にミュージアム教室を開催した。(美術館) ・「科学館学習」や「移動科学館」等学習会を開催した。(科学館)	○	・伝統文化寺子屋(入場者数:187人)、オーケストラ鑑賞事業(来場者数:2,020人)を開催した。(文化振興課) ・「どこでもAOI」出張コンサート、「子どものための音楽ひろば」、「子どものためのコンサート」を開催した。(音楽館) ・小～高校生を対象とした展覧会鑑賞教室「ミュージアム教室」を開催した。(美術館) ・「プレゼントワークショップ」や「暦とあそびワークショップ」、「しずびオープンアトリエ」等小学生以上を対象とした多様なワークショップを開催した。(美術館) ・「科学館学習」や「移動科学館」等学習会を開催した。実施日数計:51日、入場者数:1,892人(科学館)	○	・伝統文化寺子屋(入場者数:197人)、オーケストラ鑑賞事業(来場者数:集計中)を開催した。(文化振興課) ・「どこでもAOI」出張コンサート、「子どものための音楽ひろば」、「子どものためのコンサート」を開催した。(音楽館) ・小～高校生を対象とした展覧会鑑賞教室「ミュージアム教室」を開催した。(美術館) ・「プレゼントワークショップ」や「暦とあそびワークショップ」、「しずびオープンアトリエ」等小学生以上を対象とした多様なワークショップを開催した。(美術館) ・「科学館学習」や「移動科学館」等学習会を開催した。実施日数計:29日、入場者数:1,478人(1月末)(科学館)	文化振興課 静岡音楽館 静岡市美術館 静岡科学館
22308	新しい文化事業の研究と開催	他都市施設及び各種文化団体の実績や文化系シンクタンクの調査結果を参考に等して、新たな文化事業を研究し、実施する。	○		○		○	大都市文化行政会議へ参加し、他都市の情報収集を図った。	○	大都市文化行政会議へ参加し、他都市の情報収集を図った。	○	大都市文化行政会議へ参加し、他都市の情報収集を図った。	文化振興課
22309	しずおかコンテンツバレー構想	静岡市クリエイター支援センターを拠点としたクリエイターの育成、コンテンツ産業の普及啓発及び振興。コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング、国際協業、情報発信事業に対する助成、支援。	○		○		○	・静岡市クリエイター支援センターにてクリエイターを育成した(平成24年度入居3組。退出2組)。 ・同センターにて、海外クリエイター等によるコンテンツ関連セミナー・研修会を15件開催した。 ・コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング(10件)、情報発信事業(SCVF「街くり」:店舗とクリエイターとのコラボレーションプロジェクト16件)に対する助成・支援を実施した。	○	・静岡市クリエイター支援センターにてクリエイターを育成した(平成25年度入居1組。退出1組)。 ・同センターにて、海外クリエイター等によるコンテンツ関連セミナー・研修会を7件開催した。 ・コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング(5件)、情報発信事業(SCVF「街くり」:店舗とクリエイターとのコラボレーションプロジェクト17件)に対する助成・支援を実施した。	○	・静岡市クリエイター支援センターにてクリエイターを育成した(平成26年度入居3組)。 ・同センターにて、海外クリエイター等によるコンテンツ関連セミナー・研修会を5件開催した。 ・コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング(2件)、情報発信事業(SCVF「街くり」:店舗とクリエイターとのコラボレーションプロジェクト21件)に対する助成・支援を実施した。	産業政策課
方策 4	協働による施設の整備と運営(市民との協働を通じた文化施設の整備と運営方法を検討する)												
22401	文化施設整備における市民・民間との協働	文化施設整備手法に市民や民間との協働を取り入れる。	○		○		○	・指定管理者との協働運営を実施した。 ・文化情報の提供と広報を実施した。 ・清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業を実施する民間事業者とPFI事業を推進した。	○	・指定管理者との協働運営を実施した。 ・文化情報の提供と広報を実施した。 ・清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業を実施する民間事業者とPFI事業を推進した。	○	・指定管理者との協働運営を実施した。 ・文化情報の提供と広報を実施した。 ・清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業を実施する民間事業者とPFI事業を推進した。	文化振興課
22402	市民文化活動の拠点となる施設運営方法の検討	ボランティアを含む文化活動拠点の運営に市民参加を促進する。	○		○		○	静岡科学館、静岡音楽館、広重美術館、静岡市美術館関連事業への参加を推進した。	○	静岡科学館、静岡音楽館、広重美術館、静岡市美術館関連事業への参加を推進した。 ・展示物説明やイベントの事業支援のためのボランティアを募集し、養成した。(広重美術館)	○	静岡科学館、静岡音楽館、広重美術館、静岡市美術館関連事業への参加を推進した。 ・展示物説明やイベントの事業支援のためのボランティアを募集し、養成した。(広重美術館)	文化振興課 東海道広重美術館
22403	市民による文化活動の環境整備	情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行う。	○		○		○	文化振興課、各文化施設、学校へのチラシ、ポスターの配布協力等の情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行った。 事業番号=21202 文化事業の支援後援名義使用承認等(包含)	○	文化振興課、各文化施設、学校へのチラシ、ポスターの配布協力等の情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行った。 事業番号=21202 文化事業の支援後援名義使用承認等(包含)	○	文化振興課、各文化施設、学校へのチラシ、ポスターの配布協力等の情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行った。 事業番号=21202 文化事業の支援後援名義使用承認等(包含)	文化振興課 東海道広重美術館

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
22404	ボランティア、サポーターの育成	各文化施設においてボランティア登録を実施し、市の文化活動への協力者を育成する。	○		○		○	展示物説明やイベント事業支援のためのボランティアを募集し、養成した。事業番号=21206 ボランティア活動推進事業(包含)	○	展示物説明やイベント事業支援のためのボランティアを募集し、養成した。事業番号=21206 ボランティア活動推進事業(包含)	○	展示物説明やイベント事業支援のためのボランティアを募集し、養成した。事業番号=21206 ボランティア活動推進事業(包含) ・サポーター制度を導入し、施設運営の一部に市民参加の機会を提供した。(清水文化会館)	文化振興課 静岡音楽館 静岡科学館 清水文化会館 東海道広重美術館
22405	市民の文化活動の拠点作り	市民の文化活動拠点の整備をする。	○		○		○	・清水駅東地区文化施設整備事業として整備を進めてきた、清水文化会館が開館した。 ・市民への施設利用募集広報を行った。	○	市民への施設利用募集広報を行った。	○	市民への施設利用募集広報を行った。	文化振興課

文化振興ビジョン〔第2期実施計画〕 進捗状況調査票(231~233)

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して													
目標	2 地域性豊かな市民文化の創造												
方向	3 地域資源を活かした文化事業の充実												
方策	1 地域資源の発掘と再認識(地域資源を把握し、保護する)												
事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
23101	地域資源の発掘・把握・保護	人材マップ作成等により、地域資源を把握し、これを保護する。(生涯学習施設利用団体のサークルリスト作成)	○		○		○	・文化振興財団、文化協会の人材マップを生涯学習施設等における文化講座・活動に活用した。(文化振興課) ・各生涯学習施設で、活動している文化団体のリストを作成し、窓口で紹介した。(生涯学習推進課)	○	・文化振興財団、文化協会の人材マップを生涯学習施設等における文化講座・活動に活用した。(文化振興課) ・各生涯学習施設で、活動している文化団体のリストを作成し、窓口で紹介した。(生涯学習推進課)	○	・文化振興財団、文化協会の人材マップを生涯学習施設等における文化講座・活動に活用した。(文化振興課) ・生涯学習施設で、活動している文化団体のリストを作成し、窓口で紹介した。(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課
23102	多彩な地域文化活動の基盤整備	地域資源の基である人材育成事業を展開する。	○		○		○	平野富山や竹久夢二作品等、市が収蔵する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を推進した。 事業番号=23103 地域資源再認識事業(包含)	○	平野富山や竹久夢二作品等、市が収蔵する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を推進した。 事業番号=23103 地域資源再認識事業(包含)	○	平野富山や竹久夢二作品等、市が収蔵する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を推進した。 事業番号=23103 地域資源再認識事業(包含)	文化振興課
23103	地域資源再認識事業	平野富山や竹久夢二作品等、市が収蔵する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を支援する。	○		○		○	・旧五十嵐邸にて竹久夢二展を開催した。 ・清水文化会館にて平野富山寄贈作品展を開催した。	○	・蒲原夢二研究会と協力し、清水区蒲原の旧五十嵐邸にて「竹久夢二」展を開催した。来場者数:356人 ・清水文化会館に平野富山作品の常設展示コーナーを設け、年3回の入替えを実施した。 ・作家中勘助の関連資料の調査研究を実施し、その成果を発表する講演会を開催した。来場者数:35人 ・作家中勘助の作品に触れる講演会を開催した。来場者数:39人 ・中勘助文学記念館の「杓子庵」の茅葺屋根の葺替えを実施し、完成にあわせ伝統建築である古民家に関する講演会を開催した。来場者数:38人	○	・蒲原夢二研究会と協力し、清水区蒲原の旧五十嵐邸にて「竹久夢二」展を開催した。来場者数:371人 ・清水文化会館に平野富山作品の常設展示コーナーを設け、年3回の入替えを実施した。 ・作家中勘助の関連資料の調査研究を実施し、その成果を発表する講演会を開催した。来場者数:35人 ・作家中勘助の愛した服織の草花を観察する自然観察会を開催した。	文化振興課
23104	地域資源整備事業	美術品台帳を整備する等、市が収蔵する美術品等を管理、修繕、整備し、資源を保存する事業を推進する。	○		○		○	D51型蒸気機関車清掃管理をD51保存会に管理を委託した。	○	市所有の美術品活用のため、「静岡市美術品カード集」の作成を開始した。	○	市所有の美術品活用のため、絵画、書、彫刻等の整理を行った。	文化振興課
方策	2 地域資源の整備と活用(地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開する)												
23201	地域資源活用事業	地域資源を活かした舞台芸術・文学事業を支援する。	○		○		○	羽衣伝説発祥の地で、「羽衣の松」を鏡板に新能を開催した。	○	・羽衣伝説発祥の地で、「羽衣の松」を鏡板に新能を開催した。(文化振興課) ・市民球団「清水エスパルス」と共催し、市民参加によるダンスミュージカルを上演した。(静岡市民文化会館)	○	・羽衣伝説発祥の地で、「羽衣の松」を鏡板に新能を開催した。(文化振興課) ・市民球団「清水エスパルス」と共催し、市民参加によるダンスミュージカルを上演した。(静岡市民文化会館) ・羽衣伝説を題材としたコンテンポラリーダンス公演を上演した。(清水文化会館)	文化振興課 静岡市民文化会館 清水文化会館
23202	地域資源紹介事業	地域資源(施設・自然・催事)を紹介する事業を行う。	○		○		○	随時パンフレット、広報誌等で紹介した。	○	随時パンフレット、広報誌等で紹介した。	○	随時パンフレット、広報誌等で紹介した。	文化振興課
23203	講座・ワークショップ開催事業	地元を知る講座の開講による意識高揚を図る。	○		○		○	各生涯学習施設において、地域で活動している団体との協働事業や、地域の食材を活用した料理講座、地域を散策し、歴史や文化を学ぶ事業などを実施した。	○	各生涯学習施設において、地域で活動している団体との協働事業や、地域の食材を活用した料理講座、地域を散策し、歴史や文化を学ぶ事業などを実施した。	○	生涯学習施設において、地域で活動している団体との協働事業や、地域の食材を活用した料理講座、地域を散策し、歴史や文化を学ぶ事業などを実施した。	生涯学習推進課
23204	地元出身文化人や有識者の活用の検討	地域で活動する文化人を取り上げ、周知させ、その活用を図る。	○		○		○	平野富山寄贈作品展を開催した。	○	清水文化会館に平野富山作品の常設展示コーナーを設け、年3回の入替えを実施した。	○	清水文化会館に平野富山作品の常設展示コーナーを設け、年3回の入替えを実施した。	文化振興課
23205	特色ある地域づくりへの側面的支援	地域の文化活動を行う団体や個人を支援方法を検討する。	○		○		○	事業番号=21101 文化活動支援事業(包含) 事業番号=22403 市民による文化活動の環境整備(包含)	○	事業番号=21101 文化活動支援事業(包含) 事業番号=22403 市民による文化活動の環境整備(包含)	○	事業番号=21101 文化活動支援事業(包含) 事業番号=22403 市民による文化活動の環境整備(包含)	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
23206	伝統工芸品首都圏PR事業	静岡県伝統工芸品展「駿河の手作り市 木と下駄と漆器と竹と染めと蒔絵と 静岡市の伝統工芸を受け継ぐクラフトマンたち」の開催	○		○		○	東京上野「2k540 AKI-OKA ARTISAN」にて秀士作品の展示と若手職人の作品の展示・販売を行い、静岡市の伝統工芸品に触れる機会を設けた。 期間：H24.9.6～11 来場者：約6,000人	○	東京上野「2k540 AKI-OKA ARTISAN」にて秀士作品の展示と若手職人の作品の展示・販売を行い、静岡市の伝統工芸品に触れる機会を設けた。 期間：H25.7.11～16 来場者：約6,600人	○	東京上野「2k540 AKI-OKA ARTISAN」にて秀士作品の展示と若手職人の作品の展示・販売を行い、静岡市の伝統工芸品に触れる機会を設けた。 期間：H26.7.17～22 来場者：約11,700人	産業振興課
23207	羽衣の松、世代交代イベントの開催	静岡市の重要な観光資源である「羽衣の松」の世代交代を全国発信するためのイベントを開催する。	○			平成22年度の事業実施により終了							観光・シティプロモーション課
方策 3	地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化する)												
23301	地場産業との連携事業の推進	地場産業の展示会等と連携した文化事業を推進する。	○		○		×	対象事業なし	×	対象事業なし	×	対象事業なし	文化振興課
23302	駿府匠宿管理運営	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産業と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	○		○		○	静岡市の各種伝統工芸の体験及び伝統工芸品の展示並びに映像体験を実施した。 伝統工芸の体験者 21,558人 展示映像体験者数 8,774人 総入場者数 300,390人 総使用料収入 42,241千円	○	静岡市の各種伝統工芸の体験及び伝統工芸品の展示並びに映像体験を実施した。 伝統工芸の体験者：18,433人 展示映像体験者数：6,445人 総入場者数：272,560人 総使用料収入：39,231千円	○	静岡市の各種伝統工芸の体験及び伝統工芸品の展示並びに映像体験を実施した。 伝統工芸の体験者：14,508人(1月末) 展示映像体験者数：4,294人(1月末) 総入場者数：188,280人(1月末) 総使用料収入：32,933千円(1月末)	産業振興課
23303	駿府楽市地場産品展示コーナー運営	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市地場産品を展示紹介する。	○		○		○	端午の節句展をはじめとして合計28回の企画展を実施した。 延べ来場者数：529,120人	○	端午の節句展をはじめとして合計27回の企画展を実施した。 延べ来場者数：411,230人	○	暮らしの調度展をはじめとして合計27回の企画展を実施予定の内、1月現在で23企画展実施した。延べ来場者数：343,591人(1月末)	産業振興課
23305	伝統工芸技術秀士顕彰・PR事業	本市伝統工芸産業に長年従事する技術者の内から、特に優秀な技術を有し、技術の伝承と発展に顕著な功績を有する者を、「静岡市伝統工芸技術秀士」として顕彰すると共にその作品を展示し、伝統工芸をPRする。	○		○		○	伝統工芸技術秀士を顕彰し展示PRを実施した。 顕彰：1名(張下駄師)を指定 展示PR：関連施設等において作品を展示。また伝統工芸品首都圏PR事業(23206)と連携し秀士作品を展示PRした。	○	検討の結果、伝統工芸技術秀士の顕彰は次年度としPRに務めた。 展示PR：関連施設等において作品を展示。また伝統工芸品首都圏PR事業(23206)と連携し秀士作品を展示PRした。	○	伝統工芸技術秀士を1名選定し顕彰した。 展示PR：関連施設等において作品を展示。また伝統工芸品首都圏PR事業(23206)と連携し秀士作品を展示PRした。	産業振興課
23306	伝統工芸技術保存講習会	本市伝統工芸産業界の後継者育成と技術の保存継承を図るため、関係業界に従事している若手技術者に対し、静岡市伝統工芸技術秀士等を講師として技術講習を行う。	○		○		○	地元業界後継者を対象に5部門の講習会を実施した。 部門：漆、蒔絵、指物、竹千筋細工、拭漆 延べ73日開催、40人参加	○	地元業界後継者を対象に5部門の講習会を実施した。 部門：漆、蒔絵、指物、竹千筋細工、拭漆 延べ75日開催、37人参加	○	地元業界後継者を対象に5部門の講習会を実施した。 部門：漆、蒔絵、指物、竹千筋細工、拭漆 延べ75日開催(予定)、37人参加	産業振興課 (財)静岡産業振興協会
23307	街を紹介する冊子の作成	市内タウン誌への情報提供を行う。	○		○		○	財団が作成する冊子「まちかど」発行の支援や市内タウン誌への情報提供を実施した。	○	タウン誌への情報提供を実施した。	○	タウン誌への情報提供を実施した。	文化振興課
23308	商業空間やイベントと融合した文化事業の充実	商店街と音楽、飲食街と展示、など文化と商業の融合が図れる事業を展開する。	○		○		○	静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館利用者に、レストラン等の駅周辺の協力店にて割引を可能とし、相互の活性化を図った。	○	・静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館利用者に、レストラン等の駅周辺の協力店にて割引を可能とし、相互の活性化を図った。 ・施設周辺の民間施設・団体・商店街等と定期的な情報交換の場を設置し催事情報等の共有・連携に貢献している。(清水文化会館)	○	・静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館利用者に、レストラン等の駅周辺の協力店にて割引を可能とし、相互の活性化を図った。 ・施設周辺の民間施設・団体・商店街等と定期的な情報交換の場を設置し催事情報等の共有・連携に貢献している。(清水文化会館)	静岡音楽館 静岡市美術館 清水文化会館
23309	地元企業とのイベント共催システムの確立	地域企業と連携した文化事業やメセナ事業を展開する。	○		○		○	・「羽衣まつり」はメセナ事業として協賛した。 ・地元企業と共催し、展覧会や講演会を実施した(美術館)	○	・「羽衣まつり」はメセナ事業として協賛した。 ・地元企業等と共催して、展覧会を実施した(美術館)	○	・「羽衣まつり」はメセナ事業として協賛した。 ・地元企業等と共催して、展覧会を実施した(美術館)	文化振興課 静岡市美術館

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
23310	「ホビーマチ静岡」推進事業	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーマチ静岡」として国内外に向けシティプロモーションを展開している。 静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	○		○		○	【開催助成】 ●ホビーウィーク2012(5/13～20) ※来場者数 119,000人以上 ○第51回静岡ホビーショー(5/17～20) ※来場者数 80,000人以上 ●クリスマスフェスタ2012(12/8～9) ※来場者 約40,000人 【出展助成】 ●2012全日本模型ホビーショー(10/11～14) ※来場者数 22,800人 【支援】 ●静岡ホビースクエアの広報 【その他】 ●PR事業 ・ホームページ等によるPR(通年) ・しずか情報ポケットでのPR(通年) ・首都圏(新宿)でのPR(1回) ・駿河区駅南銀座商店街でのプラモデル展示 ・出前講座(3回)	○	【開催助成】 ●ホビーウィーク2013(5/12～19) ※来場者数 約120,000人 ○第52回静岡ホビーショー(5/16～19) ※来場者数 約81,800人 ●クリスマスフェスタ2013(12/7～8) ※来場者 約42,000人 【出展助成】 ●2013全日本模型ホビーショー(10/11～14) ※来場者数 約32,000人 【支援】 ●静岡ホビースクエアの広報 【その他】 ●PR事業 ・ホームページ等によるPR(通年) ・しずか情報ポケットでのPR(通年) ・首都圏(新宿)でのPR(1回) ・静岡駅南銀座商店街でのプラモデル展示 ・出前講座(2回)	○	【開催助成】 ●ホビーウィーク2014(5/11～18) ※来場者数 約92,000人 ○第53回静岡ホビーショー(5/15～18) ※来場者数 約82,000人 ●クリスマスフェスタ2014(12/13～14) ※来場者 約42,000人 【出展助成】 ●2014全日本模型ホビーショー(9/26～28) ※来場者数 約38,000人 【支援】 ●静岡ホビースクエア支援 【その他】 ●PR事業 ・ホームページ等によるPR(通年) ・しずか情報ポケットでのPR(通年) ・首都圏(丸の内KITTE)でのPR(2回) ・静岡駅南銀座商店街でのプラモデル展示 ・出前講座(1回) ・パンフレットの制作・配布 ・パネルの制作 ・静岡駅北口観光案内所での模型設置 等	産業振興課
23311	東海道2峠6宿街道事業	東海道2峠6宿を活かした街道観光事業を展開し誘客を図る。 東海道二峠六宿街道観光協議会、地元NPO団体等と連携し、各峠及び宿場に残る史跡、文化を活用した一元的な街道観光の推進を図る。	○		○		○	①各宿場まつり開催支援 ②各宿場まつり主催者による連絡会開催 ③各宿場イベントの相互PR ④藤枝市との連携イベント実施 ⑤静岡二峠六宿街道観光協議会との連携(二峠六宿フォトコンテスト開催支援)	○	①各宿場まつり開催支援 ②各宿場まつり主催者による連絡会開催 ③各宿場イベントの相互PR ④藤枝市との連携イベント実施 ⑤静岡二峠六宿街道観光協議会との連携(二峠六宿フォトコンテスト開催支援)	○	①各宿場まつり開催支援 ②各宿場まつり主催者による連絡会開催 ③各宿場イベントの相互PR ④藤枝市との連携イベント実施 ⑤静岡二峠六宿街道観光協議会との連携(二峠六宿フォトコンテスト開催支援) ⑥各宿場まち歩きの実施及びまち歩きパンフレット制作	観光・シティプロモーション課



文化振興ビジョン「第2期実施計画」進捗状況調査票(311~321)

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して													
目標	3 しずおか文化の発信と交流												
方向	1 全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備												
方策	1 文化情報の提供(いつでも、どこでも文化情報を受発信できる機会を提供する)												
事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
31101	文化施設のデータベース化	市内文化施設を連携した施設紹介のデータベース化を図り公開する。	○		○		○	静岡市HP内の文化振興課ページに、市内文化施設HPへのリンクを引き続き行った。	○	静岡市HP内の文化振興課ページに、市内文化施設HPへのリンクを引き続き行った。	○	静岡市HP内の文化振興課ページに、市内文化施設HPへのリンクを引き続き行った。	文化振興課
31102	文化活動拠点のネットワーク化	文化活動拠点を繋ぐ事業を展開する。	○		○		○	相互に情報を交換し合い、文化のネットワークづくりを継続実施した。	○	街道資料ネットワークの発起人(広重美術館)	○	広重美術館がある由比本陣公園開設20周年にあわせ、静岡市清水港船宿記念館や静岡市坐漁荘記念館といった他施設・他団体と連携した事業を行った。(広重美術館)	東海道広重美術館
31103	文化情報の充実	文化施設において各種公演チケットを販売する等、人・施設・催事の情報収集を充実させる。	○		○		○	・施設間で、各施設のリーフレットを提供したり、ポスターを貼ってPRに努めた(文化振興課) ・他美術館のポスター掲示、リーフレット配布を行った(芹沢銈介美術館) ・施設の広報誌を年4回発行した。(清水文化会館) ・facebookページを開設し情報発信を強化した。(静岡市民文化会館)	○	・施設間で、各施設のリーフレットを提供したり、ポスターを貼ってPRに努めた(文化振興課) ・他美術館のポスター掲示、リーフレット配布を行った(芹沢銈介美術館) ・施設の広報誌を年4回発行した。(清水文化会館) ・施設のFacebookページによる情報発信に努めた。	○	・施設間で、各施設のリーフレットを提供したり、ポスターを貼ってPRに努めた(文化振興課) ・他美術館のポスター掲示、リーフレット配布を行った(芹沢銈介美術館) ・施設の広報誌を年4回発行した。(清水文化会館) ・施設のFacebookページによる情報発信に努めた。	文化振興課所管施設
31104	駿府楽市地場産品展示コーナー運営(再掲)	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市地場産品を展示紹介する。	○		○		○	端午の節句展をはじめとして合計28回の企画展を実施した。 延べ来場者数:529,120人	○	端午の節句展をはじめとして合計27回の企画展を実施した。 延べ来場者数:411,230人	○	暮らしの調度展をはじめとして合計27回の企画展を実施予定の内、1月現在で23企画展実施した。 延べ来場者数:343,591人(1月末)	産業振興課
31105	静岡駅北口情報提供コーナー管理運営事務	市民や来訪者に対し、観光施設等の情報提供及び、静岡市の地場産品・特産物であるホビー、お茶などを中心とした地域資源の積極的なPRを実施。	○		○		○	市民や来訪者に対し、静岡市の地場産品・特産物であるホビー、お茶などを中心とした地域資源の積極的なPRと市政及び観光情報の提供を実施した。	○	市民や来訪者に対し、静岡市の地場産品・特産物であるホビー、お茶などを中心とした地域資源の積極的なPRと市政及び観光情報の提供を実施した。	○	市民や来訪者に対し、静岡市の地場産品・特産物であるホビー、お茶などを中心とした地域資源の積極的なPRと市政及び観光情報の提供を実施した。	観光・シティプロモーション課
31106	フィルムコミッション支援事業	静岡市内にテレビや映画、CM等映像作品の撮影を誘致し、シティプロモーション推進と観光振興・地域経済の活性化を図る。	○		○		○	平成23年度に静岡商工会議所を事務局に「静岡市フィルムサポーターズ運営協議会」が設立され、行政施設の撮影立会いや、エキストラ管理などの撮影支援を実施した。	○	平成23年度に静岡商工会議所を事務局に「静岡市フィルムサポーターズ運営協議会」が設立され、行政施設の撮影立会いや、エキストラ管理などの撮影支援を実施した。	○	平成23年度に静岡商工会議所を事務局に「静岡市フィルムサポーターズ運営協議会」が設立され、行政施設の撮影立会いや、エキストラ管理などの撮影支援を実施した。	観光・シティプロモーション課
31107	静岡駅北口マルチビジョン管理運営業務	市民や来訪者に対し、映像を利用した情報提供及び、静岡市の地場産品・特産物であるホビー、お茶などを中心とした地域資源の積極的なPRを実施。	○		○		○	市民や来訪者に対し、本市の地域資源、観光情報、市政情報の提供を行うとともに、まちの賑わい創出を図った。	○	市民や来訪者に対し、本市の地域資源、観光情報、市政情報の提供を行うとともに、まちの賑わい創出を図った。	○	市民や来訪者に対し、本市の地域資源、観光情報、市政情報の提供を行うとともに、まちの賑わい創出を図った。	観光・シティプロモーション課
方策	2 文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)												
31201	文化情報の集約	分散している文化情報を整備し、文化関係施設のネットワーク化を図り集中管理を図る。	○		○		○	・各館の催事情報を集約した「イベントニュース」を発行した(文化振興課、各施設) ・他の美術館等との情報の共有(芹沢銈介美術館)	○	・各館の催事情報を集約した「イベントニュース」を発行した(文化振興課所管施設) ・他の美術館等との情報の共有(芹沢銈介美術館)	○	・各館の催事情報を集約した「イベントニュース」を発行した(文化振興課所管施設) ・他の美術館等との情報の共有(芹沢銈介美術館) ・静岡市由比本陣施設を管理する特定非営利活動方今ふれあい由比や静岡市清水港船宿記念館を管理する公益財団法人静岡観光コンベンション協会、静岡市坐漁荘記念館を管理する特定非営利活動法人AYUDリームと連携し、「三宿観光ガイド」を作成した。(広重美術館)	文化振興課所管施設 東海道広重美術館
31202	地元マスコミとの連携・調整システムの確立	地元マスコミに文化情報コーナーの設置を求め、情報を発信していく。	○		○		○	ラジオ・新聞等への取材協力を実施した。	○	ラジオ・新聞等への取材協力を実施した。	○	ラジオ・新聞等への取材協力を実施した。	文化振興課所管施設
31203	主催講座の情報提供	各種媒体を利用して主催講座の情報を提供する。	○		○		○	タウン紙、FM情報、インターネットサイトなどへ、講座情報を配信した。	○	タウン紙、FM情報、インターネットサイトなどへ、講座情報を配信した。	○	市の広報紙、ホームページ、フェイスブックや新聞等で主催講座の情報を提供した。	生涯学習推進課
31204	国内外への情報	市HP等により、文化情報を国内外に発信する。	○		○		○	静岡市ホームページのイベントカレンダーを随時更新した。	○	静岡市ホームページのイベントカレンダーを随時更新した。	○	静岡市ホームページのイベントカレンダーを随時更新した。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
31205	駿府匠宿管理運営(再掲)	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産業と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	○		○		○	静岡市の各種伝統工芸の体験及び伝統工芸品の展示並びに映像体験を実施した。 伝統工芸の体験者 21,558人 展示映像体験者数 8,774人 総入場者数 300,390人 総使用料収入 42,241千円	○	静岡市の各種伝統工芸の体験及び伝統工芸品の展示並びに映像体験を実施した。 伝統工芸の体験者 18,433人 展示映像体験者数 6,445人 総入場者数 272,560人 総使用料収入 39,231千円	○	静岡市の各種伝統工芸の体験及び伝統工芸品の展示並びに映像体験を実施した。 伝統工芸の体験者: 14,508人(1月末) 展示映像体験者数: 4,294人(1月末) 総入場者数: 188,280人(1月末) 総使用料収入: 32,933千円(1月末)	産業振興課
31206	文化情報網の整備と充実	情報伝達システムやソフトを随時更新し、ホームページの充実を図る。	○		○		○	随時課ホームページの更新及びイベントカレンダーへの登録を行った。	○	随時課ホームページの更新及びイベントカレンダーへの登録を行った。	○	随時課ホームページの更新及びイベントカレンダーへの登録を行った。	文化振興課
31207	文化情報・活動の拠点となる施設作り	文化情報の発信基地設置を検討する。	○		○		○	新たなしずおか文化の創造・発信の拠点として清水文化会館を整備した。	○	平成24年度清水文化会館建設完了・開館			文化振興課
31208	文化団体等の交流を通じた情報交換の促進	文化団体との連携を強化し、団体の事業活用を検討する。	○		○		○	静岡市文化振興財団、静岡市文化協会との協力体制と連携の強化を図った。	○	静岡市文化振興財団、静岡市文化協会との協力体制と連携の強化を図った。	○	静岡市文化振興財団、静岡市文化協会との協力体制と連携の強化を図った。	文化振興課
31210	文化的バリアフリーの推進	障害者、高齢者、子ども等様々な年齢層が楽しめる文化事業を推進する。	○		○		○	静岡コミュニティダンスプロジェクトを開催した。	○	静岡コミュニティダンスプロジェクトを開催した。	○	静岡コミュニティダンスプロジェクトを開催した。	静岡市民文化会館
31211	しずおか文化発信事業	ロシアでの芹沢作品展を開催する等、市の地域資源を紹介し、情報を発信する事業を開催し、静岡の名を周知させる。	○		○		○	企画の案内を全国の文化施設へ積極的に発信した。	○	企画の案内を全国の文化施設へ積極的に発信した。	○	企画の案内を全国の文化施設へ積極的に発信した。	文化振興課
31212	「ホビーのまち静岡」推進事業(再掲)	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーのまち静岡」として国内外向けにシティプロモーションを展開している。 静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	○		○		○	【開催助成】 ●ホビーウィーク2012(5/13～20) ※来場者数 119,000人以上 ○第51回静岡ホビーショー(5/17～20) ※来場者数 80,000人以上 ●クリスマスフェスタ2012(12/8～9) ※来場者 約40,000人 【出展助成】 ●2012全日本模型ホビーショー(10/11～14) ※来場者数 22,800人 【支援】 ●静岡ホビースクエアの広報 【その他】 ●PR事業 ・ホームページ等によるPR(通年) ・しずおか情報ポケットでのPR(通年) ・首都圏(新宿)でのPR(1回) ・駿河区駅南銀座商店街でのプラモデル展示 ・出前講座(3回)	○	【開催助成】 ●ホビーウィーク2013(5/12～19) ※来場者数 約120,000人 ○第52回静岡ホビーショー(5/16～19) ※来場者数 約81,800人 ●クリスマスフェスタ2013(12/7～8) ※来場者 約42,000人 【出展助成】 ●2013全日本模型ホビーショー(10/11～14) ※来場者数 約32,000人 【支援】 ●静岡ホビースクエアの広報 【その他】 ●PR事業 ・ホームページ等によるPR(通年) ・しずおか情報ポケットでのPR(通年) ・首都圏(新宿)でのPR(1回) ・静岡駅南銀座商店街でのプラモデル展示 ・出前講座(2回)	○	【開催助成】 ●ホビーウィーク2014(5/11～18) ※来場者数 約92,000人 ○第53回静岡ホビーショー(5/15～18) ※来場者数 約82,000人 ●クリスマスフェスタ2014(12/13～14) ※来場者 約42,000人 【出展助成】 ●2014全日本模型ホビーショー(9/26～28) ※来場者数 約38,000人 【支援】 ●静岡ホビースクエア支援 【その他】 ●PR事業 ・ホームページ等によるPR(通年) ・しずおか情報ポケットでのPR(通年) ・首都圏(丸の内KITTE)でのPR(2回) ・静岡駅南銀座商店街でのプラモデル展示 ・出前講座(1回) ・パンフレットの制作・配布 ・パネルの制作 ・静岡駅北口観光案内所での模型設置 等	産業振興課
31213	首都圏における文化情報の発信	所管課と連携し、首都圏において、広く文化情報の発信を行う。	○		○		○	・首都圏で開催されるイベントの支援。 ・関係団体へポスター、チラシの配布を行った(2回/月、約300部/回)。	○	・首都圏で開催されるイベントの支援。 ・関係団体へポスター、チラシの配布を行った。(2回/月、約300部/回)	○	・首都圏で開催されるイベントの支援。 ・関係団体へポスター、チラシの配布を行った。(1回/月、約300部/回)	東京事務所
31214	国内プロモーション	首都圏をはじめとする国内において、戦略資源、観光資源、文化等静岡市の魅力の情報を発信する。	○		○		○	1. 国内プロモーション推進事業 ①JATA旅博2012出展 9月21～23日 東京ビックサイトで開催(126千人来場)し、しらす、桜エビ、お茶等の資源を基に本市のPRを実施した。 ②まるちゃんの静岡音頭の作成 さくらももこ氏らの協力を得て本市の認知度を向上促進させるため名所・産物を盛り込んだ音頭を制作した(普及活動はH25予定)。 ③るる静岡市特別編集号の作成 本市の認知度を向上促進させるため、「見る」、「食べる」、「遊ぶ」といったニーズ視点に基づき、るる静岡市特別編集号3万部を発行した。 ④市内観光施設回遊性向上事業 観光客の回遊性向上を図るため観光施設間(官民)連携により日本平動物園でイベントを開催(3/20)した。 ⑤HP・ブログ等の充実 ユーザーへの見読性等の向上を図るためホームページの一部改良とブログ更新の充実を図った。	○	1. 国内プロモーション推進事業 ①JATA旅博2013出展 9月13～15日 東京ビックサイトで開催。(131,058人来場)富士山世界文化遺産登録を全面にPRすると共に、しらす、桜エビ、お茶、わさび等の資源を基に本市のPRを実施した。 ②まるちゃんの静岡音頭の普及啓発 市内の保育園、幼稚園、小学校をはじめ各種団体に向けた出張教室を実施すると共に、JATA旅博2013でのステージ出演、各種イベントへの出演を実施し、市内外で普及啓発活動を実施した。 ③るる静岡市特別編集号の改訂増刷 富士山・世界文化遺産登録に伴い、より三保松原のイメージを色濃く打ち出した、るる静岡市特別編集号5万部を12月に改訂増刷した。これに伴い、東京シティアイ(東京都千代田区)で2回キャンペーンを実施し、一般消費者に対してPRした。 ④HP・ブログ等の充実 ユーザーへの見読性等の向上を図るためホームページの一部改良とブログ更新の充実を図った。	○	1. 国内プロモーション推進事業 ①ツアーEXPOジャパン2014出展 9月25日～27日 東京ビックサイトで開催。(157,589人来場)官民が連携し、桜エビ、お茶をPRすると共に、徳川家康公顕彰四百年祭に向け、家康公ゆかりの本市観光資源を紹介した。 ②まるちゃんの静岡音頭の普及啓発 市内の保育園、幼稚園、小学校等の各種団体に向けた出張教室を実施すると共に、市内各種イベントへの出演を実施。また、市民が参加するプロモーションビデオの製作、公開や、首都圏での本音頭PRイベントを開催するなど市内外で普及啓発活動を実施した。 ③るる特別編集号(家康公版)の制作 「家康公四百年祭」に向け、家康公の偉功を顕彰する機会に繋げることを目的とした、るる特別編集号7.5万部を新規制作した。これに伴い、ツアーEXPOジャパン他で配布し、一般消費者に対してPRした。 ④観光ウェブサイトのリニューアル ユーザー目線による観光情報の発信を強化するため、市及び静岡観光コンベンション協会のウェブサイトの統合リニューアルを計った。	観光・シティプロモーション課

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
方向	2	文化交流事業の推進											
方策	1	全国や世界との文化交流事業の推進(世界との文化交流を通して、「しずおか文化」を再認識する)											
32101	全国各地と文化イベントを共催するシステムの創設と推進	全国縦断公演を企画、共催できるシステムを創設する。	○		○		○	静岡市美術館の事業として全国巡回展等を採用した。	○	国内の美術館と実行委員会を設立し、全国各地を巡回する美術展覧会を開催した(美術館)	○	国内の美術館と実行委員会を設立し、全国各地を巡回する美術展覧会を開催した(美術館)	静岡市美術館
32102	国内都市との文化交流の活性化	文化交流事業を推進する。(作品・コレクションの貸し借り)	○		○		○	大阪市美術館、北海道立函館美術館、旭川美術館等への収蔵品貸出を実施した。	○	・東京国立博物館、浦添市美術館等への収蔵品貸出、日本民藝館等からの芹沢作品借用を行った。(芹沢銈介美術館) ・松戸市戸上歴史館との共同企画で、「没後100年徳川慶喜展」を開催した。(美術館) ・掛川市二の丸美術館、静岡県立美術館への市所蔵美術品貸出しを実施した。(文化振興課)	○	・柏市教育委員会、全国4都市の高島屋等への収蔵品の貸出、日本民藝館等からの芹沢作品借用を行った。(芹沢銈介美術館) ・練馬区立美術館との共同企画で、「没後100年 小林清親展」を開催した。(美術館)	文化振興課 芹沢銈介美術館 静岡市美術館
32103	全国規模の文化催事の立案・開催の推進	日本・世界を対象とした大規模な文化事業を企画し、実施する。	○		○		○	静岡市美術館において、全国規模の企画展を実施した。	○	静岡市美術館において、全国巡回の展覧会を開催した。	○	静岡市美術館において、全国巡回の展覧会を開催した。	静岡市美術館
32104	海外との文化交流推進	ロシア写真展を開催する等、文化を通じて、海外都市との交流を活性化させる。	○		○		○	「ストラスブール美術展」など、海外の文化施設の協力による事業を実施した。	○	「レオナルド・フジタとパリ1913-1931」展など、海外の文化施設の協力による事業を実施した。	○	「ロイヤル・アカデミー展 イギリス美術の華麗なる150年」など、海外の文化施設の協力による事業を実施した。	静岡市美術館
32105	外来アーティストの積極的な招へいと交流の場の提供	音楽を通じ、世界的に活躍するアーティストを招聘し、公演を行う他関連事業を開催する。	○		○		○	・「Hotひといきコンサート」でアーティストを招聘した(文化振興課) ・自主事業でアーティストを招聘した(音楽館) ・海外の作品展示を実施した。(美術館)	○	・「Hotひといきコンサート」でアーティストを招聘した(文化振興課) ・自主事業でアーティストを招聘した(音楽館) ・海外のピアノ奏者を招聘した。(清水文化会館)	○	・「Hotひといきコンサート」でアーティストを招聘した(文化振興課) ・「コンサートシリーズ」でアーティストを招聘した(音楽館) ・海外のアイリッシュダンス集団及び海外でも活躍する著名な指揮者による吹奏楽団を招聘した。(清水文化会館)	文化振興課 静岡音楽館 清水文化会館

事業番号	事業名	事業内容	平成22年度実施の有無		平成23年度実施の有無		平成24年度実施の有無		平成25年度実施の有無		平成26年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
32106	国外プロモーション	富士山静岡空港就航先である国外都市において、戦略資源、観光情報、文化等、静岡市の魅力の情報を発信する。	○		○		○	富士山静岡空港の就航先である韓国、台湾に対し、本市の持つ様々な地域資源を活用し、積極的な情報発信を行い、認知度及び来静者の誘引向上に努めた。 【韓国】 ①韓国トラベルカフェ出展等事業 (6/25-12/24)来場者:18,172人 ・静岡市特産品、ポスター、パンフ、情報ボード等展示 ・来客者イベントによる周知活動の実施 ・地下鉄駅構内での静岡写真展の開催(6/28-30) ②静岡市旅行ブログ運営事業 年度アクセス件数:70,101件 ・観光情報の掲載 ・文化施設情報の掲載 等 【台湾】 ①トップセールスの実施(11/6-11) ・新光三越での観光・物産フェアの開催(観光PR、特産品の試験販売、市場調査) ・台湾政府(農業委員会・教育部等)との会談・記者会見を実施 ・市長主催による旅行エージェント意見交換会の開催 ②メディアプロモーションの実施 ・台湾大手ケーブルテレビ(2社)による静岡番組の作製・放映 【タイ】 ①JNTOインセンティブショーケース<タイングループ招請(12/8-10)インセンティブツアーを主に扱う旅行会社3社3名とJNTOバンコク事務所員1名を招請し、市内での視察旅行を実施。 ②TITF2014出展(2/20-23)静岡観光コンベンション協会と共同出展。富士山やお茶等を中心にPRを実施。	○	富士山静岡空港の就航先である韓国、台湾等に対し、本市の持つ様々な地域資源を活用し、積極的な情報発信を行い、認知度及び来静者の誘引向上に努めた。 【韓国】 ①広告掲出事業 (レストラン「てっぺん江南店」) ・静岡市認知度:35% (店内でのアンケート調査) ・静岡の地酒「臥龍梅」、静岡おでん、桜えびを特別メニューで提供 ・店内でのポスター掲出、静岡PRグッズ展示 ②静岡市旅行ブログ運営事業 年度アクセス件数:63,491件 ・観光情報の掲載 ・文化施設情報の掲載 ・景品付きイベント ・パワーブロガーの静岡招へい 等 【台湾】 ①台湾経済ミッション招請事業の実施(4/30-5/3) ・加工食品に関する商談会 ・日台ビジネス交流促進セミナー ・旅行エージェント及びメディア招請 ・歓迎レセプションの開催 ②新光三越「日本商品フェア」への出展(信義、台南西門、高雄左營3店舗延べ49日間) ・市内商品などの輸出、出展 ・着ぐるみまる子パフォーマンス ③旅行商品販促事業の実施 ・台湾旅行会社が造成・販売する静岡旅行商品の広告宣伝(新聞・業界誌)の実施 【タイ】 ①JNTOインセンティブショーケース<タイングループ招請(12/8-10)インセンティブツアーを主に扱う旅行会社3社3名とJNTOバンコク事務所員1名を招請し、市内での視察旅行を実施。 ②TITF2014出展(2/20-23)静岡観光コンベンション協会と共同出展。富士山やお茶等を中心にPRを実施。	○	富士山静岡空港の就航先である韓国、台湾等に対し、本市の持つ様々な地域資源を活用し、積極的な情報発信を行い、認知度及び来静者の誘引向上に努めた。 【韓国】 ①広告掲出事業 (居酒屋「とんあり栄」(新村)、「おおきに」(弘大)、「気分」(江南)の3店舗) 10/7~11/30 ・静岡市認知度:54% (店内でのアンケート調査) ・静岡の地酒「臥龍梅」、静岡おでん、お茶漬、生わさびを特別メニューで提供 ・店内でのポスター掲出、静岡PRグッズ展示 ・景品イベント(特賞2泊3日静岡市ペア旅行) (三和酒造酒蔵見学ツアー付) ②静岡市旅行ブログ運営事業 年度アクセス件数:30,823件(1月末) ・観光情報の掲載 ・文化施設情報の掲載 ・景品付きイベント ・パワーブロガーの静岡招へい 等 【台湾】 ①台湾メディア招請事業(7/13-17) ・環駿河湾観光交流活性化協議会と連携し、大手テレビ局を招請。静岡特集番組(60分)×2回(8/10,17)を台湾全土で放映 ②台湾国際旅行博(11/6-9) ・台湾最大の旅行商品即売会において、静岡旅行販促のため、台湾現地で着ぐるみ・まる子による官民一体となったPRを実施 ③台北マラソンとの交流事業(12/19-21) ・静岡マラソンとの友好交流に伴い、台湾現地で着ぐるみ・まる子による官民一体となったPRを実施 ④台湾ブロガー招請(2/25-3/1)予定 ・台湾で影響力をもつブロガー2名を招請し、静岡市の地域資源を情報発信 ⑤旅行商品販促事業の実施 ・台湾旅行会社が造成・販売する静岡旅行商品の広告宣伝(新聞・業界誌)の実施 【タイ】 ①タイ現地プロモーション(9/7-9/10) ・現地商談会 ・セールスコール ・フェイスブック事業等の調整 ②フェイスブックを活用した情報発信事業の実施(1/13-1/16) ・タイの女優でモデルのポー・メラダーを招請し、3泊4日の視察を実施。 ・3月末までにポー・メラダーのフェイスブックで、視察の様子を10回以上記事掲載。 ③旅行雑誌を活用した情報発信事業 ・1月から3月の3回で、タイの有名旅行雑誌『Travel Around The World』に各4ページの記事体広告を掲載。	観光・シティプロモーション課

## 文化振興ビジョン [第1期実施計画]

### ～平成18年度 新規事業一覧～

目標	方向	方策	事業番号	事業名	事業内容	担当課
地域性豊かな市民文化の創造	地域資源を活かした文化事業の充実	地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化する)	23310	「ホビーのまち静岡」推進事業(H18新規)	シティセールスの一環として平成19年度から当課が行う「ホビーのまち静岡」推進事業のプレイベントとして、平成19年3月3・4日に「全国AFV模型展示会」をツインメッセ静岡で開催。戦車・ジープなどの装甲戦闘車両模型を中心に、全国のモデラーが創意工夫を凝らしたプラスチックモデル作品の展示。	地域産業課
しずおか文化の発信と交流	全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備	文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)	31214			

### ～平成19年度 新規事業一覧～

目標	方向	方策	事業番号	事業名	事業内容	担当課
地域性豊かな市民文化の創造	地域資源を活かした文化事業の充実	地域資源の発掘と再認識(地域資源を把握し、保護する)	23206	やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業(H19新規)	日本茶を代表する優良品種「やぶきた」が静岡市において選抜され、平成20年で100年を迎えるため、この偉業を顧みるとともに、伝統ある茶づくりを継承することの意義を広く市民と共有し、その魅力を紹介する記念イベントを実施する。	農業振興課
	文化活動の環境整備	芸術文化の鑑賞機会の充実(芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成する)	22309	しずおかコンテンツバレー構想(H19新規)	静岡市クリエイター支援センターを拠点としたクリエイターの育成、コンテンツ産業の普及啓発及び振興。コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング、国際協業、情報発信事業に対する助	産業政策課

### ～平成20年度 新規事業一覧～

目標	方向	方策	事業番号	事業名	事業内容	担当課
地域性豊かな市民文化の創造	地域資源を活かした文化事業の充実	地域資源の整備と活用(地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開する)	23207	伝統工芸品首都圏PR事業(地場産業宣伝事業費)	(仮称)静岡市伝統工芸品展示会 ～伝統工芸技術秀士と若手後継者～の開催	地域産業課

### ～平成21年度 新規事業一覧～

該当なし

文化振興ビジョン [第2期実施計画]

～平成22年度 新規事業一覧～

目標	方向	方策	事業番号	事業名	事業内容	担当課
地域性豊かな市民文化の創造	地域資源を活かした文化事業の充実	地域資源の整備と活用(地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開する)	23207	羽衣の松、世代交代イベントの開催	静岡市の貴重な観光資源である「羽衣の松」の世代交代を全国発信するためのイベントを開催する。(単年度事業)	観光・シティプロモーション課
		地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化する)	23311	東海道2峠6宿街道事業	東海道2峠6宿を活かした街道観光事業を展開し誘客を図る。東海道二峠六宿街道観光協議会、地元NPO団体等と連携し、各峠及び宿場に残る史跡、文化を活用した一元的な街道観光の推進を図る。	観光・シティプロモーション課
しずおか文化の発信と交流	全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備	文化情報の提供(いつでも、どこでも文化情報を受発信できる機会を提供する)	31105	静岡駅北口情報提供コーナー管理運営事務	市民や来訪者に対し、観光施設等の情報提供及び、静岡市の地場産業・特産物であるホビー、お茶などを中心とした地域資源の積極的なPRを実施。	観光・シティプロモーション課
			31106	フィルムコミッション支援事業	静岡市内にテレビや映画、CM等映像作品の撮影を誘致し、シティプロモーション推進と観光振興・地域経済の活性化を図る。	観光・シティプロモーション課
			31107	静岡駅北口マルチビジョン管理運営業務	市民や来訪者に対し、映像を利用した情報提供及び、静岡市の地場産品・特産物であるホビー、お茶などを中心とした地域資源の積極的なPRを実施。	観光・シティプロモーション課
			31213	首都圏における文化情報の発信	所管課と連携し、首都圏において、広く文化情報の発信を行う。	東京事務所
			31214	国内プロモーション	首都圏をはじめとする国内において、戦略資源、観光資源、文化等静岡市の魅力の情報を発信する。	観光・シティプロモーション課
	文化交​​流事業の推進	全国や世界との文化交流事業の推進(世界との文化交流を通して、「しずおか文化」を再認識する)	32106	国外プロモーション	富士山静岡空港就航先である国外都市において、戦略資源、観光情報、文化等、静岡市の魅力の情報を発信する。	観光・シティプロモーション課

～平成23年度 新規事業一覧～

該当なし

～平成24年度 新規事業一覧～

該当なし

～平成25年度 新規事業一覧～

該当なし

～平成26年度 新規事業一覧～

該当なし

## 静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会委員名簿

会 長 上 利 博 規 (静岡大学人文社会科学部教授)

副会長 川 口 宗 敏 (静岡文化芸術大学大学院名誉教授)

委 員 入 川 美智子 (市民公募委員)

委 員 高 岡 基 (市民公募委員)

委 員 林 の ぶ (静岡県女流美術協会代表)

## 静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会設置要綱

### (設置)

第1条 静岡市は、静岡市文化振興ビジョン（平成18年3月策定）の計画期間の最終年次における各施策の進捗状況、市民の活動状況等に対する評価（以下「総合評価」という。）を実施し、及び総合評価を踏まえた今後の静岡市の文化振興の方向性（以下「方向性」という。）の検討に資するため、静岡市文化振興ビジョン評価等懇話会（以下「懇話会」という。）を置く。

### (所掌事項)

第2条 懇話会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 総合評価に関すること。
- (2) 方向性に関して意見を述べること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、総合評価の実施及び方向性の検討に関し、市長が必要があると認める事項

### (組織)

第3条 懇話会は、委員5人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験がある者
- (2) 市民

3 市長は、前項第2号に掲げる者を委員に選任するに当たっては、公募の方法によるよう努めるものとする。

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から平成27年3月31日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (会長及び副会長)

第5条 懇話会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 会長は、懇話会の会務を総理し、懇話会を代表する。
- 4 会長は、懇話会の会議の議長となる。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)



第6条 懇話会の会議は、会長が招集する。

2 懇話会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 懇話会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第7条 懇話会の庶務は、生活文化局文化スポーツ部文化振興課において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、会長が懇話会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成26年5月15日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、平成27年3月31日限り、その効力を失う。

発行：平成 27 年 3 月

発行者：静岡市

編集：静岡市生活文化局文化スポーツ部文化振興課

〒420-8602

静岡市葵区追手町 5 番 1 号

TEL：054-221-1040 FAX：054-221-1407

E-mail：bunka@city.shizuoka.lg.jp

ホームページ：http://www.city.shizuoka.jp/